

入試問題集 2027

活動実績入試
学科・専攻適性入試
公募制推薦入試

2026年度入試 実施問題収録

愛知淑徳大学

転売
禁止

目次

活動実績入試	01
■ 日本語活用能力試験【問題】	03
■ 日本語活用能力試験【解答】	04
学科・専攻適性入試	05
■ 受験者へのアドバイス	06
■ 学科・専攻別適性試験【問題】	
文学部 国文学科	10
教育学部 教育学科	11
人間情報学部 人間情報学科 感性工学専攻	12
人間情報学部 人間情報学科 データサイエンス専攻	13
人間情報学部 人間情報学科 数学・情報教員養成専攻	15
心理学部 心理学科	16
創造表現学部 創造表現学科 創作表現専攻	18
創造表現学部 創造表現学科 メディアプロデュース専攻	19
建築学部 建築学科 建築・まちづくり専攻／住居・インテリアデザイン専攻	20
健康医療科学部 医療貢献学科 言語聴覚学専攻	22
健康医療科学部 医療貢献学科 視覚科学専攻	24
健康医療科学部 医療貢献学科 理学療法学専攻	25
健康医療科学部 医療貢献学科 臨床検査学専攻	26
健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 スポーツ・健康科学専攻	28
健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 救急救命学専攻	29
食健康科学部 健康栄養学科	30
食健康科学部 食創造科学科	32
福祉貢献学部 福祉貢献学科 社会福祉専攻／子ども福祉専攻	34
交流文化学部 交流文化学科 ランゲージ専攻	35
交流文化学部 交流文化学科 観光専攻	35
ビジネス学部 ビジネス学科	36
グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科	38
■ 学科・専攻別適性試験【出題意図・解答例】	39
公募制推薦入試	51
■ 小論文【問題】	52
■ 英語【問題】	55
■ 数学【問題】	61
■ 国語【問題】	78
■ 小論文・英語・数学・国語【出題意図・解答例】	79

活動実績入試

日本語活用能力試験

2027年度入試 選抜方法・配点

選抜方法	試験時間	配点	満点
活動実績票	—	80点	200点
調査書【学習成績の状況】	—	20点	
日本語活用能力試験 <small>全問マーク式</small>	30分	40点	
個人面接	—	55点	
志望理由書	—	5点	

※日本語活用能力試験は漢字、熟語、慣用句などの日本語の活用・運用能力を測る基礎的な問題です。

d 不易流行

- ① 新しいことだと思ってみても、中身は代わり映えしないこと。
- ② 変化しない本質的なものの中に新しいことを取り入れること。
- ③ 何が流行するかを占って予想すること。
- ④ 流行するかどうかは、占ったりはしないこと。
- ⑤ 自分は変わらないと思っても、結局は流行に従っていること。

e 羊頭狗肉

- ① 看板に動物の頭を掲げること。
- ② かわいがっていたペットを捨てること。
- ③ 外見は立派だが、内容が伴わないこと。
- ④ 物事の共通点を見いだすこと。
- ⑤ 異なった種類のものを混合すること。

f 怒髪衝天

- ① 髪の毛が伸びすぎることを。
- ② 驚いて天を仰ぐこと。
- ③ 激しく怒ること。
- ④ 天を恨んで、髪の毛をかきむしること。
- ⑤ 衝撃がはなはだしいこと。

問五

次のaからfまでの説明に当てはまる四字熟語として最も適当なものを、後の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。

- a 多くの経験で鍛えられたこと。 ① 威風堂々 ② 文武両道 ③ 百戦錬磨 ④ 千軍万馬 ⑤ 捲土重来 26
- b 周囲のことを考えずに、自分の利益になるように取りはからうこと。 ① 瓜田李下 ② 画地為牢 ③ 夏炉冬扇 ④ 我田引水 ⑤ 苛敵誅求 27
- c うわべは丁寧だが、実は押しつけがましく尊大なこと。 ① 因循姑息 ② 隱忍自重 ③ 有為転変 ④ 謹嚴実直 ⑤ 慇懃無礼 28
- d ひとなみはずれた能力があること。 ① 一挙一動 ② 一騎当千 ③ 一顧傾城 ④ 一望千里 ⑤ 電光石火 29
- e 理想はかり高く、実行する力が伴わないこと。 ① 頑迷固陋 ② 眼高手低 ③ 氣血生動 ④ 鶏鳴狗盜 ⑤ 拱手傍觀 30
- f 現実味のない考えや理論のこと。 ① 空前絶後 ② 空前絶後 ③ 前代未聞 ④ 空中樓閣 ⑤ 空々漠々 31
- 問六 次のaからfまでの傍線部に使用する漢字として最も適当なものを、後の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。
- a この活動には社会的なイギがある。 ① 異議 ② 意義 ③ 異義 ④ 意義 ⑤ 適切なものがない 32
- b 微生物はあらゆる場所にヘンザイしている。 ① 遍在 ② 偏在 ③ 偏財 ④ 辺材 ⑤ 適切なものがない 33
- c 安全ホシヨウ条約。 ① 保証 ② 保障 ③ 補償 ④ 保正 ⑤ 適切なものがない 34
- d 信頼関係をカクリツする。 ① 格率 ② 確率 ③ 確立 ④ 格立 ⑤ 適切なものがない 35
- e 福利コウセイが充実している。 ① 構成 ② 公正 ③ 更生 ④ 公生 ⑤ 適切なものがない 36
- f 皆、イク同音に賛成だと述べた。 ① 異句 ② 異口 ③ 意句 ④ 意口 ⑤ 適切なものがない 37

問七

次のaからgまでの説明に当てはまることわざ・慣用句として最も適当なものを、後の①～⑥のうちからそれぞれ一つ選べ。

- a そのことをするのをためらい、尻込みすること。 ① 非常に危ないことをやること。 38
- b 非常に危ないことをやること。 ② 世の中のことに通じ、人間が出来ていること。 39
- c 人から教わるより、自分で経験し、練習した方がよいということ。 ③ あまり出しゃばる人は、非難されるということ。 40
- d 世の中のことに通じ、人間が出来ていること。 ④ とても強い勢いがあること。 41
- e あまり出しゃばる人は、非難されるということ。 ⑤ 思い切って実行すること。 42
- f とても強い勢いがあること。 ⑥ 清水の舞台から飛び降りる 43
- g 思い切って実行すること。 ⑦ 出る杭は打たれる 44

問八

次のaからfについて、傍線部の言葉の使い方が適切なものには①を、適切でないものには②をマークせよ。

- a あれだけの危機的な状況下で冷静にいられるとは、腹の納まつた人だ。 ① 他人の失敗を見て、他山の石としたい。 ② 酸いも甘いもかみ分ける 45
- b 上層部のお耳に挟んでいただきたいことを報告する。 ③ 出る杭は打たれる ④ 飛ぶ鳥を落とす 46
- c プロジェクトが成功するか心配していたが、それは杞憂に終わった。 ⑤ 虎の尾を踏む ⑥ 習うより慣れよ 47
- d 彼はどんな相手にも物おじしな得意を述べられる。頼もしい存在だ。 ⑦ 二の足を踏む 48
- e 間違ったデータを入力してしまい、上司に消された。 ⑧ 飛ぶ鳥を落とす 49
- f 間違ったデータを入力してしまい、上司に消された。 ⑨ 二の足を踏む 50

日本語活用能力試験 [問題]

問一 次のaからgまでの説明に当てはまる表現を、後の①～⑨のうちからそれぞれ一つ選べ。

- a 弱点をついていて深く感じること。
- b 価値を見抜く力が出来ること。
- c 縁が切れること。
- d しっかりしていること。
- e 言いたいことを言わないで不満がたまること。
- f 利益になりそうなことを巧みに見つけ出すこと。
- g 隠したことが現れること。

- ① 足が付く
- ② 腕が鳴る
- ③ 口が過ぎる
- ④ 手が切れる
- ⑤ 鼻が利く
- ⑥ 腹がふくれる
- ⑦ 骨がある
- ⑧ 耳が痛い
- ⑨ 目が肥える

7 6 5 4 3 2 1

問二 次のaからfまでの傍線部の読みと同じ読みで使用する漢字を、後の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。

- a 事故の原因を追究する。 ① 央 ② 衰 ③ 通 ④ 陸 ⑤ 迫
- b 近所の人と会|釈を交わした。 ① 解 ② 藍 ③ 絵 ④ 達 ⑤ 媒
- c 彼の利益は損失によって相殺された。 ① 裁 ② 札 ③ 刷 ④ 節 ⑤ 聖
- d 天気の塩梅を見ながら予定を決める。 ① 庵 ② 宴 ③ 潮 ④ 厚 ⑤ 江
- e このソフトウェアは汎用性が高い。 ① 本 ② 頻 ③ 忘 ④ 遍 ⑤ 範
- f その新しい仮説は世界中に伝播した。 ① 馬 ② 翻 ③ 宣 ④ 派 ⑤ 版

13 12 11 10 9 8

問三 次のaからfまでの言葉の意味の説明として最も適当なものを、後の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。

- a 目を細める
 - ① 感情を表に出さないように努める
 - ② 十分だ、満足しているということを相手に示す
 - ③ うれしい気持ちややさしい気持ちでほほ笑む
 - ④ 不快さに顔をしかめる
 - ⑤ 疑いの気持ちを示す

14

b 一矢報いる

- ① 必要な伝達事項を確実に相手に伝える
- ② よい行いによって、よい結果を得る
- ③ 目標に向かって迷いなく突き進む
- ④ 受けた恩を相手にできるだけ返す
- ⑤ 少しでも反撃する

15

c 辛酸をなめる

- ① 身体に良いことをする
- ② 怒りを表に出さないようにする
- ③ 他の人がやりたがらないことを引き受ける
- ④ 苦しくつらい目に遭う
- ⑤ 無礼なふるまいをする

16

- 2 -

問四 次のaからfまでの四字熟語の意味として最も適当なものを、後の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。

- d 言質を取る
 - ① 約束を守る
 - ② 他者からの許しを得る
 - ③ こちらが有利になる証言をさせる
 - ④ あとで証拠になるような発言を得る
 - ⑤ 契約を取り付ける

e 気がおけない

- ① 油断する
- ② 気遣いを求める
- ③ 愛らしい
- ④ 不安を感じる
- ⑤ 気を使う必要がない

18

f 堂に入る

- ① 満足して喜ぶ
- ② 学問や技術の習得が深いところまで進んでいる
- ③ 自身を鍛える場に身を置く
- ④ 優れた組織の一員となる
- ⑤ 自信を得る

19

問四 次のaからfまでの四字熟語の意味として最も適当なものを、後の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。

- a 軽挙妄動
 - ① 物を壊したり直したりすること。
 - ② あまり考えずに軽はずみな行動をすること。
 - ③ 人の名譽をおとしめること。
 - ④ あたりがよく見えないのに走り回ること。
 - ⑤ 氣力を奮い立たせて行動すること。

20

b 是々非々

- ① どうしてもいやなことを強制すること。
- ② 一方がよくて、もう一方が悪いこと。
- ③ 物事を公正に判断すること。
- ④ 嫌がって相手を非難すること。
- ⑤ どんなことにもそれなりのわけがあること。

21

c 氣息奄々

- ① 息を長々と吸う様子。
- ② 空気がいかにも悪い様子。
- ③ 息も絶え絶えな様子。
- ④ ゆっくりとくつろぐ様子。
- ⑤ いかにも気が進まない様子。

22

- 4 -

- 3 -

問一

- 1) ⑧ 2) ⑨ 3) ④ 4) ⑦ 5) ⑥ 6) ⑤
7) ①

問二

- 8) ④ 9) ③ 10) ① 11) ① 12) ⑤ 13) ④

問三

- 14) ③ 15) ⑤ 16) ④ 17) ④ 18) ⑤ 19) ②

問四

- 20) ② 21) ③ 22) ③ 23) ② 24) ③ 25) ③

問五

- 26) ③ 27) ④ 28) ⑤ 29) ② 30) ② 31) ④

問六

- 32) ④ 33) ① 34) ② 35) ③ 36) ⑤ 37) ②

問七

- 38) ⑨ 39) ⑦ 40) ⑧ 41) ② 42) ④ 43) ⑥
44) ①

問八

- 45) ② 46) ① 47) ② 48) ① 49) ② 50) ①

学科・専攻適性入試

学科・専攻別適性試験

2027年度入試 選抜方法・配点

選抜方法	試験時間	配点	満点
調査書[学習成績の状況]	—	20点	100点
学科・専攻別適性試験	60分	40点	
面接	—	35点	
志望理由書	—	5点	

学科・専攻別適性試験 受験者へのアドバイス

学科・専攻別適性試験は、各学科・専攻における専門教育で求められる学習意欲や教養、さらに分析・解釈・表現（発信）を含めた基本的な学習スキルが身についているかどうかを問うものです。下記のアドバイスを参考に、入試に向けての準備をしてください。

文学部

文学部国文学科では、文学作品とそれに関する研究書や論文を数多く、かつ深く読みこなし、さらにはそれを自分なりに整理分析しつつ独創的な解釈・鑑賞を導き出してゆくという作業の繰り返しが日々の授業の基本となっています。

「学科・専攻別適性試験」（筆記）では、例年、出題された文章を読み、自分なりに整理分析しつつ論理的に意見を述べる力の有無を問うことに重点を置いた問題や、基本的な国語力を問う漢字の読み書き等の問題などが出題されます。〈文章を正確に読み取り、理解する力〉、〈自らの主張を論理的に伝える力〉〈日本語を適切に使こなす力〉を、しっかりと身につけておく必要があるでしょう。

- ①わからないことばに出会ったらすぐに辞書を引く、漢字の書き取りを繰り返しおこなうなどし、ことばの適切な選択や、漢字の正確な読み書きといった基礎的な国語力の涵養を心がけてください。
- ②日頃から文章を深く読み、内容を正確に把握して批評する、ということ意識しつつ勉強に取り組んでください。たとえば、短い文章を読んで、それを要約し、そこに自分なりの意見を書き加えてみる、といった作業を習慣づけておくとうよいでしょう。

教育学部

教育学部では、高等学校までの教科・科目の知識・技能等を幅広く習得しているか、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を有しているか、教育に関する問題や話題に対して関心を持っているかについて問います。

- ①新聞や雑誌・インターネット等の教育関連記事（英文も含む）に目を通し、文章や内容を正しく理解したり、図（グラフ）や表の意味を読み解いたりして、自分の考えを論理的に整理して伝えられるようにしておいてください。
- ②小学校の教科の内容について、子供が「おもしろい!」「楽しい!」と感じるためには、どのようなきっかけ（ネタ）や工夫があるとよいかなど日頃から興味や関心を持つようにしてください。
- ③不登校やいじめ、貧困など、子供たちが抱える問題

が多様化・複雑化しています。このような問題について、表面的な印象だけでなく、根拠（理由や裏づけとなる要素）を明確にし、問題点を論理的に掘り下げ、自分なりの視点から主張できるようにしておいてください。

人間情報学部

[人間情報学科／感性工学専攻]

感性工学専攻では、客観的なデータに基づいて評価された人の感性やユニバーサルデザインの視点から効果的な情報サービス、製品、空間をデザインすることや、人工知能（AI）やIoT、ビッグデータ、ロボット制御の技術を活用して構築されたアプリや情報システムに関心を持っているかどうか、ならびにこれらの内容について記載された文章を理解できる基本的なスキルを身に付けているかどうかを問います。

日頃から、これらの話題を扱った新聞、雑誌、WEBページ等の記事に目を通し、その論旨を要約する力、主張の根拠を的確に指摘する力、記事内に記された図表の示す意味を読み取る力、ならびに、得た知識を整合的に結び付け、体系的に理解する力を磨いてください。

[人間情報学科／データサイエンス専攻]

データサイエンス専攻では、人工知能（AI）活用を含む「データ分析」により、感覚・感情・行動・思考・性格等の人間の特性を理解することや、データ分析の知識と技術をマーケティングやエンターテイメント、スポーツ、流通、情報通信、健康、福祉等の多岐に渡る分野に応用することに関心を持っているかどうか、ならびにこれらの内容について記載された図表や文章を読み解く基本的なスキルを身に付けているかどうかを問います。

日頃から、新聞、雑誌、WEBページ等に記載された図（グラフ）や表を含む記事や広告等に目を通し、図表の示す意味や図表を表示する効果、図表とその説明文章との関係性を読み解く力、ならびに読み取った内容を要約して文章化する力を磨いてください。

[人間情報学科／数学・情報教員養成専攻]

数学・情報教員養成専攻では、高等学校で学ぶ数学

と情報の基礎知識を習得し、それを活用した問題解決能力を有しているか、また数学・情報教育が抱える課題や最新の教育動向、人工知能（AI）、IT、データサイエンスに関心を持っているかを問います。

日頃から数学・情報に関する学習に励むとともに、教育問題や社会問題にも関心を持ち、これらの話題を扱った新聞、雑誌、WEB ページ等の記事や図表（グラフ等を含む）に触れ、その論旨を要約したり、主張の根拠を的確に指摘したり、図表の示す意味や効果、説明文との関係性を読み解いたり、読み取った内容を要約して文章化する力を磨いてください。

心理学部

心理学部での学修にあたっては、単に人の心の問題について興味があり、自分なりの考えを持っているだけでは十分ではありません。図表などからデータを読み取り、それに基づいて客観的に考えることや、そのことを正確に、分かりやすく表現することが必要となります。

「学科・専攻別適性試験」では、図表などからデータを的確に読み取る力（平均や比率などの基礎的な数的処理の意味を理解することを含みます）や、データから読み取ったことを簡潔にまとめたり、データに基づいた論理的な結論や自分の考えを的確に文章化したる力を判定します。

日頃から、新聞などに図表として掲載されている調査データについて、まず事実を簡潔にまとめ、そこから分かることや、その調査が扱っているテーマについて、事実から論理的に導き出されることを文章にする練習をしておくとい良いでしょう。

創造表現学部

[創造表現学科 / 創作表現専攻]

創作表現専攻の学科・専攻別適性試験では、文芸を中心とする創造的な表現活動についての関心や知識、表現力などを判定します。

- ①読書の習慣をつけてください。日頃からさまざまな創造的表現に親しむことで、言語文化・表象文化に関する興味や理解を深めることができるでしょう。
- ②高等学校の国語の授業を大切にしてください。一般的な大学入試レベルの文化論・芸術論等を読み解くことのできる力は、入学試験のみならず大学入学後の学修にも大いに役立つでしょう。

[創造表現学科 / メディアプロデュース専攻]

メディアプロデュース専攻では、多様な社会や文化における諸領域の事象について自分なりの関心を持

ち、メディアを活用しながら具体的な表現として発信する力が求められます。

- ①新聞やテレビ、インターネット等のメディアを通じて得られるさまざまな情報を項目立てて簡潔にまとめ、メディアによる違いを比較する練習をしておくとい良いでしょう。
- ②映像、アート、デザインなどに興味を持ち、多彩なジャンルの作品鑑賞や関連する書籍を読むなど、様々な表現方法への理解を深めることに努めてください。

建築学部

※建築学部の適性試験は、両専攻共通の問題です。

建築学部では、文系・理系の枠にとらわれず、高校までの教科や科目の知識や技能を幅広く身につけているか、これらを活用して新たな価値を創造するために必要な思考力、応用力、表現力を持っているか、また建築に関する問題や課題に興味を持っているかが重要です。

- ①国語の文章理解力や物理・数学の数理解理解・分析力だけでなく、環境や歴史、地域・社会への関心も大切です。知識を身につけるだけでなく、それらを自在に使いこなす能力を磨いてください。
- ②日常的に、建築やまちづくり、住居やインテリア等に関する書籍や文献をたくさん読み、多様な世界や価値観に触れることが大切です。また、年代や場所にとらわれず、さまざまな地域の街並みや建築を実際に訪れて調べたり、五感を使って建築空間の環境を感じ取る習慣をつけるとい良いでしょう。

健康医療科学部

[医療貢献学科 / 言語聴覚学専攻]

コミュニケーションおよびその障がいをはじめとする健康医療の領域に関わる図表などのデータや文章を読み取り、そこに示された情報を的確に把握し、理解した内容をわかりやすく説明する力が求められます。

- ①言語聴覚士の職務内容等について情報を得よう心がけてください（オープンキャンパス参加・言語聴覚士の職場見学・ボランティア活動など）。
- ②日頃から医療・福祉・教育をはじめとする社会の動向や問題などについて、本や新聞を読んで考える習慣を持ってください。

[医療貢献学科 / 視覚科学専攻]

視覚科学専攻では、視覚に関する研究分野および医療分野に関心を持ち、将来この分野で活躍したいという意欲があるかどうか、データに基づいて論理的な思

考ができるか、などについて問います。

- ①試験では、数表あるいはグラフを分析して、各要因の特徴や傾向を把握できることが求められます。さらにその内容を明確な文章に表現する構成力や国語力も不可欠です。
- ②視能訓練士の職務内容等について情報を得よう心がけて、日頃から医療や福祉分野を中心に新聞等をよく読み、教養を高めておいてください。

[医療貢献学科／理学療法学専攻]

理学療法学専攻では、リハビリテーションや疾病治療・予防に関心を持ち、将来この分野に貢献したいという明確な意欲を重視します。また、データや文章を正確に読み取り、根拠に基づいて、自分の意見を論理的かつ簡潔に表現する力を評価します。また、人体の構造や機能、身体の動きのしくみについて、高校で学んだ基礎的な知識をもとに考察できる力を重視します。

- ①日頃からリハビリテーションや疾病治療・予防に関する国内外の情報に関心を持ち、基礎知識と結びつけて理解を深めてください。また、関連する時事的課題について自分の考えを整理し、簡潔に文章でまとめる力を評価します。人の身体や動きのしくみを理解し、自分の言葉で説明できるようにしておいてください。
- ②理学療法士の職務内容や役割について主体的に情報を得よう心がけてください（オープンキャンパスへの参加、理学療法士の職場見学、ボランティア活動など）。これらの経験を通して、志望理由を自分の言葉で明確に説明できるようにしておくことが望まれます。

[医療貢献学科／臨床検査学専攻]

臨床検査学専攻では、主に高校の「生物」を基盤とした生体の生理機能を学ぶこと、また、「化学」を基盤とした臨床検査における検査値や生体情報を学ぶ必要があります。検査結果の正常値や異常値、また、画像診断などにおける身体の構造や特徴などについて興味を持ち、得られたデータを客観的、論理的に判断し、その成因を理論的に考察する力が望まれます。また、チーム医療において地域医療を支える重要なスタッフの一員として、医療社会問題にも深い関心を持って取り組んで行かなければなりません。

- ①「生物基礎」、「化学基礎」に関する教科書レベルの基礎知識を問います。「人体の構造と機能」についての理解を評価します。
- ②医療情報や医療データについて、データや表、グラフを分析し、その要因の特徴や傾向、関係性を把握し、簡潔な文章にする力を問います。読解力と論理的思考力を評価します。

- ③メディア情報などの健康科学分野や医療分野の時事問題に関心を持ち、医療分野で社会貢献できる意欲を評価します。

[スポーツ・健康医科学科／スポーツ・健康科学専攻]

スポーツ・健康科学専攻では、身体と心の健康に関する研究分野およびスポーツや保健体育の振興に関して、自身の考えやその科学的論拠を理論的に説明できるか、などについて問います。

- ①日頃からスポーツや健康に関する新聞・WEBニュース・雑誌等の記事や本を読み、その内容について理解を深め、関連する時事問題に対し自分の考えを決められた文字数でまとめる力を身につけてください。
- ②スポーツ科学や健康科学に関する図表の読み取り能力を求めます。図表からデータ間の関係や傾向を読み取り、図表が意味することを簡潔な文章にまとめる力が問われます。

[スポーツ・健康医科学科／救急救命学専攻]

救急救命学専攻では、救急医療分野に関心を持ち、病院前救護において必要な疾病・ケガの病態生理などの専門的な医学知識と応急手当の技術やコミュニケーションスキルを習得する事と、社会情勢・公衆衛生などのデータに基づき理論的に思考する力が求められます。

- ①人の身体の仕組みについて興味を持ち、健康や社会に関する新聞記事や本を読み、自分の考えを表現できる力を養ってください。
- ②救急医学や地域医療に関するデータや図表の読み取り能力を求めます。データなどから傾向と特徴などを読み取り、その内容を簡潔な文章にまとめる力が求められます。
- ③「生物基礎」「化学基礎」の教科書レベルの内容の理解とその応用力を問います。

食健康科学部

[健康栄養学科]

健康栄養学科の学修には、化学を基盤とする理科系の基礎学力と、「健康」「栄養」「食」に関する諸課題を科学的に考察し、自らの考えを論理的に説明できる力が必要です。したがって、学科・専攻別適性試験では、これらの力を総合的に問います。

- ①化学基礎に関する教科書レベルの理解と計算力を問います。また、健康や栄養、保健・医療・福祉分野に関する時事的課題に関心を持ち、得た情報をもとに自らの考えを整理し説明できる力を養いましょう。

- ②図表や資料を正確に読み取り、データの特徴や傾向を把握する力、さらにそれらを踏まえて論理的に文章として表現する力を問います。
- 以上を通して、化学の基礎学力、資料読解力、論理的思考力、文章構成力および表現力を評価します。

[食創造科学科]

食創造科学科では、「食」、「栄養」、「健康」に関する研究分野に関心を持ち、自身の考えやその科学的根拠を理論的に説明できる力を求めます。

- ①日頃から食、栄養、健康に関連する最新の情報を図書や、雑誌、新聞記事などのマスメディアから入手し、自身の考えを表現できる力を身につけてください。
- ②図表からデータを読み取ること、また各要因の特徴や傾向を把握し明確な文章とする力が問われます。理解力、説得力、構成力および文章力を評価します。

福祉貢献学部

※福祉貢献学部の適性試験は、両専攻共通の問題です。

- ①社会福祉・保育・幼児教育に関することをはじめ、社会全体の動向・問題などについて、日頃から新聞をよく読むと良いでしょう。新聞やニュースなどの内容をまとめ、そこから自分の考えを導き出し、表現する力を養いましょう。
- ②試験をとおして、文章や図表を理解する力、それをまとめ、分析し、自分の意見を表現する力を判定します。

交流文化学部

[交流文化学科／ランゲージ専攻]

ランゲージ専攻では、しっかりとした日本語力を基礎に、国際社会で役立つ様々な言語や文化の知識とコミュニケーションスキルや公平で公正な態度や分析力の修得を目標としています。専攻別適性試験では、以下のことに留意して準備をしてください。

- ①普段から国内外の社会情勢や言語や文化を取り巻く状況に注意を向ける習慣をつける。たとえば、新聞やテレビ、インターネットなどで世界の言語の状況、言語教育や政策、また異文化交流・コミュニケーション、国際関係に関する最新の情報を入手しておくこと。
- ②入手した情報についてよく考え、考えたことをわかりやすく説得力のある文章にまとめる練習をしておくこと。
- ③自分の考えが相手に正しく伝わるように、文章表現

力や文章構成力も判定します。

[交流文化学科／観光専攻]

観光専攻では、観光をめぐる国際社会や国内の社会情勢、地域の問題などに常に関心を持ち、それらの問題に自分なりの考えを持って発言できるようになることを目標としています。専攻別適性試験では、以下のことに留意して準備をしてください。

- ①新聞を読む習慣を付けること。新聞やニュースに接し、分からないことは調べ、さらに知識を深める。特に観光に関連する話題については、常に問題意識を持ち、自分なりの意見を持つ。
- ②読んだものを正しく理解し、そこに自分の知識を加え、それらを総合して筋の通った自分なりの意見が導き出せる訓練をしておくこと。
- ③自分の考えが相手に正しく伝わるように、文章表現力や文章構成力も判定します。

ビジネス学部

ビジネス学部の適性試験では、以下の点について準備をしてください。

- ①政治・経済、世界情勢並びに企業行動といったビジネスに関わる新聞記事を日常的に読み、ビジネスに対する関心を持ち、概要をまとめた上で自分の意見を持つことが必要です。記事の内容や図表などを読み取り、そこから何が言えるのか、自分の考えを交えながら説明できるようにすると良いでしょう。
- ②試験を通して、記事の内容を理解する読解力や、記事の内容から問題点、課題点が何であるかを見出す力、図表や資料などを読み取り分析する力、記事の内容に関して、自らの意見を的確に相手に伝えるための文章を構成する力を判定します。

グローバル・コミュニケーション学部

グローバル・コミュニケーション学部の適性試験では、グローバル化が進む国際社会における社会的・文化的多様性や、社会が直面するさまざまな課題についての知識と関心、および自分の意見を持っているかを問います。

- ①普段から新聞を読んだり、ニュース番組を見たりして、世界と日本の動きについて情報を得るよう心がけてください。
- ②身の回りのさまざまなことに対して自分の意見をしっかりと持つとともに、わかりやすく論理的に日本語で他人に伝えるトレーニングを積んでおいてください。

◎次の文章を読んで、後の問い(問一・二)に答えよ。

荒木によれば、現代社会はかつてないほど言語化能力が必要となった時代である。しかし、それはなぜなのだろうか。彼はその理由を明確に説明していないが、筆者の考えによれば、そこには大きく分けて二つの理由がある。

第一に、社会の変化がかつてないほど激しくなったからである。新しいテクノロジーの登場によって、既存の言葉では説明ができない事態や存在が数多く出現するようになった。暗号資産、「メタバース」、ブロックチェーンなど、枚挙に暇がない。そうしたテクノロジーは短い期間で社会にシントウし、市場の状況を刻一刻と変化させていく。しかし、それが既存の言葉によって説明できない以上、私たちに自分が置かれている状況を理解することができなくなってしまう。それを可能にするためには、既存の言葉を組み替えたり、新たな言葉を創出したりするなどして、人々が理解できるように物事を説明できないならならぬ。だからこそ、言語化能力が必要になる。

第二に、そもそも物事を理解するための共通言語が私たちに失われているからである。これは、ポスト・トゥルースの状況と密接に関係する。現代社会において客観的な真実は、あくまでも「私」がそれをどのような立場から眺めるかによって、制約される。それは言い換えるなら、立場を超えて世界を説明するための普遍的な言葉が成立しなくなった、ということだ。

たとえば、中世ヨーロッパのように、キリスト教が普遍的な世界観として受け入れられていた時代には、今日のような言語化能力は、そもそも必要なかっただろう。なぜなら、世界は聖書の言葉によって説明できるからである。反対に、今日においてはそうした言葉が失われたからこそ、自分なりの言葉で物事を説明することが求められるのだ。

注意すべきことは、この第二の理由は、社会で新しい変化が起きているか否かと、基本的に関係がない、ということだ。既存の言葉で説明できない事態が生じるから、言語化が必要なのではない。すでにそれに対して言語化がなされている事柄についても、私たちは自分自身の視点から、それを言語化することを求められる。なぜなら、その事柄が何であるのか、ということとは、それをどのような立場から眺めるかによって制約されるのであり、したがって言語化に正解はないからである。何をどのように言語化することもできるからこそ、言語化能力はかえって要求されるのだ。

(中略)

私たちは、一つの同じ事柄を、様々に違った仕方でも言語化することができる。たとえば自分の人生について語ろうとするときにも、頭のなかで「シアン」している限り、いろいろな見方もできる、あるいはいろいろな見方もできる、と、様々な語り方の可能性が立ち現れるだろう。

しかし、仲間に対して語ろうとすれば、それを実際に声に出したり、ものに書いたりしなければならぬ。そのとき「私」は、頭のなかで浮動していた多様な可能性のなかから、一つを選択し、それ以外の可能性をすべて捨て、言語化する。この意味において、言語化は、表現の多様性を否定し、それを一つの表現へと限定することを意味する。

もちろん、それを「アイマイ」にすることもできる。「それがすべてではないけれど、私は〇〇だと思っ」といった風に。しかし、そうした表現は魅力的ではない、と三浦は指摘する。むしろ言語化は、「イサギヨク言い切るものでなくてはならない。つまりそれは「断言」でなくてはならない。

なぜ、断言することが必要なのか。それは、私たちがポスト・トゥルースの時代に生きており、客観的な真実によって答え合わせをすることができない世界にいるからだ。ここでは、言語化の可能性が頭のなかでは多様であるのと同じように、真実もまた多様である。「こういう見方もできる、ああいう見方もできる」ということが、「私」の頭のなかだけではなく、世界の方でも起こっている。そしてそれは、結局のところ物事をどのように判断したらよいかを、分からなくさせてしまう。

断言は、そのように判断力が機能停止した状況に対して、メイリヨウな回答を示すことができる。断言されたことは、たとえそれが内容として疑わしいものであったとしても、断言してくれたという事実だけによって、価値を持つ。断言を聞いた者は、自分で考えたり、迷ったりする必要がなくなるからである。三浦は次のように指摘する。

時代が変化するスピードは加速している。社会やビジネスのルールもあつという間にアップデートされてしまう。ぼくら一人ひとりが、そして企業だって、どちらに行くのが正解なのかわからない。そういう時代だ。だからこそ、どちらに進むべきかを決めて、断言できる人間が強い。

何が正解なのかわからないからこそ、断言できる人間は強い。なぜ強いのか。それは、誰かが正解を断言してくれることで、

周囲の人々は正解について思考する労苦から解放されるからである。その正解が間違っていたとしても、その責任は、あくまでもそれを断言した人間にある。そのように、何も考えないことを許してくれる、という点に、断言の価値があるのだ。

筆者の考えでは、しばしば詭弁家はよく断言する。それに対して、真実を探究しようとする者は、議論において様々な留保を設け、解釈の多様性を前提にして語る。その語りはどうしても歯切れが悪くなる。そして、議論において優位に立つのは、往々にして断言する詭弁家の側である。おそらくそれは、語られた内容が説得力を持つからではなく、断言することが思考の労苦を人々に免除するからではないだろうか。

(戸谷祥志『詭弁と論破』による。なお、設問の都合上、原文を一部改変した箇所がある)

(注) * 荒木によれば……荒木俊哉『瞬時に「言語化できる人」が、うまくいく。』の議論を指す。

* 三浦は指摘する……三浦崇宏『言語化力』の議論を踏まえたもの。

問一 傍線部 a・e のカタカナを漢字に改めよ。

問二 現代社会で求められるという「断言」についての筆者の主張の要点をまとめ、それに対する自分の考えを述べよ。(六〇〇字以内)

次の新聞記事を読んで、以下の問いに答えなさい。

正三角形をいくつか切って並べ替え正方形を作る。四つでできることは知られているが、三つで可能か否か。

120年以上謎だった難問を北陸先端科学技術大学院大学と米マサチューセッツ工科大学の数学者が「できない」としょうめいした。切ったピースの辺と頂点の関係から連立方程式を作り、三つで可能と仮定すると矛盾が生じると示したという。やっぱり難解だが、少しわかった気になる。

こうした「裁ち合わせ」パズルは、江戸時代にも親しまれた。なぜ、気鋭の学者が挑戦したのか。北陸先端大の鎌田斗南助教は「非常に巧妙で美しい。みりよくを深く知りたいと思った」と話す。

イタリアの研究チームは「最高のゆで卵」の作り方を発表した。熱湯が入った鍋と30度の水の器を用意し、卵を2分ごとに移して8往復させて計32分。ばさばさにもならず、半熟でもなく仕上がる。

一流シェフが、黄身と白身をわけた調理で理想的な食感を実現する、と聞いた学者が「殻を割らずにできるか」と流体力学の技法をもとに挑戦したそうだ。面白い。

世に役立つ研究なのか気になる人もいるだろう。でも、何が実用につながるかわからない。例えば、折り紙の研究も人工衛星の太陽光パネルや自動車のエアバッグのたたみ方にも応用できる。最初から〈 A 〉を求めずともいい。

近年、日本の研究力は低下傾向で、産業競争力にも影響する。とはいえ人工知能(AI)のような注目分野ばかりに力を注げば回復するわけではない。後追いも必要だが、飛躍には基礎研究こそ大切だと指摘されてきた。

科学技術を振興する次の計画を練る政府の会議で、学者の好奇心に基づく独創的な研究に長期間没頭できる環境が重要だ、という意見があった。かくしんを突く指摘だ。

若い才能が安心して自由に研究できる環境が必要だ。課題解決に取り組む専門家の応援と同時に、遠回りでも「面白そう」から始まる探究を見守りはぐくむ。まだ、日本にもその余裕はあるはずだ。

学者ばかりではない。学校や職場で、次のテストの点数や今月の実績も大事だろうが、将来の高みを目指すには基礎固めやしこうさくご、心ひかれることに熱中するの

大切だ。「すぐに役立つものは、すぐに役立たなくなる」と言われるではないか。

新たな歩みが始まる春、心機一転する人も多いだろう。そんな人たち、そして未来のために、目先にとらわれず、面白さや楽しさを大切にできる社会でありたいと思う。

〔朝日新聞〕社説「探究と未来 面白そうをはぐくもう」2025年4月13日電子版記事より引用。

なお、設問の都合上、文章の一部を省略・加工している。

※「朝日新聞社に無断で転載することを禁じる」[承諾番号25-3226]

- (1) 下線部(ア)～(ウ)のひらがなを漢字で書きなさい。
 (ア) しょうめい (イ) みりよく (ウ) しこうさくご
- (2) 下線部(エ)～(カ)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。
 (エ) 矛盾 (オ) 振興 (カ) 没頭
- (3) 下線部(キ)の漢字として最も適当なものを、下のa)～d)のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
 a) 隔心 b) 革新 c) 確信 d) 核心
- (4) < A >にあてはまる言葉として最も適当なものを、下のa)～d)のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
 a) 実利 b) 名声 c) 快樂 d) 競争
- (5) 下線部①のように、あなたが知っている、あるいは考えつく「身近な技術や自然の仕組みが、最先端のものに 응용されている例」の一つ挙げ、具体的に説明しなさい。
- (6) 下線部②の「AI」は、英語では何という言葉の略か。最も適当なものを、下のa)～d)のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
 a) Autonomous Integration b) Automatic Information
 c) Artificial Intelligence d) Advanced Internet

(7) 下線部③のように、学校教育においてすべての児童生徒の「面白そう」という気持ちを大切にするために、あなたは教師としてどのようなことに取り組みたいか。300字以上400字以内で述べなさい。

(8) 以下の英文は、下線部④「すぐに役立つものは、すぐに役立たなくなる」という考えに通じる英語のことわざである。この英文を日本語に訳しなさい。

Give a man a fish, and you feed him for a day.

Teach a man to fish, and you feed him for a lifetime.

問題1. 次の図は、総務省「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用の動向に関する調査研究」(2024)のデータを基に作成したものである。中国、ドイツ、米国、日本における、情報の真偽を確認する際に専門家やファクトチェック機関による検証結果を確認する割合(%)を示している。図をもとに問1、問2に答えなさい。

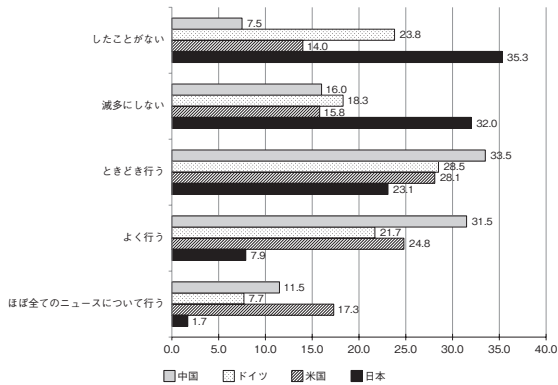


図 専門家やファクトチェック機関による検証結果を確認する割合

出典：「総務省 令和6年版情報通信白書」に付随し公開されている総務省(2024)「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用の動向に関する調査研究」の集計結果より図を作成 (<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r06/html/datashu.html#00339>)

問1. 以下の文中の[1] ~ [8]に当てはまる数値を答えなさい。なお、差を問われている場合は絶対値で答えなさい。また、[4]、[8]については小数点第2位を四捨五入した値で答えなさい。

図では、専門家やファクトチェック機関による検証結果を確認するかどうかについて、「したことがない」と回答した割合は日本が [1] %であり、中国の [2] %との差は [3] ポイントである。また、日本とドイツの「よく行う」と回答した割合を比較すると、日本はドイツの [4] %に相当し、日本とドイツの差は [5] ポイントである。さらに、「ほぼ全てのニュースについて行う」と回答した割合は日本が [6] %であり、米国の [7] %と比べて約 [8] 倍であることが読み取れる。

問2. 図から、日本と他国の情報に対する検証行動に違いがあることが分かる。日本における検証行動のあり方について、自分の考えを120字以内で述べなさい。

問題2. 以下の文章は、人とAIの共生について述べたものである。文章を読み、問1~問3に答えなさい。

3. 協働ロボットは人と協力して働いている？

人と道具型AIの協働は、人間社会にロボットやAIの方が入ってくるという意味での人間中心でなければならないと思う。郷に入っては郷に従えである。ロボットも人と同じく場の空気を読み、人の意図や感情をロボットなりに推定しての先回りした気配りとしての行動ができる必要があるし、あらかじめ決められた行動だけでなく動的な状況の変化への柔軟な対応能力も必要である。そのためには、ロボットに搭載するAIにおいても大きなアップグレード、すなわち現在の第3世代から第4世代への進展が必要となる。すなわち道具型から自律型(目的志向型)への進展である。

4. 自律型・目的志向型とは？

現在において身の回りにあるAIも他のIT技術と同じく全て我々が操作する道具として構築されている。これに対して、AIが自律性を持つということは、我々人と同じように自らの意識・意思^(注1)を持ち、自らの判断で行動できることを意味する。自ら考えて動作するAIの実現は、人を知るという意味において重要な研究テーマであるとともに、人間社会の持続と発展の観点においても必要不可欠な挑戦である。

超少子高齢化時代が到来する日本において、介護や労働力としてのAIやロボットへの期待は大きい。その際、決められた動作しかできないAIやいちいち命令しないと動作しないAI、そして状況を理解して空気を讀んだ行動ができないAIでは、社会に溶け込み人と共生する関係には到達できない。AIが目的(目的は人が埋め込む)に従い、状況に応じてどのように振る舞えばよいかを自らが判断し、人から指示がなくとも能動的に先回りして動作してくれる方が圧倒的に便利である。そのようなAIとであれば結果的に信頼関係も構築でき、人とAIとの共生関係も構築できると考える。

(注1)人と同じ仕組みで意識を持つという意味ではない。

8. 人とAIとの共生社会の受け皿としての日本

日本における誰もが知るマンガ「ドラえもん」において、ドラえもんはのび太君をちゃんとした人間に変えるために未来からやってきたのである。明らかにEU規制法^(注2)における最も危険なAIということになる。

興味深いのは、ドラえもんのような作品が日本で誕生し、皆がそれを抵抗なく受け入れる社会こそが日本社会であるという事実である。EU社会と日本社会のこのような違いについては宗教の観点や島国であることなどいろいろな説明があるが、人とAIが共生する社会の構築において、日本の方がAIとの親和性が高いことは間違いない。

(注2)EU規制法：ヨーロッパ連合(EU)が決めたAIの使い方に関する法律。AIを危険度に応じて4段階に分け、特に「人の行動を強く操作するようなAI」は最も危険とされ、利用が禁止されている。

出典：栗原聡：人とAIの協働から共生への転換 電子情報通信学会誌 Vol.107 No.5 (2024) より、3章、4章、8章の一部を抜粋・改変

人とAIとの協働から共生への転換 栗原 聡 正員 慶應義塾大学理工学部管理工学科 Satoshi KURIHARA, Member (Faculty of Science and Technology, Keio University, Yokohama-shi, 223-8522 Japan). 電子情報通信学会誌 Vol.107 No.5 pp.386-390 2024年5月(c)2024 電子情報通信学会

問1. 本文中の「自律型（目的志向型）AI」の意義について、文章の内容に基づき100字以内で説明しなさい。

問2. 筆者が述べる「ドラえもん」の例は、日本社会のどのような特性を示しているか。文章の内容に基づき150字以内でまとめなさい。

問3. AIが人と共生する社会を実現するにあたって、自分が考える課題を200字以内で述べなさい。

データサイエンス専攻

問題1 図1および図2は、総務省による「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用の動向に関する調査」から、情報リテラシーに関する結果を抜粋し作成したものである。図1は、オンライン上での最新情報の入手方法について（複数回答可）の回答割合を国別に示している。図2はオンライン情報の信頼性の確認方法について、各確認方法を行う頻度に対する回答のうち、「ほぼすべてのニュースについて行う」と「よく行う」の回答割合を合計した数値を国別に示している。

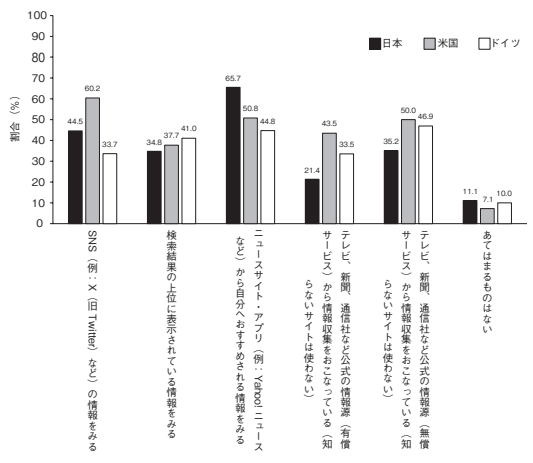


図1 オンライン上での最新情報の入手方法について（複数回答可）の回答割合

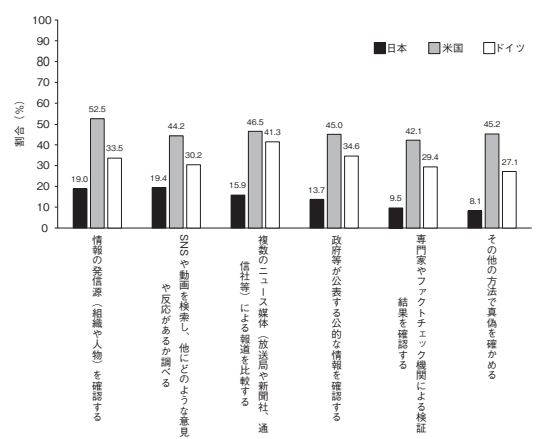


図2 オンライン情報の信頼性の確認方法について、高頻度で確認を行う人の割合
出典：「総務省 令和6年版情報通信白書」に付随し公開されている「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用の動向に関する調査研究」
(https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/link/link03_r06.html) の集計結果より抜粋して図1と図2を作成

問1 以下の文章の〔1〕～〔9〕に当てはまる数字もしくは国名を答えよ。ただし、小数点以下を含む数字の場合は、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで答えること。

図1より、オンライン上での最新情報の入手方法として「ニュースサイト・アプリから自分へおすすめされる情報を見る」人の割合を国別に比較すると、〔1〕が最も高く〔2〕%であり、最も低い国と比べて〔3〕%の差（絶対値）があることがわかる。また、図1からは国ごとの情報入手方法の特徴を読み取ることができる。例えば、〔4〕においては、情報の入手方法として「公式の情報源（無償サービス）から情報収集する」人の割合が最も高く〔5〕%となっている。また、日本においては、「公式の情報源（無償サービス）から情報収集する」人の割合は、「公式の情報源（有償サービス）から情報収集する」人の割合に比べて〔6〕倍である。この倍率は他国よりも高いことから、日本ではオンライン情報に対価を支払わない傾向があることがわかる。

図2において、例えば、日本以外の2国の割合の差（絶対値）が最も小さい質問項目では、日本での割合は〔7〕%であるのに対し、他2国での割合の平均値は〔8〕%である。他2国の平均値は日本の〔9〕倍となっていることから、日本と他国で大きな違いがあることが読み取れる。

問2 日本におけるオンライン情報の信頼性の確認方法について、図2から直接読み取れることを75字以内で答えよ。

問3 図1と図2から、日本における情報リテラシーの特徴についてどのようなことが言えるか、150字以内で答えよ。

問題2 以下の文章はAI時代の知識獲得について述べた文章を一部抜粋・改変したものである。次の各問に答えよ。

著作権上の理由により、
掲載しておりません。

著作権上の理由により、
掲載しておりません。

出典：「これからのAI、正しい付き合い方と使い方 ―「共同知能」と共生するためのヒント―」
Ethan Mollick 著、久保田敦子 訳、2024年、株式会社 KADOKAWA

注1 バラドックス：一見すると真理でないように思えるが、よく考えると真理であること

注2 アウトソーシング：業務を外組織にゆだねること

注3 ギザギザの境界線：AIにできることとできないことの境界線は複雑であり容易にはわからないこと

問1 著者が「汎用技術」として挙げている技術を2つ答えよ。

問2 AI時代にも専門知識が必要である理由として著者が挙げていることを125字以内で述べよ。

問3 著者が述べている「AI時代の知識獲得のバラドックス」とは何か。150字以内で説明せよ。

問4 本文を踏まえ、AI時代における大学での学修について、自分の考えを300字以上400字以内で述べよ。

問題1 次の各問に答えなさい。

- (1) $\triangle ABC$ において、 $AB = 5$ 、 $BC = 7$ 、 $CA = 8$ のとき、 $\angle A$ の大きさを求めよ。
- (2) $\tan \theta = \frac{1}{3}$ のとき、 $\cos 2\theta$ の値を求めよ。
- (3) $(x^2 - 2y)^8$ の展開式における $x^9 y^5$ の係数を求めよ。
- (4) 関数 $y = (3x + 2)(2x - 1)$ の $x = 3$ における微分係数を求めよ。
- (5) $-x^2 + 2x$ の不定積分を求めよ。
- (6) 極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{2^{2n+1} + 3^n}{4^n + 2^{n+1}}$ を求めよ。
- (7) $|\vec{a}| = 1$ 、 $|\vec{b}| = \sqrt{2}$ であり、2つのベクトル $\vec{a} + \vec{b}$ と $3\vec{a} - 2\vec{b}$ は直交しているとす。このとき、①内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ の値、および② \vec{a} と \vec{b} のなす角 θ ($0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$)を求めよ。

- 1 -

問題3 以下の文章は、「脳の仕組みと数学」について述べたものを一部抜粋したものである。次の各問に答えなさい。

数学で脳の仕組みを解明したいという、えっと驚く顔をする人も多い。無理もない。生物学と数学はいまだに遠く離れていると思われる。しかし、物理学にせよ化学にせよ、現象の観察から始まり、次第にその仕組みを理論として整備するようになると、奥に潜む法則を数式で表現する。これによって、現象を支配している「原理」が理解できる。

生命現象は複雑であり、種によって現れ方が異なり、驚くほど多様である。それは、進化の結果として現れたものだ。情報処理に特化した脳の機能を考えれば、ここでも進化の結果、合理的なもの選ばれている。そこにはニューロン^{*1}のような素子を用いて実現できる情報処理の基本原則があり、生命はそれを実現する脳を作ってきた。進化の過程で見つけたのだから、原理の実現には材料の制約がある。さらに歴史的な宿命を負っていて、それまでに実現したものの上にかぶせる形で新しいものを作らなければならなかった。

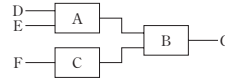
個別の現象を観察するのは、生命科学として面白い。いろいろな種それぞれ驚くほど多様な仕組みが存在し、これらがうまく機能している。この個性を明らかにするのも生命科学では重要である。私たち理論屋からすれば、個性は無視しても、いきなり情報の基本原理に迫りたい。それを数理解論として確立することで、普遍性のあるものになりたい。原理を追究するには、モデルを使う。できるだけ単純な神経回路^{*2}のモデルを構築し、その動作を理論的に調べる。単純化したものであれば、それは一見本物とは似ても似つかないかもしれない。しかし、そこに情報処理の本質に関係した構造が含まれていれば、ここから原理を構築できる。単純なモデルといえども動作は複雑であるから、数学を使って解析のできるものが好ましい。

脳が実現した原理、脳によって立つ原理は1つではない。脳はマイクロからマクロまで、種々の階層を持ち、それぞれが順につながっている。その機能も多様である。だから、極めて多くの原理を複合して用いているに違いない。物理学ならば、力学、電磁気学、量子力学など、それぞれに原理があり、多くは独立に理論化でき

- 3 -

問題2 次の各問に答えなさい。

- (1) 2進数の0101101010と1011101101を加算した結果を16進数で表せ。
- (2) 24ビットフルカラーで1920×1080ピクセルの画像を1フレームとした30fpsの10秒の動画のデータ量は何MBとなるか、小数第一位を四捨五入し整数で求めよ。
- (3) IPv6アドレスのビット長は、IPv4アドレスのビット長の何倍となるか答えよ。
- (4) 以下に示す論理回路のDに1、Eに1、Fに0を入力した時の出力Gを求めよ。ここで[A]は論理和、[B]は論理積、[C]は否定を表す。



- 2 -

たが、脳はそうはいかない。

物理の場合も、我々が現実に見る現象は複雑である。力学が確立したといっても、風が吹き、花びらが舞い、ほこりが舞ぶ様子を基本原理で説明せよといわれても困ってしまう。しかし、物理の場合には、理想的な状況が存在した。ニュートン力学の場合、天体はほぼ質点とみなせて、天体の運動は力学の法則に従って動いている。これを観測して、そこから力学の法則を抽出できる。地上の物体にも同じ法則が原理として作用していることを悟るには、想像力が必要である。量子力学や物性理論にしても、極低温とか、高温高压とか特別な状況で、法則がじかに現れるような系を作る。これを観測することが理論を作り、また検証するのに役に立つ。

生命の場合は、そのような理想状況は作りにくい。そんな状況では生命は死んでしまうからだ。だから、その代わりに単純なモデルを作って、その動作を解析する。ここでわかった法則が、実際の脳の中でどんな形で実現しているかを見るのはその次の話になる。

だからこそ数理脳科学は、神経回路網に潜む可能性を原理の体系として数学的に定式化することを目指す。だが残念なことに、理論脳科学の中で数理はまだ少数派である。多くの理論家が歩んでいる道は、計算論的神経科学と呼ばれている。これは、現実の脳のいろいろな部位がその動作の中でどのような計算を実行しているのか、これをきちんと定式化して、実験と照合しながら理解することを目指すものだ。

ここでも神経回路のモデルを用いるが、それはできるだけ現実に近いものがよいとされる。架空のモデルなど論外である。こうして、現実に脳で起こっている現象が説明できれば、現象を正しく理解したという証になる。第2次ニューローム以降、この立場が強力になってきて、いまや脳科学の大切な一翼を担っている。ここでは、具体的な実験に即した研究、できれば実験研究者との共同研究が評価される。

数理脳科学はこれとは少し違い、「原理」を求める理論である。私はこの立場に立っていて、少数派である。もちろんいくつかの原理の理解が得られたとしても、現実の脳がこの原理をどのように実現しているか、これは解明すべき別の大事な問題である。脳を理解するには、脳が原理をいかにして実現したのか、その仕組みの

- 4 -

解明が欠かせない。計算論的神経科学はこのギャップを埋め、原理が脳の中で実現している様子を計算論として実際に即して明らかにするから、どちらも同様に重要である。神経回路を用いて行う計算の原理が、いくつかわかったとしよう。これは脳に限らず、工学として情報処理装置を実現するのにも使える。この仕組みを利用して人工知能を作ればよい。

出典：講談社、脳・心・人工知能 数理で脳を解き明かす（ブルーバックス）、甘利俊一、2016 を一部改変。

*1 ニューロン：神経細胞のこと。

*2 神経回路：ニューロン同士の結合によって形成される。

問1 著者は「情報処理に特化した脳の機能を考えれば、ここでも進化の結果、合理的なものを選ばれている。そこにはニューロン*1のような素子を用いて実現できる情報処理の基本原則があり、生命はそれを実現する脳を作ってきた。」と述べている。「脳の情報処理の基本原則」を数学で解明する方法を、本文を引用しながら200文字以内でまとめよ。

問2 著者は「物理学ならば、力学、電磁気学、量子力学など、それぞれに原理があり、多くは独立に理論化できたが、脳はそうはいかない。」と述べている。それはなぜか。本文を引用しながら150文字以内でまとめよ。

問3 著者は「神経回路を用いて行う計算の原理が、いくつかわかったとしよう。これは脳に限らず、工学として情報処理装置を実現するのにも使える。この仕組みを利用して人工知能を作ればよい。」と述べている。数学で脳の仕組みを解明できたら、今後、人工知能はどのようなことができるようになるかについて、本文を踏まえて、あなたの結論を明確に示した上で述べよ。ただし、具体的な例を挙げるなど、分かりやすく400文字以上500文字以内で記述すること。

— 5 —

心理学科

※問2については解答用紙に所定欄が記載されているため、問題のうしろに解答用紙も掲載しています。

問題

インターネットやSNSの普及により、誰もが容易に情報を発信・拡散できるようになった。その一方で、誤った情報や不確かな情報が流通・拡散されることもあり、多くの人々に影響を与えている。こうした偽情報や誤情報（以下、偽・誤情報）の流通・拡散を防ぐ対策が必要とされている。以下の研究は、その対策を考えるためのヒントを提供してくれるものである。

ある心理学者が、SNSで偽・誤情報を拡散してしまう理由について2つの仮説を立て、いずれが妥当なのかの検証を行った。1つ目の仮説は、偽・誤情報を拡散してしまうのは、「人はそもそも情報の正確さを正しく判断できないから、偽・誤情報を拡散してしまうのだ」というものであった。そこで、200名の大学生を対象にSNSで実際に流通している情報の中から、「正しい情報」と「偽・誤情報」を選び出し、その内容の真偽を判断してもらった。調査の結果、「正確である」と判断されたのは正しい情報では約70%、偽・誤情報では約10%であった。この結果は、ある程度は情報の真偽を正しく判断できることを示しており、「人はそもそも情報の正確さを正しく判断できないから、偽・誤情報を拡散してしまうのだ」という考えに一致しないものであった。

次に、偽・誤情報を拡散してしまうのは、情報の正確さを正しく判断できないからではなく、「拡散時にその情報の正確さを十分に考えようとせず、注意を向けないからだ」という仮説を立てた。これは、偽・誤情報を拡散してしまうのは、人々がSNSを利用する際に、情報の正確さよりも、それが友人やフォロワーなどの関心を引きつけ、楽しませる情報であるかに意識を向けてしまうからだ、という考えである。

この考えを検証するために、先ほどの調査とは別の169名の大学生を対象とした実験を行った。実験では、SNSで実際に流通している情報から選んだ「正しい情報」と「偽・誤情報」を提示し、友人やフォロワーに拡散しようと思うかどうかを尋ねた（これを本番用の情報とする）。実験本番の質問に先立つ作業として、何もしないグループ（統制群）、本番用の情報とは別の情報を1つだけ提示し、その情報の正確さを考えるよう促したグループ（正確さ群）、同じく本番用の情報とは別の情報を1つだけ提示し、その情報の面白さを考えるよう促したグループ（面白さ群）を設けた。

実験参加者はいずれかの群へと無作為かつ均等に割り振るよう試みたが、人数の都合上、統制群のみ他の2群よりも1人多くなった。表1は「正しい情報」と「偽・誤情報」のそれぞれに対して、SNSで誰かに拡散するかという質問に「はい」と答えた者の割合を群ごとに示した結果である。

図1は、上記の研究とは別に、総務省が行った偽・誤情報の拡散傾向の実態把握を目的とした調査から、偽・誤情報の拡散理由をまとめた結果である。

※問題中の実験およびデータは、架空のものであるが、実際の研究をもとに作成されている。

問題 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

ストーリーを言葉で表現する(物語)とき、物語を構成する言葉にはどのような形が見られるでしょうか。「桃太郎」のボウトウを見てみましょう。

- (1)むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。
- (2)ある日、おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。
- (3)おばあさんが洗濯していると、川上から大きな桃が、どんぶらこ、どんぶらこ、と流れてきました。
- (1)は「××している」「往んでいきました」という形からわかるように、特定の「状態」をあらわしています。
- (2)と(3)はそれと違い、ある一日のなかの「できごと」を報告しています。
- 「状態」は静止していますが、「できごと」は、それが「起こる前」と「起こったあと」とに、時間を分割します。「できごと」とは、「状態」の変化なのです。

このうち(2)は、前後の文脈を「コウリヨ」すると、日常的に繰り返される「できごと」を報告していると判断されます。つまり、おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行ったのだらうと推測されます。

ちなみに、(2)が日常的に繰り返される「できごと」を報告しているというシヨウゴは、じつは文面のなかにはありません。だから、「その日、おじいさんとおばあさんが一緒に住むようになって」「B」、芝刈り・洗濯に行った」と解釈することも、不可能ではありません。

でもきつと、そのように解釈する人は、あまりいいでしょう。日本人が持っているスキーマ(一般的な概念の枠組みとして働くデーター構造)では、「洗濯」とはそういうものではないからです。

いっぽう(3)は、この日かぎりの「回性」の「できごと」、あるいは少なくとも、日常的に起こるわけではない「できごと」を記述しています。一般に、そういうできごとを人は、報告に値する「できごと」と考えます。

- (1)は状態、(2)(3)はできごと
- を記述していますが、そのいっぽうで、ストーリーのなかで
- (1)(2)は「地」(背景)、(3)は「因」(意識の志向対象)
- を記述しているということになります。

(3)のように、非日常的なできごとには報告される価値が高いとされ、じつさい、優先的に報告されます。それは新聞やTVやネットの重要なコンテンツである「ニュース」のことを考えればわかると思います。

日常生活も同様です。僕らは日々、ストーリー形式で人生を「ハアク」している中で、親と激しく喧嘩した、好きな人に告白してつきあうことになった、定期券の期限が切れた、子どもが熱を出した、などのできごとには報告価値があると見なされます。

逆に、困ったことあったがとりあえずきょうも一日無事学校(仕事)に行つて帰つた。きょうもごはんをおいしく食べることでできた、鍵を忘れず持って出かけ忘れず帰つたので家に入ることができた、うちの猫がきょうも便秘せず立派なうんこをした、などのことは、「地」(背景)と化して、意識にすらのぼらなくなりません。

ストーリーというのはなんだか、もつたないことともしているのですね。無事に家に入ることができたなら、どうかとさには「きょうは鍵を忘れず持って出かけ忘れず帰つて帰つてくれてありがとう。よくやったよ私」と、ナイス自分をねぎらつてみてはいかがでしょう。

さて、日常的なできごととは、報告される価値がないのでしょうか。通常は、ストーリーのなかで省略されてしまいたしかに、木から葉っぱが一枚落ちた、という程度のできごとだったら、通常は、ストーリーのなかで省略されてしまいたす。

けれど、もし主人公が、木から葉が一枚落ちたのを見て、それで重力の法則を発見してしまったらどうでしょうか。また、O・ヘンリーの『最後の一葉』の、もしあの木の最後の一枚が落ちたら、私は死ぬんだ」と思っている人物にとっては、その一枚が落ちるかどうかがというは重大事です。

つまり、どのできごとが報告される価値があるか、ということとは、どのようなストーリーであるかによっても決まるのです。たとえ木から葉っぱが一枚落ちた程度のできごとでも、筋のなかで機能を果たしていたら、省略することができません。

(千野帽子『人はなぜ物語を求めるのか』による)

注* O・ヘンリー……一八六二～一九一〇年。アメリカの小説家。短編小説を得意とし、約二八〇の短編作品を残した。

問一 傍線部ⅰ、ⅳを漢字に直しなさい。

- 問一 空欄 A・B に入る語句として最も適当なものを次のア～クの中からそれぞれ選びなさい。
- ア このようにして イ ふと思いついて ウ たまたま エ 初めて
- オ 時々 カ おそらく キ いつものように ク 必ず

問二 傍線部 a「洗濯」とはそういうものではない」とあるが、筆者は洗濯をどのようなものと考えているか、十五字以内で説明しなさい。

問三 傍線部 b「ストーリー」というのはなんだか、もつたないことともしているのですね」とあるが、物語る行為をする際に、どのところがなぜ「もつたない」のか。問題文の内容を踏まえて五〇～一〇〇字で説明しなさい。

問四 「木から葉っぱが一枚落ちた」という「できごと」を用いたストーリーを考えなさい。字数は八〇字以内とする。

◎以下の問題文を読み、次のページの問1～3に答えなさい。

インターネット上のサービスの多くは、民放の地上波テレビと同様に無料で利用できるが、これはサービス利用時に広告が表示されるからである。テレビ広告であれば、視聴者を性別・年齢といった何らかの〔 1 〕にもとづいてセグメントと呼ばれる同質な集団に分割したうえで、商品やサービスが想定する消費者のセグメントに沿った番組に出稿される。たとえば、医薬品の広告は高齢者を対象とした番組、化粧品の広告は女性を対象とした番組といった形である。

ある〔 1 〕の人がある番組を視聴しやすいというのは、あくまで統計的な話であり、例外が存在するのは当然としても、F1層（20歳から34歳までの女性）などといった性別や年齢にもとづく区分では、価値観が多様化した現代人に対する分類としては心もとない。

対してインターネット上では、ユーザーが行動するたびに「どの記事を読んだか」「どのような記事に「いいね！」を押したか」「どのような単語で検索を行ったか」「どのような動画を再生したか」「どのような広告をスキップしたか」といったデータが蓄積され、それを元にユーザー個人に沿った広告を提示することができる。過去の行動から見て関心を持つ可能性が高い広告に接触することがユーザーにとってメリットかどうかはわからないが、少なくとも広告主にとっては大きなメリットがある。

また、ユーザーが何らかの行動を行うたびに記録されるデータは広告の表示のみに利用されるわけではない。グーグル（Google）のような検索エンジンにおいては、それまでのユーザーの行動に合わせて検索結果が変化するため、同じ検索ワードを用いたとしても、表示される結果はユーザーごとに異なる。

このようにユーザーの過去の行動が膨大なデータとして蓄積され、データの分析にもとづいて個人にとって最適なサービスが提供されることを「パーソナライゼーション」と呼ぶ。パーソナライゼーションが行われたインターネット上では、誰一人として同じものを見ることはない。「私が見ているインターネット」と「あなたが見ているインターネット」は異なるのである。自分専用に〔 2 〕されたインターネットは、誰に対しても同じ紙面、同じ番組を提供しているマスメディアとくらべて、とても魅力的だと言える。

— 1 —

問3. 下線部「社会レベルの弊害」によって、パーソナライズされたインターネット普及以降の社会では、人々の間にどのような事態が発生すると考えられるか。また、テレビや新聞などのマスメディアは、そこでどのような役割が求められるか。その2つについて、自分の考えを300字以上400字以内で書きなさい。

— 3 —

一方で、パーソナライゼーションには2つの弊害が指摘されている。

1つ目は個人レベルの弊害であり、セレンディピティと呼ばれる偶然にもとづく発見の機会が失われることである。意外な出来事に遭遇し、優れた洞察力によって、もともと探していなかった何かを発見する。自然科学の分野においては、もともとの研究目的とは異なる偶然による発見が繰り返されてきたが、近年ではビジネスの分野においてもセレンディピティの重要性が強調されている。しかし、パーソナライゼーションによって、個人の嗜好にもとづく情報提示がなされるならば、もともと探していた情報を得るうえでの効率は上がるものの、「探していなかった何か」と偶然出会う機会は限られてしまう。

もうひとつは社会レベルの弊害である。民主主義においては、意見が異なる他者同士が議論を行うことで、人々の意見が変容し、より良い結論に達することが期待される。意見が異なる他者同士が議論を行うためには、ある程度の情報が共有されている必要がある。しかし、パーソナライゼーションが進んだ世界においては、そもそも見ているものが異なるため、議論の前提となる情報の共有が困難となる。

稲増一憲『マスメディアとは何か 「影響力」の正体』（中公新書、2022年）問題文作成にあたって、原文から一部、省略を行った。

問1. 問題文中の次の空欄〔 1 〕〔 2 〕に当てはまる語として、最も適したものをそれぞれの選択肢の中から選んで、解答に書きなさい。なお、〔 1 〕は文中で2回使用されています。

〔 1 〕 中性 付属 属性 主観

〔 2 〕 均質化 一般化 最適化 画一化

問2. テレビにおける広告の表示と、インターネットにおける広告の表示の仕方は、どのように異なっているか。問題文をもとに、100字以上200字以内で説明しなさい。

— 2 —

【問題1】以下の文章を読んで問1～4に答えよ。

日本の新型コロナウイルス感染症への対応は、2020年1月に国内初の感染者確認の後、同年4月に緊急事態宣言が発出されてから、2023年5月に5類感染症への位置づけとなるまで、社会全体、あるいは医療機関・教育機関・職場・各家庭などにおいて様々な対策が講じられ、私たちのライフスタイルに大きな変化をもたらしました。内閣府ではコロナ禍における日本人の生活状況の変化を把握するため、2020年から2023年までの間に6回の調査を実施しました。調査の内容は実施回により異なりますが、3回目以降は、1. 働き方、2. 子育て・結婚、3. 地方（への移住の意向）、4. その他、によって構成されています。

コロナ禍を経て大きく変化したことのひとつとして働き方があげられます。具体的にはテレワークを活用し在宅で仕事をする就労形態の登場と普及を意味しますが、2023年3月時点で、調査への回答者のうち全国的には約3割、東京23区居住者では約5割を占める人がテレワークを実施しています。その様子は報道でも取り上げられていましたが、自宅で仕事に従事するスタイルは、日本人の生活感に大きな影響を及ぼした様です。

下の図は、コロナ禍発生以降のワークライフバランスへの意識の変化を示したものです。感染拡大直後の2020年5～6月では回答者の約半数にあたる50.4%の人が(ア)と答えています。その後この割合は徐々に減少していきませんが、2023年3月の調査時点においても(イ)%の人が「生活を重視」しています。

また家族と過ごす時間に関しても、2020年5～6月の時点では70.3%の人が増加(略)と答えており、そのうち8割の人がそのような状態を「保ちたい」と考えていました。その割合は2023年3月になると減少するものの、38.1%が増加(略)と答えており、家族生活を重視する世帯が一定割合増えたことが分かります。(略)ここで触れた内容はアフターコロナの変化の一部に過ぎませんが、住まいに求められる機能が変化しつつあることがうかがえます。

ワークライフバランスの変化

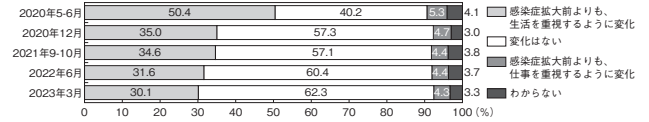


図 ワークライフバランス (就業者)

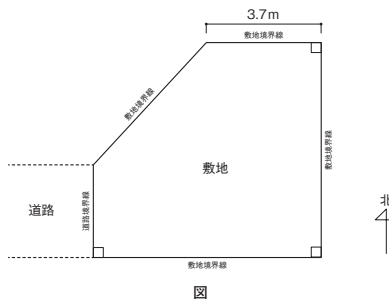
出典：水村容子・井上由紀子・渡邊美樹編：私たちの住いと生活 第2版、彰国社、2024年2月10日。一部改変

内閣府「第6回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(令和5年4月19日)

- 問1 文中の(ア)に入る文章を次のA～Cより一つ選べ。
- A 感染拡大前よりも、生活を重視するように変化
 - B 変化はない
 - C 感染拡大前よりも、仕事を重視するように変化
- 問2 文中の(イ)に入る数値を小数点以下第1位まで答えよ。
- 問3 コロナ禍を経て私たちのライフスタイルに大きく変化をもたらした働き方とは、具体的にどのようなものか、文中から抜き出し25文字以内で答えよ。
- 問4 コロナ禍を契機として変化したワークライフバランスへの意識に合わせて、住まいにはどのような工夫が必要になったと考えるかについて、ワークライフバランスへの意識の変化と住まいの工夫の関係が分かるように500文字以内で述べよ。

【問題2】以下の問いに答えよ。

- 問1 図の敷地は、3mの道路に接し、東の敷地境界長さは7mで、南側の敷地境界長さは7.5mである。以上の情報を元に、対象とする敷地の面積[m²]を、計算により小数点以下第1位まで求め解答欄に記入せよ。



- 問2 「敷地面積に対する建築面積^{※1}の割合」のことを「建ぺい率」と呼び、敷地に建てることのできる「建築面積」は法律によって地域ごとに上限が定められている。敷地面積が143m²で、建ぺい率が60%の場合の建築面積[m²]を、小数点以下第1位まで求め解答欄に記入せよ。

※1 建築面積とは建物を真上から見た時の面積を指す。

- 【問題3】1～4の文章は日本の有名建築家が設計した住宅を説明したものである。1～4の説明文に該当する住宅のイラストをA～Hから選び、アルファベットを解答欄に記入せよ。

1. 軽井沢の山荘 (設計者：吉村順三 竣工年：1962年)

三方をせせらぎで囲まれた小高い丘の上に建つ「軽井沢の山荘」は、吉村自身の別荘として計画された。(略)敷地条件としては、自然が間近にある、眺望がいい、というメリットがある一方で、人が常駐していないため、セキュリティやメンテナンスの問題というデメリットがある。(略)解決策として特に重要なのは、鉄筋コンクリート構造の1階の上に木造の居住空間を張り出して配置する、という空間構成である。この構成方法は、特徴的で独特な外観を形成するとともに、いくつかの機能的な効果を持つ。例えば、湿気の多いこの地域での木材の腐りを防止し、湿気の少ない居住環境を獲得することができる。また、2階の居住空間での眺望を確保し、森との一体感を高める効果も持つ。さらに、主な居住空間を2階に持ち上げたことで管理が容易になり、セキュリティの問題がクリアされた。これにより、居住空間で思い切った開口部を設けることができる。(略)

2. 屋根の家 (設計者：手塚晴晴+手塚由比 竣工年：2001年)

敷地は神奈川県秦野市の高台にあり、屋根の上からは、弘法大師の伝承がある弘法山とその前に広がる住宅地を眺めることができる。そして、屋根の上でごはんを食べることが施主の要望だったという。この屋根の上は、日々の暮らしにとっても近く、屋根の下の生活が屋根の上に漏れ出している。思い思いの部屋から屋根の上に出ることができるように、屋根には8個もの窓が開いている。屋根勾配は眺望のいい斜面と同じ傾きになっていて、建物全体の高さも抑えられている。そのため、庭からちょっと手を伸ばせば、屋根の上にいる人が手が届く。眼下に見下ろす街並み、向こうに見える山、屋根に開いた窓の下から顔を出す人、軒下の庭にいる人、「屋根の家」は様々な部分で屋根の向こう側とつながっている。

3. 住吉の長屋 (設計者: 安藤忠雄 竣工年: 1976年)

高密度化する都市のなかで、人がどのように暮らすのかという問いに対して、きわめて抽象化された設計手法とシンプルな形態で回答した住宅作品が「住吉の長屋」である。(略) この住宅は、3軒続きの古い木造長屋の真ん中1軒を建て替えたものである。(略) 安藤は、続き長屋を通し梁もろともカットし、そこにコンクリートの箱を挿入したのである。コンクリートの箱は3分割され、真ん中を欠き取り中庭とされた。中庭は、光、風、水という自然を、象徴的に生活の中に持ち込むための装置として働くのである。(略) 「住吉の長屋」のファサード^{※2}は、コンクリートの壁に入り口が切り取られているのみであり、きわめて閉鎖的な印象である。そのことは、都市環境に対する態度を示すものであるとも考えられるが、壁のなかに内包されている空間への期待を掻き立てる。

4. 日本橋の家 (設計者: 岸和郎 竣工年: 1992年)

間口3mに満たない「日本橋の家」のファサード^{※2}は、一見、とても単純である。鉄骨のH型鋼によって枠取られた正方形が4つ。その上に、黄金比四角形が1つ載っていて、5階建の建築のようである。(略) 敷地は、大阪の商店街の通り沿いにある。このあたりは、細長い狭小敷地に建物が建て込んでおり、建築の側面がほとんど見えず、細長く縦に伸びる立面のみが街並みをつくっている。この家は4つのフロアが積み重なってできており、最上階にあたる4階の床は、隣の建物の3階の床のレベルとほぼ同じ高さしかない。1階から3階までの天井高と階高はぎりぎりまで抑えられ、その上に約6mもの天井高さを持つ最上階が載っている。(略) ここにはファサードから階数が読み取れない複雑さがある。

※2 ファサードとは、建物の正面の外観のこと



イラストA



イラストB



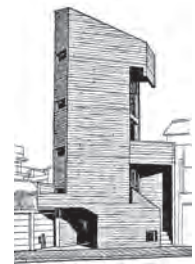
イラストC



イラストD



イラストE



イラストF

— 5 —

— 6 —



イラストG



イラストH

出典 (文・イラスト共に): 尾上亮介・竹内正明・小池志保子: 図解 ニッポン住宅建築—建築家の空間を読む、第1版第1刷、学芸出版社、2008年。

(文) 尾上亮介・竹内正明・小池志保子、(イラスト) 野村彰: 図解ニッポン住宅建築—建築家の空間を読む、学芸出版社、2008年

— 7 —

問題1 図1は、経済協力開発機構（OECD）の調査による睡眠時間の国際比較である。図2は厚生労働省による睡眠時間とところの状態を調査したものである。このところの状態については、K6^{※1}という米国のKesslerらが開発した自記式スクリーニング^{※2}尺度で検査した結果が示されている。この検査では点数が高いほど精神的な問題を抱えている可能性が高いとされる。

- ※1 「理由もなく疲れ切ったように感じましたか」などの質問項目が6つあり、それぞれについて、5段階（「まったくない」0点、「少しだけ」1点、「ときどき」2点、「たいてい」3点、「いつも」4点）で評価してもらう検査。抑うつ性障がい及び不安障がいの有無の可能性を調べることができる。
- ※2 対象者自ら回答し、その結果から、ある特定の条件の者を選別する検査のこと。

問1 次の文章は図1または図2を説明したものである。（ ）内のうち、①と②は国名を書きなさい。また、③～⑥は数値を答えなさい。

労働者にとって、労働時間と睡眠時間は密接な関係がある。国際的にみると、男女の合計睡眠時間が最も多いのは（ ① ）である。次いで、（ ② ）が多い。日本は、男女の睡眠時間が最も少なく、特に女性は（ ③ ）分と国際的にみて最も短い。

また、図2をみると、K6の合計点数が「0～4」である人の割合は、睡眠時間が（ ④ ）時間以上（ ⑤ ）時間未満の場合に最も高く、次いで、（ ⑥ ）時間以上（ ⑦ ）時間未満であった。また、睡眠時間が5時間未満は（ ⑧ ）%と最も低かった。

出典：厚生労働省編、令和6年度版厚生労働白書、2024、日経印刷株式会社、p.26

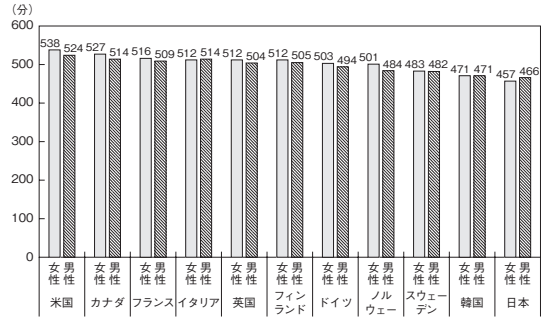


図1 睡眠時間の国際比較

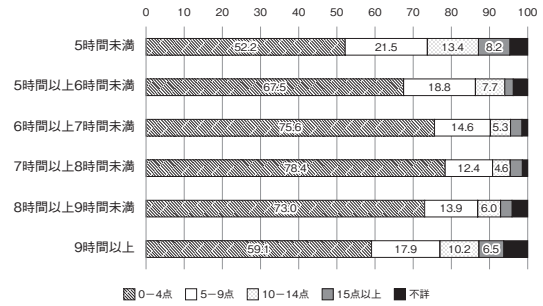


図2 睡眠時間別に見たK6の合計点数

問2 図1および図2の結果からわかることを明記した上で、こころの健康を確保するためには、どのような方策が必要であると考えられるか。あなたの考えについて理由も含めて350字以上400字以内で述べなさい。

— 1 —

— 2 —

問題2 次の文を読んで下記の問いに答えなさい。

(A) 全国学校図書館協議会が毎年実施している「学校読書調査」が今年も発表された。ほかにも今年は文部科学省「21世紀出生時横断調査（平成13年出生児）」やベネッセ教育総合研究所「子どもの読書行動の実態」、OECDのPISA2022といった注目の調査も公表された。これらを元に小中高生の読書の実態を捉え、今後の読書推進施策を考えてみたい。

まずは学校読書調査の書籍と雑誌の不読率（月間の読書冊数の0冊回答者の割合）、平均読書冊数の変化からだ。書籍の不読率は、小学生は7%、中学生は13.1%、高校生は43.5%。書籍の月間読書冊数は、小学生は12.6冊、中学生は5.5冊、高校生は1.9冊。2000年代以降、小中高生の不読率は低下し、書籍の読書冊数は、小中学生は増加傾向が続き、高校生は半世紀以上にわたって横ばいである。少子化にもかかわらず児童書市場は堅調である。児童書の推定販売金額を14歳以下人口で割ったものを見ると、2010年代半ばから明確に上昇傾向にあり、近年は過去最高に子どもひとりあたりに書籍に支出しているであろうことがわかる。

(B) 雑誌については、不読率は小学生58.1%、中学生61.5%、高校生71.4%と上昇傾向が止まらない。平均読書冊数を見ても、最盛期には月10冊前後読んでいたが、今や小学生で月3.4冊、中学生3.0冊、高校生1.5冊にすぎない。したがって「雑誌離れ」をもって「若者は本離れしている」と言うのであれば間違いではない。ただしそれを言い出す前に、日本の読書推進施策は歴史的に見て圧倒的に書籍中心に行われてきたのであり、雑誌の読書推進は近年になってようやく注目されるようになったにすぎないこと、言い換えれば教育業界や図書館業界、あるいは新聞メディアなどは「雑誌を読む」行為を「読書」とは実質的にみなしてこなかった、少なくとも書籍を読むことよりも低劣で取るに足らないものと位置づけてきた事実を確認しておかなければならない。

(C) 今年はほかに読書に関する調査として文科省の「21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」や東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの読書行動の実態—調査結果からわかること—」も発表された。どちらの調査でもマスコミやSNSでは相変わらず「小学生の時点と比べて年を取るほど読書量が減少」「高校生はふ

たりに1人が読書量が0冊」という点を指摘して「本離れが進んでいる」などと書いていた。だが、「小学生がもともと本を読み、それから年を取るほど本を読まなくなる」ことも「高校生の書籍の不読率は50%前後」ということも、何も目新しくない。学校読書調査や読書世論調査、文科省の「国語に関する世論調査」などでずっと確認されてきたことにすぎず、それをもって「子どもの本離れが進んでいる」とは到底言えない。

文科省の「21世紀出生児縦断調査」は平成13年出生児、つまり「子どもの読書活動の推進移管する法律」が公布され、読書推進政策が本格化した2001年に生まれた世代が大人になったときにどうなったのか、が重要だ。結果から言うと、大人になった時点での不読率は6割程度であり、乳幼児期から小中学生にかけていく手厚く読書推進をしても、高校生以上になると外部環境の影響は受けづらい（効果が薄れる）、という点を確認された。これまでも幼少期の読み聞かす頻度とその後の読書量に関する調査などが行われており、中学生までは相関が見られたが高校生になると関係なくなることがわかっていたが、同様の結果になった。つまり、よく「小さいころからの読書習慣が大人になってからの読書につながる」と言われるが、これは根拠薄弱な俗論にすぎないのである。大人に本を売りたいなら大人に本を売るための施策を第一に考えるべきであって、子どもの読書を推進しても長期的な効果は見込めない。高校生以上になると、読書量に関して教育政策などの外部環境の影響を受けづらくなる。

(D) 各メディアの利用時間を見ると、読書時間は小6の1日19分をピークに高3で12分まで下がる。同様に、おおむね年次が進むほどスマホ・携帯の利用時間が増えるが、こちらは小4で20分だったのが高2には140分まで増えている。これをもって「スマホの利用時間が増えたせいで読書時間が減っている」と言うのは、「スマホの利用時間が120分増えた結果、読書時間は7分減った」とするのに等しい。まったく影響がないとまでは言えないが、多くの人が想像しているほどにはたいして影響を与えていないと考えた方が正確だろう。読書する層にとっては、ほかのメディア時間が増えようとも読書時間は手堅く存在し続けている。経年で見ても、2015年には小4～高3までのスマホ・携帯の利用時間は50分だったのが2022年には83分に33分増加し、テレビゲーム・携帯ゲームは39分から48分に9分増加した一方で、本は18分から15分に3分減少、マンガ・雑誌は14分から11分に3分減少した。これもやはり多少の影響はあるかもしれないが、スマホやゲームの伸びた時間と読書の減った時間の釣り合いがまっ

— 3 —

— 4 —

たく取れていない。

(E) ベネッセ教育総合研究所調査は、さらに別方向からも「読書推進政策は中学生までと高校生以上は分けて考えるべき」ということを考えさせてくれる。同調査によると、中学生までは学力上位層ほど読書時間が長いが、高校生になると本を読もうが読むまいが成績の差がなくなるという。高校生以上になると本をたくさん読むことと学力に相関がない。つまり高校生以上に読書を推進する理由として学力向上効果を持ち出しても、理屈としては弱い。ほかにもおもしろい結果がいくつもある。

・希望進路として「大学・大学院まで」を挙げるかどうかと読書時間の長さの関係についても、中学生までは読書時間が長い方がその割合が多いが、高校生になると関係がない。

・図や表(グラフ)を見て理解すること、論理的に(筋道を立てて)考えること、長い文章を読んで理解すること、自分の考えを文章にまとめることに関して得意か不得意かを聞いた設問では、中学生までは不読層よりも読書量が中間の層が得意と答える割合が多く、中間層より多読層が得意と答える割合が多い。ところが高校生になると得意と認識している割合は中間層がもっとも多く、多読層はそれに劣るのである。

いずれにしてもやはり俗説では「本を読むと頭が良くなる(成績が良くなる)」などと語られるが、それは言えたとしても中学生までの話であり、高校生以上は本をたくさん読むかどうかと進学意欲や学力に関係を見いだすことは難しいと言えそうだ。

これらの結果から、以下の点が改めて問われるべきだろう。

・スマホですら1日に数分しか読書時間を減らせなかったのに、いったいどんな読書推進策・政策をしたら高校生以上の読書量を増やせるというのか?

・本をたくさん読むことと成績に相関がないのであれば、高校生以上の読書推進策は、いったい何を目的にして行うべきなのか?

・やって意味のある施策とは何なのか?

現実的には、コストと現場の労力をかけて今以上に「量」を追う読書推進をしても、高校生以上に対しては見合うリターンは得られないと思われる。冊数や時間といった「量」よりも、大学生や社会人になったときを見越して「図書館を使うとこんなことができる」「図書館ではこんなことをやっている」「世の中にはこういう出版物もある」「論文を書くときや、仕事をするときにはこんなことが求められ、書店や図書館はこの

ように活用する」といった「質」にフォーカスした施策に力を入れた方がいい。

ここまでで紹介してきた各種調査からは、以下のことがわかった。

・書籍と雑誌、子どもの読書量と出版市場全体の縮小(「読む」と「買う」)はそれぞれ別の話。切り分けずに「子ども・若者の本離れ」と言うのは雑すぎる議論であり、ほとんど誤りである。

・中学生までは読書推進に力を入れると読書量が増え、不読率が減る。この20余年やってきた結果、小中学生の読書量は増え、GIGAスクール構想^{*1}ともあいまってPISA^{*2}の成績は2022年にはV字回復した。

・高校生以上は、書籍の読書量に対して外部環境から受ける影響が急減する。スマホ利用時間の爆増具合と比べ、読書時間は微減にとどまる。逆に言うといくら読書推進してもなかなか量の改善をするのは難しい。そのうえ、高校生になると読書量と学力に相関は見られない。

*1 GIGAスクール構想:児童生徒に1人1台の端末を配備し、高速通信ネットワークを整備することで、ICTを活用した教育を実現するための日本の教育政策。

*2 PISA:OECD(経済協力開発機構)が行う世界的な学力調査。Programme for International Student Assessmentの略称で、日本語の正式名は「OECD生徒の学習到達度調査」。調査の目的は、義務教育を終える15歳までに学んだ知識や技能を、実生活でどの程度活用できるかを測ること。調査の結果を国別に比較することで、各国が自分の国の強みや弱みを確認する。

出典:「子ども・若者の本離れ」は本当か…今年発表された「子どもの読書調査」からわかる「意外な実態」、飯田 一史、現代ビジネス、講談社より(<https://gendai.media/articles/-/121442>)を一部改変

問1 (A)の文から、最も月間読書冊数が多いのはどの年代か。また最も不読率が高いのはどの年代か答えなさい。

問2 (B)の文から、従来、雑誌を読むことが読書に含まれていなかった理由は何か。文中の言葉を引用しながら答えなさい。

問3 (C)の文から、「21世紀出生児縦断調査」において、読書推進政策が本格化した年に生まれた世代が大人になったときにどうであったか答えなさい。

問4 (D)の文から、スマホ利用時間の増加が読書時間の軽減に影響を与えていたか答えなさい。

問5 (E)の文から、高校生の読書離れの対策について考えを350字以上400字以内で記載しなさい。

○白内障に関する下記の文章を読み、問1～9に答えなさい。

白内障は眼球組織の水晶体の一部または全体がさまざまな原因によって白く濁る疾患の総称をいいます。白内障は世界における失明原因の第1位であり、全失明者の35.0%を占めます。世界の失明者数が約3,600万人と推定されていることから、約(ア)万人が白内障によって失明している計算になります。一方、2019年度にわが国で新たに視覚障害者と認定された者の原因疾患の内訳は、第1位が緑内障(40.7%)、第2位が網膜色素変性(13.0%)、第3位が糖尿病網膜症(10.2%)であり、白内障による失明は1.8%と少なく、主要な原因とはなっていません。白内障による失明の割合は国によって大きく異なり、特にイ)開発途上国ではその割合が高い傾向にあります。

われわれが眼で見ている像は、眼球組織の角膜や水晶体を通った光が網膜上に結像したものです。眼球全体の屈折力(光を曲げる力)は約60ディオプリーであり、数値が大きほど屈折力が強いことを示します。この「60ディオプリー」という数値は、角膜と水晶体の屈折作用によって構成されており、外界からの光を網膜上に正確に焦点を結ばせるために必要な眼全体の屈折力を示しています。角膜は、目の表面を覆う透明な膜で、外界からの光を最初に受け取る役割を担っています。角膜自体がレンズ作用を持ち、光を大きく屈折させて眼内に導く働きをしています。角膜の屈折力は眼球全体の2/3を占めており、視覚において非常に重要な役割を果たしています。さらに、涙とともに異物や細菌の侵入を防ぐバリア機能も果たしています。水晶体は、瞳孔のすぐ後ろに位置する透明な凸レンズ形状の組織で、角膜を通過した光をさらに屈折させて網膜に像を結ぶ役割を果たしています。水晶体の屈折力は眼球全体の1/3を占めており、角膜とともに視覚において重要な役割を担っています。また、水晶体は厚みを変えることでピントを合わせる機能(調節)を持ち、これにより遠くも近くもはっきりと見ることができます。

白内障の主要原因は老化に伴う水晶体内のタンパク質変性によるもので、早い人では40代から発症し、80代ではほぼすべての人に白内障が見られます。その他の原因としては、先天性、外傷、アトピー性皮膚炎、薬剤や放射線の影響、他の目の病気に伴う炎症などがあります。水晶体が濁り始めると光が眼内で散乱するため、視界がかすんだり

(霧視)、物が二重に見えたり(複視)、まぶしさを感じる(羞明)といった症状が現れます。進行すると徐々に視力が低下し、眼鏡やコンタクトレンズでも矯正できなくなります。進行の程度によっては、前述のとおり、何もしないと最終的に失明に至る可能性もあります。



図1 眼球断面図

(吉村長久 他. 図解 眼科. 金芳堂. 2008, 2pより改変)

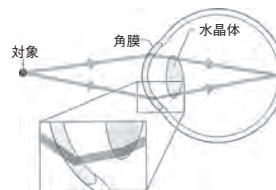


図2 眼球における光の屈折

(医療情報科学研究所, 病気がみえる vol.12 眼科 第1版. メディックメディア. 2019, 14pより改変)

白内障の治療

ごく初期の白内障は点眼薬で進行を遅らせることができる場合もありますが、濁った水晶体をもとに戻すことはできません。進行した白内障に対しては、濁った水晶体を特殊な機器を用いて取り除き、代わりに人工レンズ(眼内レンズ)を挿入する方法(白内障手術)が一般的に行われます。

図3に2017年度から2022年度における年間白内障手術件数の推移、図4に2022年度における年代別の白内障手術件数を示します。

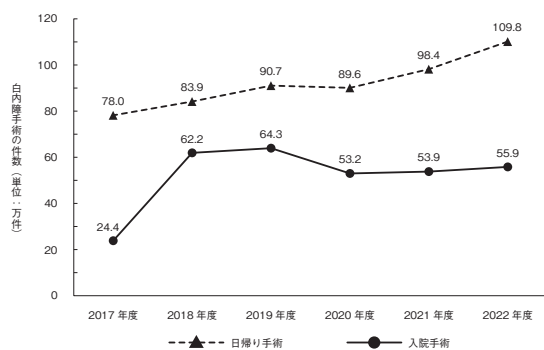


図3 年間白内障手術件数の推移

(厚生労働省: 第4～9回NDBオープンデータより作成)

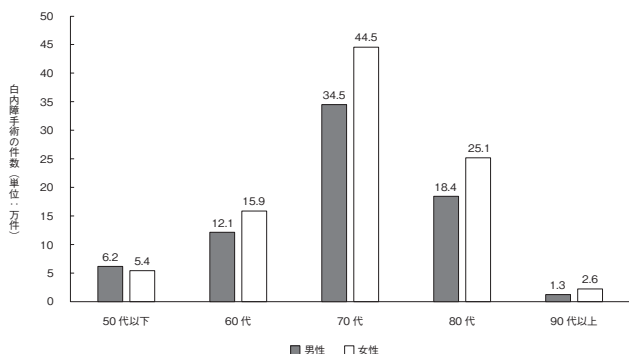


図4 2022年度における年代別の白内障手術件数

(厚生労働省: 第9回NDBオープンデータより作成)

問7 下線部イについて、開発途上国において白内障による失明者が多い理由として考えられることを述べなさい。

問8 図3の2020年度の年間白内障手術件数について、前年度と比較すると日帰り手術件数は概ね横ばい、入院手術件数は減少しています。このような傾向が見られた理由を、社会的な背景をふまえて推察し、述べなさい。

問9 以下のA、Bについて答えなさい。

- A. 2022年度における60代以上の白内障手術件数について、性比（男性を1としたときの女性の比）を求めなさい。計算過程も記載し、小数点以下第三位を四捨五入し解答すること。
- B. 2022年10月時点におけるわが国の60歳以上の人口の性比は、女性100人に対して男性が80人でした。この点と、問9-Aで求めた白内障手術件数の性比の両方を踏まえ、図4に示された60代以上の白内障手術件数における性差について考察しなさい。

理学療法学専攻

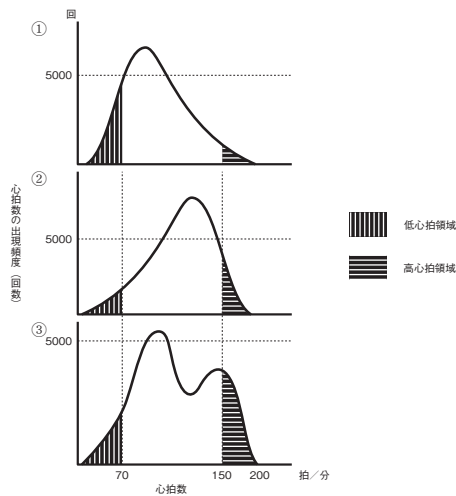
問題1. 体重50kgの人が、1段20cmの階段を10段上がったときに重力に逆らって行った仕事（位置エネルギーの増加）の大きさ（J）を算出し、最も近い値を1つ選べ。
ただし、重力加速度は 9.8m/s^2 とする。
ア. 180 J イ. 490 J ウ. 850 J エ. 980 J オ. 1200 J

問題2. 以下の文は骨格筋における筋収縮の機序を説明したものである。
骨格筋では、運動神経の刺激によって筋小胞体から（A）が放出される。この物質がアクチンフィラメントに作用してトロポニンと結合するとミオシン頭部とアクチンの結合が可能になる。続いて（B）のエネルギーを使ってミオシン頭部が動き、アクチンフィラメントが滑り込むことで筋収縮が起こる。この滑走説において、収縮終了後は（C）によって（A）が再び筋小胞体に取り込まれる。

問1. 空欄A～Cに入る語を、以下の選択肢からそれぞれ1つずつ選べ。
ア. カルシウムイオン イ. 乳酸 ウ. ATP
エ. グルコース オ. 能動輸送 カ. 拡散

問2. ある筋収縮で、筋小胞体から 10^{12} 個の（A）が放出され、それらすべてが（A）ポンプによって再び筋小胞体に取り込まれたとする。
このとき消費される（B）のモル数として最も近いものを1つ選べ。
〔（A）2個の再取り込みに（B）を1分子使用、1molあたりの分子の数は 6.0×10^{23} 個とする（アボガドロ数）〕
ア. 1.7×10^{-11} mol イ. 6.0×10^{-12} mol
ウ. 8.3×10^{-13} mol エ. 1.7×10^{-12} mol

問題3. 次の図に示す3つのグラフ（①、②、③）は、高校3年生3名（Aさん、Bさん、Cさん）それぞれの平日午前10時から午後4時までの心拍数の連続測定データをもとに作成した心拍数の頻度分布の概念図である。横軸は心拍数（拍/分）、縦軸は心拍数の出現頻度（その心拍数が何回あらわれたか）（回数）である。以下の問いに答えよ。



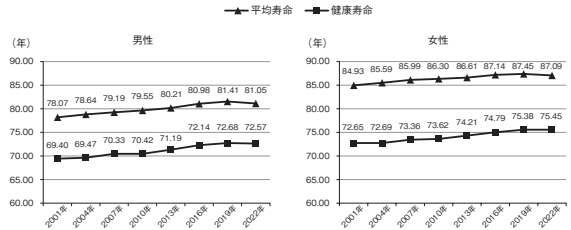
3名の心拍測定日の行動の特徴は以下の通りである。
Aさん：読書や勉強をして座っている時間が多く、比較的安静な日常を過ごしている。
Bさん：午後2時から午後4時までサッカーをしているが、それ以外の時間は座って安静に過ごしている。
Cさん：特別な運動はしていないが、早歩きやジョギングと同強度の活動をしている時間が多く、比較的活発に過ごしている。

問1. Aさん、Bさん、Cさんの心拍数の頻度分布図はそれぞれ①、②、③のどれに該当するか選び、各人物に対応する最も適切なグラフ番号(①、②、③)を選べ。

問2. グラフ③の頻度分布図では、二峰性(2つの山を持つ)を示している。このような分布が生じた理由を、「低心拍領域」「高心拍領域」「激しい運動」「安静」という語句を用いて120字以内で説明せよ。なお、低心拍領域は70拍/分未満、高心拍領域は150拍/分以上とする。

問題4. 次の図は日本の健康寿命^{※1}と平均寿命の推移を2001年から2022年まで男女別に示したものである。以下の問いに答えよ。なお、健康寿命と平均寿命は、異なる指標に基づく集団平均値(年)であり、個人単位の結果を示すものではない。

※1 健康寿命：日常生活に制限がない期間の平均を指す。



図は厚生労働省(2024年12月24日)、健康寿命の令和4年値について、第4回健康日本21(第三次)推進専門委員会資料1-1.より作成 <https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/001363069.pdf>

問1. 図に示された2001年と2022年を比較し、平均寿命と健康寿命の差がより短縮したのは男女のどちらか。図の数値を根拠に120字以内で説明せよ。なお、数字や小数点は1マスに1つずつ記載すること。

問2. 図に示された2022年の結果を用いて、不健康な期間^{※2}が平均寿命のうちどの程度の割合に相当するか男女別にそれぞれ算出し、最も近い値を以下の選択肢から1つ選べ。

※2 不健康な期間：平均寿命と健康寿命の差を指す。

- ア. 男性：約6% 女性：約9%
- イ. 男性：約8% 女性：約11%
- ウ. 男性：約10% 女性：約13%
- エ. 男性：約12% 女性：約15%
- オ. 男性：約14% 女性：約17%

臨床検査学専攻

I. 生物の体内環境の維持に関する次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

動物は、体内の状態や機能を一定に保つくみをもっていて、これを恒常性という。ヒトの体内環境の恒常性は、自律神経やホルモンによって調節されている。

恒温動物では、皮膚や血液の温度が低下すると、これを(ア)の体温調節中枢が感知する。その結果(イ)によって皮膚の(ウ)や立毛筋などが刺激されて収縮し、熱の放散が抑制される。また、(エ)が収縮と弛緩をくり返す震えが起り、熱が発生する。一方、熱の発生はいくつかのホルモンの分泌によっても促進される。

問1 下線部の語句に関する記述として誤っているものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 自律神経系の主な中枢は間脳にある。
- ② 交感神経と副交感神経は同じ器官に分布していることが多く、互いに拮抗的にはたらく。
- ③ 交感神経は全て脊髄から出て、各器官に分布している。
- ④ 副交感神経は全て延髄や中脳などの脳から出て、各器官に分布している。
- ⑤ 交感神経の活動は、緊張時や運動時に高まっている。

問2 下線部の語句に関して、交感神経と副交感神経のはたらきの組み合わせとして最も適当なものを次の①～⑥のうちから一つ選べ。

	交感神経	副交感神経
①	すい臓からのインスリン分泌の促進	瞳孔の縮小
②	瞳孔の拡大	気管支の拡張
③	立毛筋の収縮	皮膚の血管の収縮
④	気管支の拡張	排尿の促進
⑤	毛細血管の拡張	すい臓からのグルカゴン分泌の促進
⑥	胃のぜん動運動の促進	立毛筋の弛緩

問3 文中のア～エに入る語句の組み合わせとして、最も適当なものを次の①～⑥のうちから一つ選べ。

	ア	イ	ウ	エ
①	中脳	交感神経	毛細血管	平滑筋
②	中脳	副交感神経	皮脂腺	骨格筋
③	大脳	交感神経	汗腺	心筋
④	大脳	副交感神経	皮脂腺	平滑筋
⑤	間脳	交感神経	毛細血管	骨格筋
⑥	間脳	副交感神経	汗腺	心筋

II. 遺伝子とそのはたらきに関する次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

問1 ヒトのゲノムは約31億塩基対で成り立っている。ヒトの染色体1本あたりの平均の塩基対の数はいくらか。

問2 ヒトのゲノムは約31億塩基対の中に22,000個のタンパク質を指定する遺伝子が存在し、各遺伝子は平均して2,000個の塩基対から成り立っていることが知られている。ヒトゲノム中で、タンパク質を指定する遺伝子としてはたらく領域は、全DNAの何%になるか。四捨五入し、小数第2位まで求めよ。

Ⅲ. 酸と塩基の反応および中和反応について、以下の問いに答えよ。

問1 次の反応ア～オのうち、水が塩基としてはたらいっている反応はどれか。正しい組み合わせを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ア) $\text{HCl} + \text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{H}_3\text{O}^+ + \text{Cl}^-$
- イ) $\text{HNO}_3 + \text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{H}_3\text{O}^+ + \text{NO}_3^-$
- ウ) $\text{CH}_3\text{COO}^- + \text{H}_2\text{O} \rightleftharpoons \text{CH}_3\text{COOH} + \text{OH}^-$
- エ) $\text{CH}_3\text{COOH} + \text{H}_2\text{O} \rightleftharpoons \text{H}_3\text{O}^+ + \text{CH}_3\text{COO}^-$
- オ) $\text{CO}_3^{2-} + \text{H}_2\text{O} \rightleftharpoons \text{HCO}_3^- + \text{OH}^-$

- ① ア、イ ② ウ、オ ③ エ、オ
- ④ ア、イ、エ ⑤ ウ、エ、オ

問2 2価の酸 0.300g を含んだ水溶液を完全に中和するのに、0.100mol/Lの水酸化ナトリウム水溶液 50.0mL を要した。この酸の分子量を求めよ。

Ⅳ. 溶液の濃度および酸化還元反応について、以下の問いに答えよ。

問1 水酸化ナトリウム 4.0g を水に溶解して 1.5L の水溶液をつくった。この溶液の濃度は何 mol/L になるか。有効数字 1 桁で答えよ。ただし、原子量は $\text{H} = 1.0$ 、 $\text{O} = 16.0$ 、 $\text{Na} = 23.0$ とする。

問2 酸化還元反応について、次のア～オのうち、誤っているものの組み合わせを次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ア) 単体中の原子の酸化数は 1 である。
- イ) 化合物中の酸素原子の酸化数は +1、水素原子の酸化数は -2 である。
- ウ) 化合物を構成する原子の酸化数の合計は 0 (ゼロ) である。
- エ) 単原子イオンの酸化数は、イオンの価数に + (陽イオンのとき)、- (陰イオンのとき) をつけた値である。
- オ) 多原子イオン中の原子の酸化数の総和は、そのイオンの電荷に等しい。

- ① ア、イ ② ウ、エ ③ エ、オ
- ④ ア、オ ⑤ イ、エ ⑥ イ、オ

V. 次の文章と図表は、日本の人口問題や人口推移、そして国民医療費および高齢化率などについて示したものである。以下の問いに答えよ。

問1 人口ピラミッドの種類(図1)および日本の各年代人口および2030年までの人口推移予想(図2)をもとに2030年に予想される人口ピラミッドはどれか。次の①～⑤のうちから一つ選べ。また、それを選んだ理由について、100文字程度で述べよ。

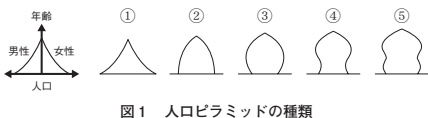


図1 人口ピラミッドの種類

注釈：人口ピラミッドとは、男女別に年齢ごとの人口を表したグラフである。中央の縦軸は底辺を0歳にして頂点を最高年齢者として年齢を示し、横軸の左側は男性、右側は女性の人口数を示している。

出典：損害保険料率算出機構 日本の将来の人口構成 図1.1. 人口ピラミッドの型と特徴より改変

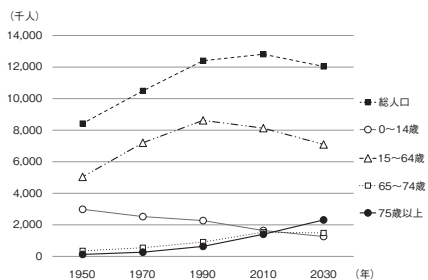


図2 日本の人口推移

出典：総務省統計局「国勢調査(2020年)」をもとに改変

問2 表1は年齢階級別国民医療費を示す。65歳未満と65歳以上の2022年と2022年の推計額の増加率を比較した場合、65歳以上は65歳未満の何倍になるか。四捨五入し、小数第2位まで求めよ。

表1 年齢階級別国民医療費

年齢階級	2002年		2012年		2022年	
	推計額(兆円)	構成割合(%)	推計額(兆円)	構成割合(%)	推計額(兆円)	構成割合(%)
総数	30.9	100	39.2	100	46.6	100
65歳未満	15.6	50.7	17.1	43.7	18.5	39.8
0~14歳	2.0	6.6	2.4	6.3	2.6	5.6
15~44歳	5.0	16.3	5.2	13.3	5.7	12.3
45~64歳	8.6	27.8	9.4	24.1	10.2	21.9
65歳以上	15.2	49.3	22	56.3	28.1	60.2

出典：厚生労働省「国民医療費の概況」をもとに改変

問3 図3は高齢化率(総人口に占める65歳以上人口の割合を示す指標)と65歳以上を15~64歳で支える割合を示す。問2で示した表1年齢階級別国民医療費も参考にし、日本の今後の医療における問題について、300文字程度で述べよ。

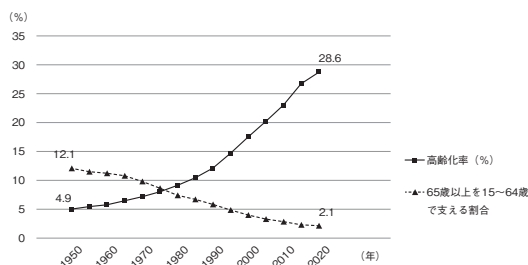


図3 高齢化率と65歳以上を15~64歳で支える割合の推移

出典：内閣府「高齢化の状況(2024年版)」をもとに改変

問題1 表1は昭和25(1950)年と令和5(2023)年の日本の総人口および各年齢層の人口である。この表をもとに各問いに答えよ。

表1 日本の高齢化の現状(単位は万人)

	昭和25年 (1950年)	令和5年 (2023年)
総人口	8,320	12,435
15歳未満人口	2,943	1,417
15～64歳人口	4,966	7,395
65～74歳人口	305	1,615
75歳以上人口	106	2,008

出典：総務省統計局(1950)「人口推計の結果」IV長期系列データ 人口推計資料No.76
我が国の推計人口/総務省(2023)「人口推計」令和6年版高齢社会白書表1-1-1より作表

問1 1950年と2023年における65歳以上人口をそれぞれ答えよ。

問2 1950年と2023年における高齢化率[%]をそれぞれ求めよ。高齢化率は65歳以上人口が総人口に占める割合である。なお、解答は小数点第二位を四捨五入して小数点第一位まで答えよ。

- 1 -

問題2 次の文章をよみ、各問いに答えよ。

図1は日本と欧米諸国の高齢化率を年次推移で表したものである。図1中のア～カは日本、ドイツ、イギリス、アメリカ、スウェーデン、フランスのいずれかを示す。日本の高齢化率は平成2(1990)年まで下位であったが、平成17(2005)年には最も高い水準となり、2020年以降も高水準が続くことが推計値によって示されている。

高齢化速度を「高齢化率が7%を超えてからその倍の14%に達するまでの所要年数(倍加年数)」によって比較すると、日本は昭和45(1970)年に7%を超え、平成6(1994)年には14%に達した。表2は日本と欧米諸国の高齢化率が7%と14%を超えた年をまとめたものである。

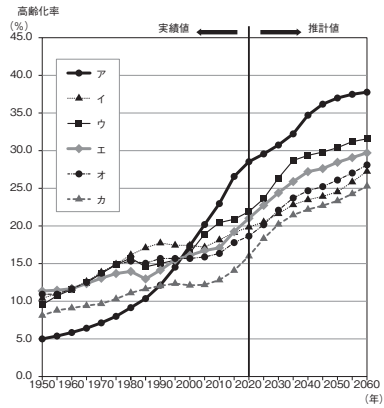


図1 日本と欧米諸国における高齢化率の推移

出典：内閣府(2024)令和6年版高齢社会白書、令和5年度高齢化の状況及び高齢社会対策の実施状況を変更

- 2 -

表2 日本と欧米諸国における高齢化率が7%を超えた年と14%を超えた年

国名	高齢化率7%を超えた年	高齢化率14%を超えた年
日本	1970年	1994年
ドイツ	1932年	1972年
イギリス	1929年	1975年
アメリカ	1942年	2014年
スウェーデン	1887年	1972年
フランス	1864年	1979年

出典：内閣府(2024)令和6年版高齢社会白書、令和5年度高齢化の状況及び高齢社会対策の実施状況より作表

問1 表2に示した国の中で高齢化率の倍加年数が最も長い国(A)と最も短い国(B)を答えよ。また、Aの倍加年数はBの倍加年数の何倍か答えよ。なお、解答は小数点第二位を四捨五入して小数点第一位まで答えよ。

問2 2020年までおよびそれ以降における我が国の高齢化率と高齢化の速度の特徴について120～150文字で答えよ。

- 3 -

問題3 次の文章をよみ、各問いに答えよ。

近年、生活環境や仕事環境の機械化・自動化に伴い、身体活動不足に加えて長時間の座位行動が多くの人々の日常生活全般に蔓延している。座位行動とは座った状態のみならず、横になって休んだりテレビを観たりする状態のことである。図2は世界20か国における平日の座位時間を表している。日本人成人の座位時間は平日の一日で7時間(420分)と寝ていない時間の大半を費やしており、図2に示された世界20か国の中で最も長いことがわかる。

厚生労働省が策定した「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」によると、「身体活動」とは安静にしている状態よりも多くのエネルギーを消費する、骨格筋の収縮を伴う全ての活動を指し、「運動」とは身体活動のうち、スポーツやフィットネスなどの健康・体力の維持・増進を目的として計画的・定期的な実施されるものを指す。身体活動・運動の量が多い者は少ない者と比較して、循環器病、2型糖尿病、がん、ロコモティブシンドローム、うつ病、認知症等の発症・罹患リスクが低いことが報告されている。

令和2(2020)年に世界保健機関(WHO)が公表した身体活動・座位行動のガイドラインでは、身体活動を実施することによって、循環器病、2型糖尿病、がんが予防され、うつや不安の症状が軽減されるとともに、思考力、学習力、総合的な幸福感が高められるとされている。また、身体活動により、妊婦及び産後の女性、慢性疾患や障害のある人を含む全ての人が健康増進効果を得られるとされており、身体活動・運動は全ての国民が取り組むべき重要課題であるとされている。

出典：厚生労働省(2024)健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023/厚生労働省eヘルスネット(2023)「座位行動の定義とその実態」/厚生労働省：<https://www.mhlw.go.jp/content/000656521.pdf> [2025/6/13閲覧] を変更

- 4 -

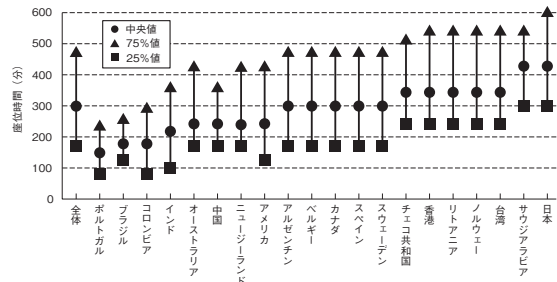


図2 各国の平日の座位時間

●印は集団のちょうど真ん中の人の座位時間（中央値）を表している。■印は下から25%にあたる人の座位時間（25%値）、▲印は下から75%にあたる人の座位時間（75%値）を示している。

問1 身体活動と健康に関する記述として誤っているものを、次の選択肢から一つ選べ。

- ① 身体活動には運動が含まれている。
- ② 身体活動を実施することで総合的な幸福が高められる。
- ③ 身体活動・運動の量が多い者は少ない者と比べて、認知症発症リスクが低い。
- ④ 身体活動・運動は全ての国民が取り組むべき重要な課題とされている。
- ⑤ 身体活動は健康や体力維持を目的に計画的・定期的に行われるものを示す。

問2 日本人の座位時間が長い理由を考察し、120～150文字で答えよ。

問3 座位時間を短縮するための対策および、健康面で期待できる効果について250～300文字で答えよ。

救急救命学専攻

問題 I

救急救命士の活躍の場について300字以内で説明しなさい。

問題 II

図1は令和5年における傷病程度別による救急搬送の平均所要時間を示したものである。

図1を参照し、次の問いに答えなさい。

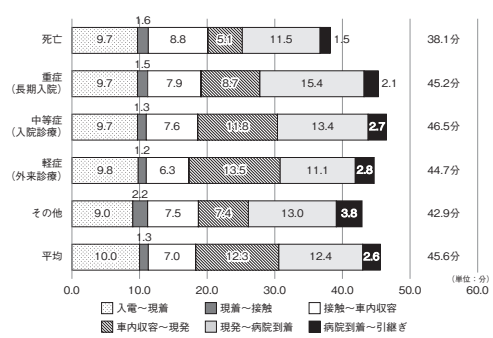


図1：傷病程度別による救急搬送人員の平均所要時間（令和5年）

総務省消防庁報道資料「令和6年版 救急・救助の現況の公表」より引用

(注) 各平均所要時間の合計と、入電から引継ぎまでの平均所要時間は一致しない場合がある。

(注) 「現着」とは救急現場到着を、「現発」とは救急現場出発を指す。

問 1

全ての傷病程度（死亡、重症、中等症、軽症、その他）の中で、「現着～病院到着」の時間が最も長いのはどの傷病程度か。正しいものを1～4のうちから1つ選びなさい。

- 1. 死亡
- 2. 重症（長期入院）
- 3. 中等症（入院診療）
- 4. 軽症（外来診療）

問 2

死亡と軽症を比較した際、総所要時間の差に最も影響を与えている区間はどれか。正しいものを1～4のうちから1つ選びなさい。

- 1. 入電～現着
- 2. 接触～車内収容
- 3. 車内収容～現発
- 4. 病院到着～引継ぎ

問題Ⅲ

救急医療に関する以下の設問に答えなさい。

問1

救急救命士の役割として最も適切なものはどれか。1～4のうちから1つ選びなさい。

1. 医師の代わりに診断を行う
2. 医師の指示のもとで救急処置を行う
3. 看護師の業務を代行する
4. 救急車の運転を主に行う

問2

あなたは学校帰りに路上で倒れている人を発見した。あなたがまず初めに行うことはどれか。1～4のうちから1つ選びなさい。

1. 胸骨圧迫を行う。
2. AEDを使用する。
3. 反応（意識）を確認する。
4. 人工呼吸を行う。

問3

心肺蘇生を行う際、胸骨圧迫のテンポとして適切なものはどれか。1～4のうちから1つ選びなさい。

1. 30～50回/分
2. 60～80回/分
3. 100～120回/分
4. 140～160回/分

— 3 —

健康栄養学科

次の設問Ⅰ～Ⅴの間に答えよ。

Ⅰ. 次の設問は物質と成分に関するものである。各問に答えよ。

(1) 次の a～d の現象に最も関係が深い用語を、下の①～⑦から1つずつ選べ。

- a 気温が下がり、池の表面に氷が張った。
- b 料理中、鍋を強火にかけ、中身をふきこぼしてしまった。
- c たんすに入れておいた防虫剤がなくなった。
- d 暖かい日に洗濯物がよく乾いた。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| ① 融解 | ② 凝固 | ③ 蒸発 | ④ 凝縮 |
| ⑤ 沸騰 | ⑥ 昇華 | ⑦ 凝華 | |

(2) 次の a～d の混合物の分離について、最も適した方法を下の①～⑤から1つずつ選べ。

- a 茶葉から香りや色の成分などを水に溶かし出す。
- b 砂粒の混じった海水から砂粒を取り除く。
- c 砂糖水から水を取り出す。
- d 塩化ナトリウムが混じったヨウ素から純粋なヨウ素を取り出す。

- | | | | | |
|------|-------|------|------|------|
| ① 蒸留 | ② 昇華法 | ③ 抽出 | ④ 蒸発 | ⑤ ろ過 |
|------|-------|------|------|------|

Ⅱ. 次の a～g の物質の化学式を書き、結晶の種類を下の (ア)～(エ) から選べ。

- a 二酸化炭素
- b 酸化カルシウム
- c アルミニウム
- d 二酸化ケイ素
- e 塩化ナトリウム
- f ヨウ素
- g 鉄

- | | |
|-------------|----------|
| (ア) イオン結晶 | (イ) 分子結晶 |
| (ウ) 共有結合の結晶 | (エ) 金属結晶 |

Ⅲ. ベーキングパウダーとしてお菓子作りに利用されることが多い炭酸水素ナトリウム NaHCO_3 は、加熱することで炭酸ナトリウムと水、二酸化炭素を生成する。

- (1) この炭酸水素ナトリウムを加熱したときの反応を化学反応式で表せ。
- (2) 炭酸水素ナトリウム 1.68g を加熱した時、全ての炭酸水素ナトリウムがなくなるまでに発生した二酸化炭素の標準状態で体積 [mL] を求めよ。
なお、生じた二酸化炭素は、水に溶けておらず、すべて気体とする。
- (3) この化学反応で発生する二酸化炭素は、固体の際に一般的に呼ばれている名称がある。その呼び名を記載せよ（名称が複数ある場合はその中の1つを記載すればよい）。

なお、この設問では、

原子量 H 1.0 C 12 O 16 Na 23

標準状態 (0℃, $1.013 \times 10^5 \text{ Pa}$) における気体 1 mol の体積 22.4L とする。

IV. 次の a ~ d の塩を水に溶かしたとき、その水溶液は酸性、中性、塩基性のいずれを示すか答えよ。

- a NaHCO₃
- b NaCl
- c CH₃COONa
- d CuSO₄

V. 次の文章と図表を読み、各問に答えよ。

日本では、国民の健康づくりのために、「健康日本21（第三次）」と称して全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向けた健康づくりに関する基本的な方針が定められている¹⁾。

その方針の1つとして「社会環境の質の向上」が掲げられており、健康な食環境や身体活動・運動を促す環境をはじめとする自然に健康になれる環境づくりの取組が進められている。

また、その中で栄養・食生活分野の目標の1つとして「地域等（地域や職場等を含む所属コミュニティの場）で共食している者の増加」が設定されている¹⁾。実際、食事は、家庭、学校、職場、グループ活動等の場で、家族、友人、同僚、地域の人々等との食卓での営みがあることから、家庭と地域の双方向で考える必要がある。しかし、近年、独居やひとり親世帯が増えるなど、様々な家庭環境や生活の多様化により、家族との共食が困難な状況も見受けられることから、社会とのつながりも考慮した環境づくりが必要とされている²⁾。

地域社会のつながりや共食の現状としては、令和5年国民健康・栄養調査結果³⁾によると、居住する地域の人々が「お互いに助け合っている」と思う者の割合は平成23年、平成27年、令和元年、令和5年の推移でみると、減少している（図1）。また、「地域（の人）」との共食頻度が「ほとんどない」と回答した者の割合は81.0%、「友人・知人」との共食頻度が「ほとんどない」者の割合は34.8%であり、そのうち70歳以上では最も高い割合（44.3%）と報告されている（図2）。

一方、共食と食生活に着目してみると、ひとり住まいの日本人の高齢者（65歳以上）を対象として、「だれかと一緒に食事をとる頻度」とおもな食品群の摂取頻度との関連を調べた研究が既に報告されており^{4,5)}、その結果は図3-1、3-2のとおりである。

なお、共食は「だれかと一緒に食事をとること」と定義する。

引用)

- 1) 厚生労働省. 国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針. 2023
- 2) 厚生労働省. 健康日本21（第三次）の推進のための説明資料. 2023
- 3) 厚生労働省. 令和5年国民健康・栄養調査の結果の概要. 2024
- 4) 佐々木敏「行動栄養学とはなにか?」女子栄養大学出版部. 2023, p. 353.
- 5) Ishikawa M et al. "Eating together" is associated with food behaviors and demographic factors of older Japanese people who live alone. The Journal of nutrition, health and aging. 2017, 21(6), p.662-72.

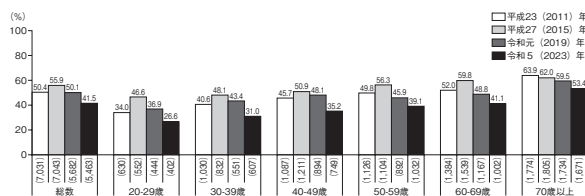


図1 居住する地域の人々が「お互いに助け合っている」と思う者の割合

(20歳以上、男女計・年齢階級別) (平成23(2011)年、27(2015)年、令和元(2019)年、5(2023)年)

横軸の総数、各年齢階級の上に書かれている数値はその年代の人数を表す。

資料：引用3より一部抜粋し作成

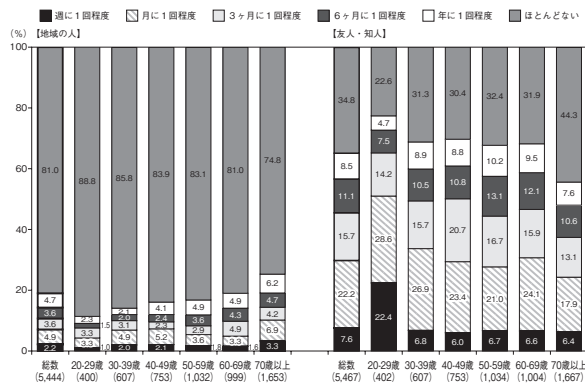


図2 地域における共食の頻度 (20歳以上、男女計・年齢階級別)

問：ここ1年間の様子についておたずねします。あなたは、お住まいの地域（職場・学校を除く）において、誰かと一緒に食事をすることはどのくらいありますか。

横軸の総数、各年齢階級記載の下に書かれている数値は人数を表す。

資料：引用3より一部抜粋し作成

図3-1 魚類、肉類、卵類、豆類、乳類の1日あたりの平均摂取頻度

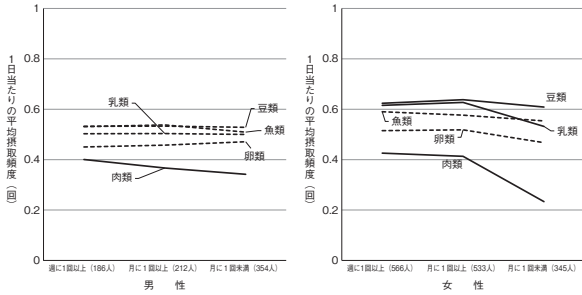


図3-2 緑黄色野菜、果物、油脂類の1日あたりの平均摂取頻度

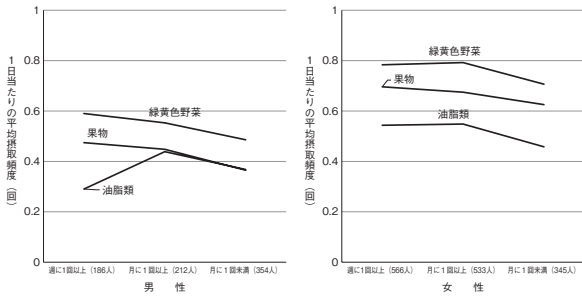


図3-1、図3-2 「だれかと一緒に食事をとる頻度」とおもな食品群の摂取頻度との関連

独居の65歳以上の日本人高齢者(男性752人、女性1444人)を対象として、「だれかと一緒に食事をとる頻度」とおもな食品群の摂取頻度との関連を調べた研究である。実線は食品群ごとの平均摂取頻度に統計学的な差があった食品群、点線は差がなかった食品群である。
資料：引用4、5より一部抜粋し作成

- 7 -

(1) 図1は、居住する地域の人が「お互いに助け合っている」と思う者の割合の年次推移の結果である。70歳以上の者について、平成23年から令和5年の間に、この割合は何ポイント減少しているか。

(2) 図1に示された70歳以上の者について、平成23年から令和5年の間の、減少率は何%か。(小数第2位以下は四捨五入して示せ)

(3) 図2は、居住する地域(職場や学校を除く)において、誰かと一緒に食事をする頻度を「地域の人」と「友人・知人」に分けて質問した結果である。20-29歳と、70歳以上の回答の割合を比較して、年代の特性の違いを100文字程度で説明せよ。

(4) 図3-1、3-2は、ひとり住まいの日本人の高齢者(65歳以上)を対象として、「だれかと一緒に食事をとる頻度」と「おもな食品群の摂取頻度」との関連を調べた研究結果である。この結果から、共食と食品群の摂取頻度との関連を、どのように解釈することができるか。100文字程度で説明せよ。

(5) 図1、2、3-1、3-2の結果を踏まえ、「地域等で共食している者を増やす」ための環境づくりとして、どのような取り組みができるか。その取り組みの理由と共に、実施主体、具体的な対象者と内容、共食の場について記載し提案せよ。またその取り組みを行う際の利点と欠点も明らかにして400文字以内で答えよ。

- 8 -

食創造科学科

I 以下の文章を読んで、問いに答えよ。

サリエーリは伝記作家モーゼルに家族と過ごす日々の様子を語っています。1788年1月、サリエーリが37歳の時のことです。

いつものように、妻は2人の娘とともに、私のベッドサイドの小さなテーブルについて働いていました。息子は私の書き物机で勉強に集中しています。年下の2人の娘は隣の部屋で編み物をしながら、さらに年下の3人の娘が人形で遊んでいるのを見ています。私自身もベッドで横たわり、本を読んだり、物思いにふけったりしながら、この素晴らしい光景を楽しみました。7時には妻と子どもたちは夕べの祈りを行ない、それから自分たちの元の仕事を続けました。その後、息子はクラヴィア^{*)}の前に座ると、娘のひとりがワルツを弾いてほしいとせがみ、娘たちは輪になって楽しそうに踊りました。9時になると、妻は女中と一緒にやってきて、私の病気の脚に毛皮を巻き、医者が指示した通りに塗り薬を塗ってくれました。それから、年かきの娘が私にスープを持ってきてくれました。そして、30分後には妻と息子と7人の娘がやってきて、子供たちは手にキスを、妻はおやすみのキスしてくれました。このような日々には、なんと心地よい夜を過ごせたことでしょうか！このような喜びが、愛すべき夫と父親の心をどれだけ元気づけてくれたことでしょうか！

サリエーリの家庭での幸せな様子が手に取るように伝わってきます。しかし、実はこの頃、サリエーリは多忙を極めていたうえに、膝にリウマチ性の痛みを抱えて3週間近く寝込んでいました。

サリエーリの家族との団らん描写の象徴ともいべきスープ。ここではドイツ語読みの「ズッペ」と記すことにしましょう。ズッペは煮込み料理という意味です。具体名がわからないので、ここではそれを逆手に取って、ウィーンで当時飲まれていたイタリア風ライスズッペ(チーズリゾット)を紹介しましょう。

「音楽の父」バッハが亡くなってから3週間後の1750年8月18日、アントニオ・サリエーリはヴェネチア共和国のレニャーゴに生まれました。レニャーゴはヴェネチアから南西におよそ84キロメートルにある街です。サリエーリの生まれ故郷であるヴェネチア共和国ではお米が食べられていました。イタリア北部を横断するポー川の

下流域で稲作が始まり、ルネサンス以降米粒のまま食べる習慣ができました。特にヴェネチアではリーズィ・エ・ピーズィという名の生ハムとグリーンピースのリゾットが有名です。

ここに出てくるお米の炊き方はイタリア風、つまりお米とブイオンが浸るくらいの水を鍋に入れて、弱火でグツグツと煮込む方法です。水分が飛んで、ちょっとお米の芯がある程度のタイミングでブイオンとお湯を加えてさらに煮込みます。そして、塩加減を調整して、削ったパルメザンチーズを加えます。ただ、米を水でグツグツ煮込んでいくと、リゾットよりもおじやのようにゆるっとした食感となりますので、パリッとした仕上がりになるように、最初にお米をオリーブオイルで炒めましょう。油でコーティングを施した後、水を加えて煮込んでいきます。また、リゾットと書きましたがレンビではズッペを加えるのとありますので、皿に盛り付ける時にブイオンを注いでいきましょう。

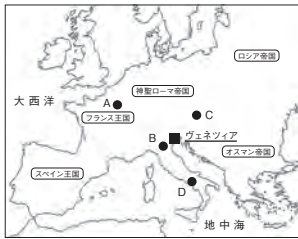
蛇足となりますが、日本で流通するいわゆる「パルメザンチーズ」の多くはアメリカ製か日本製であり、パルメザン風粉チーズとなります。お手軽に作りたいのであれば粉チーズでもかまいませんが、こだわる方はぜひ本場のパルミジャーノ・レッジャーノチーズを削ってみると、風味が出て味が引き立ちます。

「パパ元気になるって！」との思いから、父親の故郷の味を愛する娘が運んでくれるシーンを想像すると、心温まりますね。

* クラヴィア・・・ピアノのこと

出典：遠藤雅司『宮廷楽長サリエーリのお菓子な食卓』より、設問に合わせて一部改変

- 問1-1 娘のひとりが息子にリクエストしたのは何か。
- 問1-2 サリエーリの妻と女中が、医師の指示通りに塗り薬を塗ったサリエーリの病
気は何か。10字以内で答えよ。
- 問1-3 サリエーリの生まれた街はどこか。次の図中A～Dの記号で答えよ。



- 問1-4 生ハムとグリーンピースのリゾットをヴェネツィアでは何というか。
- 問1-5 最初にお米をオリーブオイルで炒める理由を、文中の語句を用いて20字以
内で説明せよ。
- 問1-6 風味を出して味を引き立てるために何をするか。30字以内で答えよ。

II 図を見て問いに答えよ。

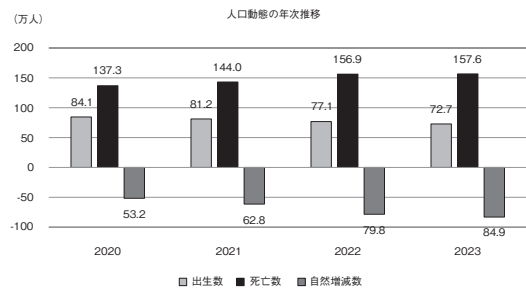


図1 人口動態統計(確定数)の概況

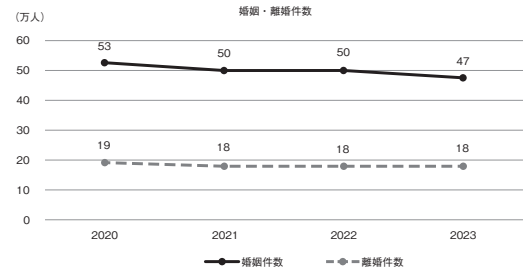


図2 婚姻・離婚件数の年次推移

出典：厚生労働省 令和5年(2023)人口動態統計(確定数)の概況、人口動態総覧の年次推移から抜粋し、設問に
合わせて一部改変し、図を作成。https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei23/dl/04_h2-1.pdf

問2-1 以下の文章は、図1から読み取れる内容を述べたものである。(①)～
(⑩)に当てはまる語句や数値を答えよ。また()内に語句がある場
合は、最も適切な語句を選び、それを解答欄に記載せよ。ただし、小数点以下を
含む数値の場合には、小数点第一位を四捨五入して整数で答えること。

図1の4年間の人口動態の年次推移によると、2020年においては、出生数は
(①)万人であるのに対し、死亡数は(②)万人であった。また、2023
年においては、出生数は(③)万人であるのに対し、死亡数は(④)万
人であった。4年間の出生数においては(⑤)増加・減少)傾向が見られ、死
亡数は(⑥)増加・減少)傾向であった。自然増減数においては、2020年は
(⑦)万人、2023年は(⑧)万人の(⑨)増加・減少)であり、2020
年と2023年の差は(⑩)万人である。

問2-2 図1と図2を比較し、出生数と婚姻・離婚件数にどのような相関があるか、
考えを15字から25字の範囲で述べなさい。

III 以下の文を読み、問いに答えよ。

栄養・食生活は、生命を維持し、子どもたちが健やかに成長し、また人々が健康で幸
福な生活を送るために欠くことのできない営みである。身体的な健康という点からは、
栄養状態を適正に保つために必要な栄養素等を摂取することが求められ、その一方で食
生活は社会的、文化的な営みであり、人々の生活の質(QOL)との関わりも深い。

日本人の食生活が、第二次世界大戦以降約50年間に高塩分・高炭水化物・低動物性
たんぱく質という旧来の食事パターンから、動物性たんぱく質や脂質の増加等、大きな
変化を遂げたことは、感染症や脳出血などの減少の一因となった。

出典：厚生労働省『栄養・食生活』より、設問に合わせて一部改変
https://www.mhlw.go.jp/www1/topics/kenko21_11/b1.html

問3-1 感染症や脳出血などの減少の一因となった食事パターンの変化とは何か、文
中の語句を用いて15字以内で述べよ。

問3-2 現在、がん、心疾患、脳卒中、糖尿病等の生活習慣病の増加が深刻な問題と
なっている。栄養・食生活の面からこれらの疾患の予防やQOL向上策など
を考え、200字～300字で述べよ。

福祉貢献学科（社会福祉専攻／子ども福祉専攻）

問題1 表1は、2022年（令和4年）厚生労働省「国民生活基礎調査の概況」における「世帯構造別にみた『要介護者のいる世帯』の構成割合」データである。この表に関する下記の質問に答えよ。答えは解答用紙に記入すること。

なお、「要介護者のいる世帯」とは、介護保険法で要支援*1または要介護*2と認定された者のうち、在宅の者がいる世帯を指す。

*1：身体的または精神的な障害により、日常生活の基本的動作の一部に支障がある状態
*2：身体的または精神的な障害により、日常生活の基本的動作の全部または一部に常時介護を要する状態

表1：世帯構造別にみた「要介護者のいる世帯」の構成割合

(単位：%)

年次	総数	単独世帯	核家族世帯	(再掲) 夫婦のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯
2001年	100.0	15.7	29.3	18.3	32.5	22.4
2004年	100.0	20.2	30.4	19.5	29.4	20.0
2007年	100.0	24.0	32.7	20.2	23.2	20.1
2010年	100.0	26.1	31.4	19.3	22.5	20.1
2013年	100.0	27.4	35.4	21.5	18.4	18.7
2016年	100.0	29.0	37.9	21.9	14.9	18.3
2019年	100.0	28.3	40.3	22.2	12.8	18.6
2022年	100.0	30.7	42.1	25.0	10.9	16.4

注：2016年の数値は、熊本県を除いたものである

出典：2022年度（令和4年）厚生労働省「国民生活基礎調査の概況」22頁を一部修正

設問1 以下の文章は表1のデータの特徴などを説明したものである。（ ）内に適切な言葉や数字を入れよ。

なお、本設問での世帯とは、単独世帯、核家族世帯、(再掲)夫婦のみの世帯、三世帯世帯、その他の世帯、の5つを指す。

- ① 年次別の構成割合で、2001年以降割合が減少し続けている世帯は（ア）世帯である。
- ② 各世帯に要介護者がいる状況を前提に、単独世帯、核家族世帯、三世帯世帯を社会的支援の必要性が高いと想定される順に並べると、必要性が一番高いのは（イ）世帯、二番目に高いのは（ウ）世帯、一番低いのは（エ）世帯である。
- ③ 2022年における核家族世帯のうち、夫婦のみの世帯の割合は、（オ）%である（小数点以下2桁は切り上げること）。
- ④ 2019年における単独世帯構成割合は、三世帯世帯割合の約（カ）倍である（小数点以下2桁は切り上げること）。

設問2 表1における「(再掲)夫婦のみの世帯」とは、いわゆる「老々介護」（高齢者が高齢者を介護する）の状態にあるケースが想定される。「老々介護」には、どのような問題があるか考えるか。あなたの考える問題を2つ、それぞれ60字以内で述べよ。

問題2 表2は、文部科学省「学校基本調査」で報告された、特別支援学校高等部（本科）卒業生の進路状況である。この表に関する以下の質問に答えよ。答えは解答用紙に記入すること。

表2：特別支援学校高等部（本科）卒業生の進路状況一国・公・私立計一

区分	卒業生					進学者										教育訓練機関等入学者					就職者等				社会福祉施設等入所・通所者		その他	
	A	大学等	専攻科	計	B/A	専攻科	各種学校	職業能力開発	計	C	C/A	D	E	D/A	F	F/A	G	G/A	H	H/A	I	I/A	J	J/A	K	K/A		
視覚障害	410	103	46	149	36.3	29	4	10	43	10.5	135	-	32.9	-	64	15.6	19	4.6										
聴覚障害	18,471	5	78	80	0.4	32	13	212	257	1.4	5,858	23	31.7	0.1	11,466	62.1	787	4.3										
知的障害	1,559	34	-	34	2.2	7	1	12	20	1.3	71	-	4.6	-	1,327	85.1	107	6.9										
肢体不自由	341	23	-	23	6.7	22	3	2	27	7.9	96	2	13.5	0.6	214	62.8	29	8.5										
病弱・身体虚弱	21,023	307	153	360	1.7	92	21	239	352	1.7	6,139	26	29.2	0.1	13,182	62.7	964	4.6										
計																												

出典：「学校基本調査」(文部科学省)

※①大学等・・・大学（学部）、短期大学（本科）、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学（全科履修生）、大学・短期大学（別科）

- ②専攻科・・・特別支援学校高等部専攻科、高等学校専攻科
- ③職業能力開発・・・職業能力開発校、障害者職業能力開発校等
- ④就職者等・・・自営業主等、常用労働者（無期雇用労働者、有期雇用労働者）、臨時労働者
- ⑤社会福祉施設等入所・通所者・・・児童福祉施設、障害者支援施設等、医療機関
- ⑥就職しながら進学した者、入学した者は、進学者及び教育訓練機関等入学者のいずれかに計上している。
- ⑦四捨五入のため、各区分の比率の計は必ずしも100%にならない。

出典：特別支援教育資料（令和5年度）：文部科学省
www.mext.go.jp/content/20250128-mxt_tokubetu02-000039998-2.pdf

設問1 「進学者」および「社会福祉施設等入所・通所者」のデータについて、「視覚障害」「聴覚障害」「知的障害」「肢体不自由」「病弱・身体虚弱」の5つの障害からみた傾向で読み取れることを答えよ。「進学者」「社会福祉施設等入所・通所者」に分けて、1つずつ述べよ。

設問2 「計」では、特別支援学校高等部卒業生の進路状況について、進学者1.7%、教育訓練機関等入学者1.7%、就職者等29.2%、社会福祉施設等入所・通所者62.7%などと示されている。

このように、進学者の割合が低い状況に対して、卒業前の特別支援学校高等部および進学先では、どのような取り組みが求められるか考えるか。特別支援学校高等部および進学先に分けて、あなたの考えをそれぞれ200字以内で述べよ。

ランゲージ専攻

問1 次の文章を読み、「ハイ・コンテクスト（高文脈）社会」と「ロー・コンテクスト（低文脈）社会」の特徴について、自分の言葉でまとめなさい。そのうえで、「ハイ・コンテクスト社会」と「ロー・コンテクスト社会」の特徴が、あなたの生活のどのような場面に表れているかを説明しなさい。（500字以内）

ところで、今日では、この多くを語らずとも豊かな意味を伝えられる社会のことを「ハイ・コンテクスト（高文脈）社会」と呼び、また、こまかいところまで言語化しないと誤解されかねない社会を「ロー・コンテクスト（低文脈）社会」と呼ぶことが一般化しています。この命名は、文化人類学者のエドワード・T・ホールによるもので、発想のきっかけはアメリカ先住民の文化研究から来ているようですが、その考えを完成させたのは、おもしろいことに、彼の日本文化との出会いであったらしいのです。（中略）

彼によれば、「言葉」「行為」「姿勢」「身振り」「声の調子」「顔の表情」、そして「時間や空間や物のあつかい方」「仕事のやり方」「遊び方」「求愛の仕方」「身の守り方」など、あらゆる言語外の現実が、この社会のコミュニケーション構造を作り上げており、これらすべての事柄は、その背後にひそむ^{コンテクスト}文脈に親しんでいなければ、意味を正しく読み取ることはできない、と言うのです。つまり、ハイ・コンテクスト社会では、言語以外の歴史的・社会的・文化的なコンテクストがほとんどの人々に共有されており、これが前提となるので多くを語る必要がなく、ロー・コンテクスト社会では、まさにその文脈が欠けているため、すべてを言語に頼らねばならないというわけです。

（加賀野井秀一（2024）『感情的な日本語—ことばと思考の関係性を探る』教育評論社 pp.34-35 より抜粋）

— 1 —

問2 次の表を参考に、20代の訪日観光客が持つ日本の文化・コンテンツへの関心について国ごとの傾向と、3ヶ国間の違いについてまとめなさい。さらに、今後これらの3つの国からの訪日観光客を増加させるためにはどのような事に力を入れたら良いかを論じてください。（500字以内）

表：訪日観光客（20代）の日本の文化・コンテンツで関心のあるもの（%）

	日本の自然	神社・寺院	ドラマ	アニメ	日本食
米国	47	37	20.5	26	31
韓国	44.5	20.5	20	45	63
中国	57.5	24	12	36.5	39.5

（総務省「IoT時代における新たなICTへの各国ユーザーの意識の分析等に関する調査研究」（平成28年）のデータの一部を基に作成）

— 2 —

観光専攻

問1 万博（国際博覧会）は世界各地で開催され、国の内外からの観光客を呼び込むことが期待されています。一方で、万博終了後の跡地活用や地域への長期的な経済効果、持続可能な観光の在り方などについて、多くの課題もあります。あなたは万博を契機に地域社会や観光産業がどのように発展していくべきかについて、どのように考えますか。万博の課題と可能性の両面から、自分の考えを500字以内で述べなさい。

問2 近年、日本を訪れる海外からの観光客は増加しており、国内の経済や文化にも多大な影響を与えています。観光地では、混雑やマナーの違いから、地域住民との摩擦などの課題も生じています。地域の活性化や海外からの観光客の誘致には、観光地において、どのような工夫が必要でしょうか。課題とその解決に向けた提案を、具体例を交えながら500字以内で述べなさい。

— 1 —

問1 次の記事を読み、(1)～(6)の各設問に解答しなさい。なお、解答はすべて解答用紙に記入すること。

トランプ米政権による相互関税が9日発動した。日本製品には24%の関税がかかる。すでに関税が発動された自動車に続き、今回の相互関税は建設用機械や食品など幅広い産業に打撃となる。一連の関税により、日本の国内総生産（GDP）を0.8%押し下げるとの試算もある。中小企業への影響も大きい。

今回の相互関税は自動車や鉄鋼・アルミニウムなど、分野別で追加関税を課す品目は対象から外れている。日本の対米輸出額の3割を占める自動車は3日に関税が発動されている。

建設用・鉱山用機械は、米国への輸出額のうち4.7%（9471億円、2023年）を占める。日本の建設機械メーカーにとって関税に伴うコスト増加や米キャタピラーなど米国メーカーに対する価格競争力の低下といった悪影響が想定される。

関税による影響を大きく受けそうなのが日立建機だ。北米の売上高比率が2割強を占める。現在は米国向けをすべて日本から輸出している。過去には同業の米ディアと提携し、同国内で生産していたが22年に提携を解消しており米国に生産移管するのは簡単ではない。

国内最大手のコマツも北米の売上高比率が3割を占める。米国で販売する機械本体の半分を米国外からの輸入が占め、高い鋼材価格や人件費でコスト競争力が落ちる懸念で米国生産へのシフトは難しいとみている。

自動車や建機と並び、世界的に日本勢の存在感が大きいのが工作機械だ。ドイツ工作機械工業会（VDW）の推定によると、23年の世界の工作機械輸出に占める日本のシェアは14.4%とドイツ（17.6%）、中国（16.6%）に次ぐ。日本工作機械工業会によると、24年の米国からの工作機械受注額は2672億円だった。

米国勢は精密加工機などで一定の存在感があるが、DMG森精機やヤマザキマザックなど日本勢が得意とする高精度な数値制御（NC）の工作機械では、ライバルはほぼドイツ勢に限られる。仮に米国での販売価格を引き上げたとしても、日本勢だけが米国市場内の競争力を低下させる可能性は低い。

影響が大きいのは、関税に伴い世界各国で企業の設備投資意欲が落ち込むことだ。

— 1 —

野村証券が政府のマクロ統計を基に、日本企業の米国現地法人における日本からの輸入や第三国からの仕入れの関税負担（自動車関税などを含む）を試算したところ、一連の関税によって日本企業の利益は6.1兆円押し下げられる。

中小企業への影響も大きい。帝国データバンクが2月に発表した調査によると、米国に輸出する日本企業の8割が売上高100億円未満だ。10億円未満は4割を占める。同社の飯島大介氏は「基本的には米国に輸出しているすべての産業に影響が出るだろう」と話す。

注：図Bおよび図Cの線上の●印は黄金のピークを示す。

【出典】「関税打撃、機械も食品も」『日本経済新聞』2025年4月10日朝刊 第3面。掲載にあたり、一部改変を加えている。

DMG森精機の森雅彦社長は2月の決算説明会で「カナダとメキシコで投資が止まっている。顧客の意思決定が遅れている」と語った。

野村証券の前川健太郎シニアアナリストは「工作機械やロボットはコスト増の懸念は小さくないが、競合する有力な米国企業はなく、価格転嫁は進みやすい。ただし、需要そのものが著しく減退するリスクは避けられないだろう」と予測する。

日本食の浸透などを背景に米国向けの輸出が伸びていた食品業界に対しても、関税は冷や水を浴びせることになる。（①）によると、24年の米国向けの農林水産物・食品の輸出額は18%増の2429億円で、中国を逆転して20年ぶり1位となった。

緑茶の対米輸出額は前年比2%増の160億円だった。「お〜いお茶」を米国で販売する伊藤園は「原料や製品の輸入コストが相互関税によって上がる。値上げを検討しており、消費マインドの悪化も懸念される。緑茶製品の輸出量が減少につながる可能性がある」と危惧する。

米菓を除く菓子の対米輸出額も66億円と前年から32%増えた。明治ホールディングスの食品子会社の明治はチョコレート菓子「きのこの山」などを米国に輸出しており、「追加関税の影響を試算したうえで、今後の対策を検討する」とした。

他産業に比べ影響が小さそうなのが医療機器だ。（②）の薬事工業生産動態統計調査によると、23年の米国向け輸出は1557億円だった。オリンパスと富士フイルムは胃カメラなどの内視鏡カメラでは世界シェアの9割以上を握る。医療機器は必需性が高く、価格転嫁をした場合でも販売に大きな影響はなさそうというのが市場の見方だ。

みずほリサーチ&テクノロジーは、相互関税や自動車や鉄鋼・アルミニウムへの追加関税発動が日本のGDPを2024年に比べて0.8%押し下げると試算する。

産業別にGDP下押し率をみると、最も影響を受けるのが自動車など輸送用機器で3.5%減るとみる。設備機械や電気・電子機器、化学製品なども2%程度減少する。自動車部品など裾野産業に加え、米国内の設備投資需要が減速し、資本財を中心に影響が広がるためだ。

みずほR&Tの酒井才介氏は「内需依存型の非製造業にも影響が広がる可能性がある」と指摘する。自動車など製造業を中心に収益が悪化すれば、賃上げ機運にブレーキがかかる可能性がある。国内消費が冷え込めば、小売業や飲食・宿泊業など幅広い業種にも影響が及ぶと想定される。

— 2 —

(1) (①)、(②)に当てはまる省名の組み合わせを1つ選び、記号で回答しなさい。

- ア ①財務省 ②農林水産省
- イ ①厚生労働省 ②農林水産省
- ウ ①経済産業省 ②厚生労働省
- エ ①農林水産省 ②厚生労働省
- オ ①農林水産省 ②総務省

(2) 下線部③「仮に米国での販売価格を引き上げたとしても、日本勢だけが米国市場内の競争力を低下させる可能性は低い」とあるが、その理由として最も適切なものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本の工作機械は価格競争力よりもブランド力が重視されているため、値上げは影響しにくいと見られている。
- イ 日本勢の競合は主にドイツ企業であり、米国企業が強い分野とは直接かぶらないため、日本勢だけが価格競争力を落とす状況にはなりにくい。
- ウ 米国の精密加工機メーカーが撤退したことで、日本製品が代替需要を得ているため、価格上昇の影響が緩和される。
- エ 米国の購入者は品質より価格を優先する傾向があるため、日本製品の価格上昇はあまり問題にならない。
- オ 数値制御（NC）機械では、日本企業と米国企業の競争が熾烈であり、値上げには慎重さが求められるという見方が主流である。
- カ 日本の製品は輸送コストが抑えられており、関税の影響が軽微なため。

(3) 食品に関連する本文の記述について、適切ではないものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本の農林水産物・食品の輸出先は、この20年間において中国が第1位となっている。
- イ 相互関税による原料や製品の輸入コストの増加は、値上げにつながる。
- ウ 米国向けの農林水産物・食品の輸出額は、大きく伸びている。
- エ 米国向けの菓子の輸出増加率は、緑茶の輸出増加率を上回っている。
- オ 相互関税が発動されると、結果として輸出品の減少を引き起こす可能性がある。

(4) 本文から読み取れる関税発動による日本経済への影響について、適切なものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 2024年の米国向け工作機械輸出額は18%増加した。
- イ 製造業の収益が悪化すれば、国内消費の冷え込みにつながる。
- ウ 関税によって日本企業の利益は6.1兆円押し上げられる。
- エ GDP下押し率は、設備機械産業が最も大きい。
- オ 日本から米国への輸出額のうち、3割を占めているのは鉄鋼・アルミニウムである。

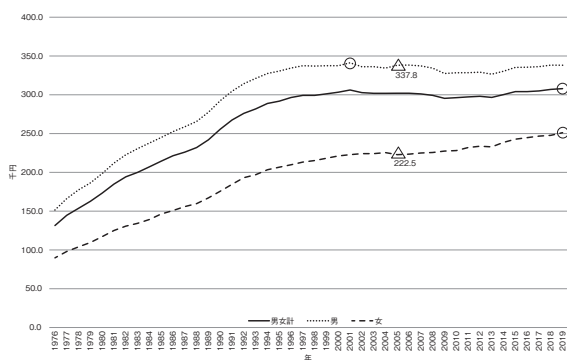
(5) 本文の内容として適切ではないものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 輸送用機器や設備機械などの産業への影響が大きく、GDPが押し下げられると試算されている。
- イ 収益の悪化が続けば賃上げの流れが停滞し、消費や雇用に影響を及ぼす可能性がある指摘されている。
- ウ 中小企業の多くは輸出額が小さいにもかかわらず、関税の影響を強く受ける立場にある。
- エ 関税の影響は製造業に限定され、内需型の非製造業には波及しにくい。
- オ 関税により設備投資の停滞が起これば、製造機械など資本財全般への需要も鈍化する懸念がある。
- カ 小売業や宿泊業など、消費に関連する非製造業にも今後影響が広がる可能性があると分析されている。

(6) 本文の内容として適切なものを次の中から3つ選び、記号で答えなさい。

- ア コマツは米国で販売する機械の一部を現地生産しているが、コスト増を懸念して米国生産への全面移行には慎重な姿勢を示している。
- イ 米国が関税を発動したのは、自動車と建設機械に限られる。
- ウ 医療機器は必需性が高く、価格転嫁による販売減の懸念は小さい。
- エ 日本の工作機械の世界輸出シェアはドイツ、中国に次いで3位である。
- オ 関税の影響を最も受けるのは売上高100億円を超える大企業であり、中小企業は輸出額が小さいため影響は限定的である。
- カ 設備機械のGDP下押し率は最も大きく、3.5%の減少が見込まれている。
- キ 日本からの食品輸出は減り続けている。

問2 図Aは性別賃金の推移を、図Bは男性の雇用形態、年齢階級別賃金を、図Cは女性の雇用形態、年齢階級別賃金を表したものである。図Aと図Bと図Cを参照して、(1)・(2)・(3)の問題に解答しなさい。解答はすべて解答用紙に記入すること。

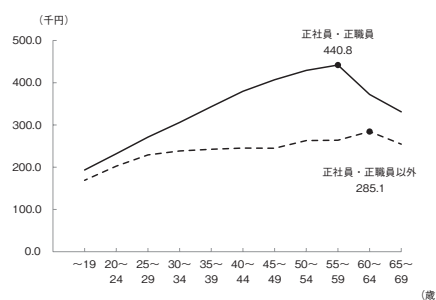


図A 性別賃金の推移

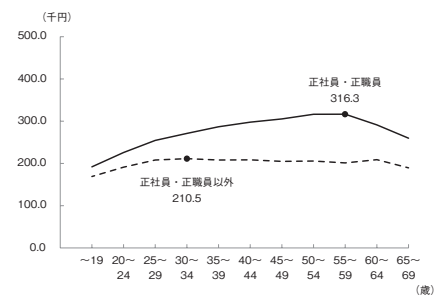
注：線上の○印は2019年以前における賃金のピークを示す。線上の△印の右下の数値は2005年の賃金である。2018年以前は、調査対象産業「宿泊業、飲食サービス業」のうち「バー、キャバレー、ナイトクラブ」を除外している。

【出典】「令和6年賃金構造基本統計調査」(厚生労働省)

(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2024/index.html>)の統計表の付表1を加工して作成



図B 2023年の男性の雇用形態、年齢階級別賃金



図C 2023年の女性の雇用形態、年齢階級別賃金

【出典】「令和5年賃金構造基本統計調査」(厚生労働省)

(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2023/index.html>)の第6図を加工して作成

(1) 次の各文章について、適切なものには○を、適切でないものには×を解答欄に記入しなさい。

- ① 1976年から2019年までの期間に、男性の賃金は伸び続けた。
- ② 男女計の賃金は、1980年代の10年間の平均より、1990年代の10年間の平均のほうが高い。
- ③ 男女共に、正社員・正職員の賃金は正社員・正職員以外の賃金より低い。
- ④ 男性の年齢階級別の正社員・正職員の賃金は、ピークの後には下がり続けている。
- ⑤ 男女共に、賃金がピークを迎える年齢階級は、正社員・正職員のほうが正社員・正職員以外より高い。

(2) 2005年の男性の賃金は、女性の賃金の何倍か。小数点第2位を四捨五入して解答しなさい。

(3) 図Bと図Cからどのようなことが言えるのか。200字以内で記述しなさい。

グローバル・コミュニケーション学科

次の記事を読み、以下の3つの問いに答えなさい。

自分で考え正しいことをする Do the right thing 石川・富来出身 サム田潤さん

米国の連邦政府や州政府で働き、米国籍を持つ東洋大名誉教授のサム田潤さん(74)＝千葉市＝が、その経歴を活かし、能登半島地震の被災地復興に取り組んでいる。半島西岸の石川県富来町(現・志賀町)出身。米国で培った「Do the right thing(自分で考え正しいことをする)」との信念を胸に、地震と豪雨で傷ついた故郷の支援を続けている。

白米千枚田はひび割れや落石で傷み、能登のシンボルでもある見附島は崩れていた。「遠足や家族旅行で訪れた奥能登の景色はすっかり変わってしまっていた」。田潤さんは地震後に訪れた被災地の印象をこう語った。

田潤さんは大学卒業後に渡米。大学院を修了後、米フロリダ州知事室など元フロリダ州知事のルービン・アスキュー氏のもとで働き、1980年にはUSTR(米通商代表部)特別補佐官にも出向するなど活躍した。官民がリスクと報酬を分かち合い、公共事業を進める手法のPPP(Public private partnership)が専門で、57歳で帰国した後は、東洋大大学院の教授や国連の作業部会の議長に就き、官民共同開発や地域再生に携わってきた。

元日の地震では志賀町の親戚が持つ家も被害に遭い、「要注意」の紙が貼られた。現在、建設コンサルタント会社「長大」の顧問を務める田潤さんは、同社が事業化を進めるバイオトイレを能登町に提供するなどの支援を続ける。9月には滞在中の能登町で豪雨に見舞われた。震災のがれき処理が進まないまま豪雨で仮設住宅が浸水する被災地。だが、政府の対応は鈍かった。「金はないし、人もいない。政府には見捨てられた。これは人災だ」。住民の言葉が胸に刺さった。

「自分にできるのは復興のアイデアを出し、海外から資金を持ってこること」。翌10月、米国人と日本人を中心とした会員制社交クラブ・東京アメリカンクラブ(港区)で能登の現状を語り、被災自治体への支援金を募った。

能登町に通う中で、米国出身の珠洲焼作家で、工房を再建中の渡辺キャロラインさん(59)や、廃棄される輪島塗を引き取り、新たな持ち主に譲る取り組みを進めるオース

トラリア出身の民宿経営者ベンジャミン・フラットさん(59)らにも出会った。「諦めることなく、能登の文化に魅せられ、残って活動している外国人がいる」。能登に暮らす外国人と被災地の再生を目指す若者をつなげたいとの思いで、12月2日まで、同クラブでキャロラインさんら能登の作家たちの作品の展示会も開いている。

能登に米国の災害対応機関・連邦緊急事態管理庁(FEMA)のような組織を作れないか。伝統工芸に付加価値を付けて発信することはできないか。今後、PPPの観点で、さらに活動を広げていきたいという。

「Do the right thing」は、アスキュー氏から学んだ米国に根づく精神。「米国で培ってきた考え方や経験を故郷能登の助けにつなげたい。世界の力を借りて、能登の復興を手助けしたい」と力を込めた。

出典：東京新聞(2024年11月30日夕刊7頁)

問1 この記事の内容を300字以内で要約しなさい。

問2 下線部「政府の対応は鈍かった」について、本文中で示唆されている内容を60字以内で説明しなさい。

問3 グローバル・コミュニケーション学部では、文化や価値観の異なる人々と共にさまざまな課題を解決し、人・地域・世界の架け橋となる「地球市民」を育成することを目標としている。あなたは、本学部でどのようなことを主体的に学び、地球市民として国内外のどのような課題の解決に向けて行動したいと考えているか。この記事の内容に言及しながら、あなたの考えを500字以内で具体的に述べなさい。なお、初めにキーワードを4つ示し、論述におけるキーワードの初出箇所に下線を引くこと。

国文学科 【出題意図・解答例】

問一 漢字問題

アドミッション・ポリシーの「学生募集に際して重視すること」に挙げた、「基本的な文章読解力や語彙力が身に付いていること」のうち、特に「語彙力」を問うための問題である。

- a 浸透 b 思案 c 曖昧 d 深く e 明瞭

問二 記述問題(小論文)

アドミッション・ポリシーの「学生募集に際して重視すること」に挙げた、「書物と主体的に向かい合う姿勢や、自身の意見を論理的な文章によって書き表す能力」と「その前提となる基本的な文章読解力」を特に問うための問題である。

●筆者の主張の要点

- ・現代＝言語化能力が求められる時代
かつてないほどの社会の変化の激しさ
共通言語が失われ、自分自身の視点から言語化する必要(しかし)

・ポスト・トゥルースの時代では真実も多様。どのように判断・言語化してよいかわからない。

(だからこそ/ゆえに)

・「断言」は、人々にとって思考する労苦を免除するものであるからこそ受け入れられてしまう。

●自分の考え

- ・筆者の主張を乗り越える視点、または筆者の主張を自分なりに敷衍しようとする姿勢があるか。
- ・主張の根拠が挙げられ、かつそれが妥当であるか。

※誤字、脱字、用法の間違いなどは減点の対象とする。

教育学科 【出題意図・解答例】

本設問は、受験者が教育学科において学ぶ上で、必要と考えられる以下の資質や力をどの程度有しているのかについて確かめることをねらいとしている。題材となっている新聞記事は、学問や研究の原動力となる「面白そう」という探究心を通して、基礎的な学びの重要性と知的好奇心の価値を説いたものである。子供の「面白そう」という気持ちをいかに育て、学びへとつなげていくかは、教師としての資質を問う重要なテーマである。

- 1)文章を正確に読み取り、筆者の主張を的確に把握し、論理的に整理できるか(アドミッション・ポリシーの①、③に関連)
- 2)教育に関する社会的、時事的な話題に関心を持ち、自らの考えを形成する姿勢を備えているか(アドミッション・ポリシーの①、②に関連)
- 3)子供の「面白そう」という探究心をはぐむ教育の在り方について、自らの経験や考えに基づいて具体的に論じることができるか(アドミッション・ポリシーの①、②、③に関連)
- 4)問題の意図を正しく理解し、他者に伝わる明瞭で論理的な文章として表現することができるか(アドミッション・ポリシーの②、③に関連)

(1) (ア)証明 (イ)魅力 (ウ)試行錯誤

(2) (エ)むじゅん (オ)しんこう (カ)ぼっとう

(3) d

(4) a

(5)(例)竹炭や備長炭は、表面に小さな穴がたくさんあり、においの原因となる物質を吸着する。この性質を利用して作られたのが脱臭剤である。(例)カワセミが水に飛び込むとき、水しぶきがほとんど立たない。新幹線の先頭車両はこの形を参考にして作られている。空気抵抗を小さくして走行音を静かにすることができる。

※採点のポイント

- ・適切な例を挙げている
- ・適切な説明ができています

教育学科 【出題意図・解答例】

(6) c

(7)

(例)私は、すべての児童生徒が「面白そう」と感じ、自ら問いを立てて学びを深められる授業を目指したい。そのためには、児童生徒が身の回りの出来事や地域の課題など、実社会とつながる題材にふれ、「なぜ」「どうして」と疑問をもつ場面を意図的に設けることが大切だと思う。

興味をもつことや得意な分野は一人一人異なるため、どんなことを探究するのか、その対象や調べ方、表現方法を選べるようにし、支援が必要な児童生徒も含め、誰もが探究の楽しさを味わえるように工夫したい。教師自身も地域や社会と関わりながら学ぶ姿を見せることで、児童生徒と共に成長する姿勢を示したい。こうした実践を通して、すべての児童生徒が自分なりの問いをもち、学びを実社会と結びつけながら生き生きと探究する力を育てていきたい。

※採点のポイント

- ・子どもの「面白そう」という気持ちを大切に記述がみられる
- ・具体的な取り組みについての記述がみられる
- ・上記2点について論理的に矛盾なく説明できている
- ・設問の指示に従い、適切な文量と正確な表現で自分の考えを述べている

(8)ある人に1匹の魚をあげれば1日分の食料を与えることができる。
ある人に魚の捕り方(釣り)を教えれば一生分の食料を与えることができる。

感性工学専攻 【出題意図・解答例】

問題1

データおよびデータが示す意味を正しく読み取り、データをもとに自分の考えを述べるることができるか(アドミッション・ポリシー②にある「記載された文章や図表を理解できる論理的・数理的な思考力と基礎学力を身に付けていること」)

問1

1	35.3	2	7.5	3	27.8	4	36.4
5	13.8	6	1.7	7	17.3	8	0.1

問2

日本では情報の真偽を専門家に確認する人が少なく、誤情報の影響を受けやすい傾向がある。SNS等の情報をうのみにせず、自分が得た情報に対して信頼できる媒体を照合して検証する習慣を、学校教育と地域社会で継続的かつ体系的に育てる必要がある。

内容：図の傾向(日本が低いなど)を踏まえ、意見に具体性がある論理性：理由・対策などが筋道だっている

表現：文法的に正確、主語・述語が対応、「ですます調」もしくは「である調」に統一

問題2

文章中の内容に基づき、設問対象の意義や特性および設問対象に対する自分の考えを正しく述べるることができるか(アドミッション・ポリシー①「人の感性に関する知識とAI(人工知能)技術を活用することにより、AI時代の情報化社会においてSTEAM人材として活躍する意欲を持つことを期待する」、およびアドミッション・ポリシー②にある「記載された文章や図表を理解できる論理的・数理的な思考力と基礎学力を身に付けていること」)

問1

自律型AIとは、人が設定した目的に基づき、状況を理解して自ら判断し行動できるAIである。人が命令しなくても能動的に行動し、社会の維持や発展に寄与する点で、人間との共生を実現する上で重要な意義を持つ。

内容：「目的に従い自ら判断し行動できるAI」である点を明確に説明
論理性：意義(目的・効果)が筋道立って述べられている

感性工学専攻 【出題意図・解答例】

表現：文法的に正確、主語・述語が対応、「ですます調」もしくは「である調」に統一

問2

ドラえもんのような人に作用するロボットが自然に受け入れられているのは、日本社会がAIやロボットを脅威ではなく協働できる相手として肯定的にとらえる、EU社会とは異なった文化を持つからである。そのため、日本社会の特徴は、人間とAIの共生を自然に受け止める社会的土壌があることを示しているといえる。

内容：「AIを受け入れる日本社会の特性(受容性・文化的背景)」を説明

論理性：根拠(ドラえもんの例)と結論(日本社会の特徴)がつながっている

表現：文法的に正確、主語・述語が対応、「ですます調」もしくは「である調」に統一

問3

AIと人が共生する社会を実現するには、技術の発展とともに倫理や責任の問題を明確にする必要がある。AIが自律的に判断・行動するにあたって誤った判断をしたときの責任の所在を定めなければ、社会的信頼は得られない。また、AIに依存しすぎると人の判断力や創造性が低下するおそれがある。AIの利便性を活かしつつ、人が最終的な決定に関与できる仕組みを整え、相互に補完できる関係を築くことが重要である。

内容：「課題」を明確に述べている(例：責任・倫理・依存・関係のバランスなど)

論理性：理由・対策などが筋道立っている

表現：文法的に正確、主語・述語が対応、「ですます調」もしくは「である調」に統一

データサイエンス専攻 【出題意図・解答例】

問題1

以下の資質や能力を確かめることを狙いとしている。
 ・図表を読み解く論理的・数理的な思考力と基礎学力を身に付けているか
 ・図表の示す意味や図表を表示する効果、図表とその説明文章との関係性を読み解く力、ならびに読み取った内容を要約して文章化できる力の向上に努めているか

問1

(1) 日本 (2) 65.7 (3) 20.9 (4) ドイツ (5) 46.9
 (6) 1.6 (7) 15.9 (8) 43.9 (9) 2.8

問2

図2に挙げられている全ての項目について、日本においてオンライン情報を確認する人の割合は、他国における割合に比べて低い。

問3

日本における情報リテラシーの特徴として、図1よりまず、情報の入手手段としてニュースサイト・アプリから自分へおすすめる情報をみる人の割合が突出して高いことが言える。また、図2より、情報の信頼性を何らかの手段で確認する人の割合が、日本では他国に比べて非常に低いとも言える。

問題2

以下の資質や能力を確かめることを狙いとしている。
 ・文章を読み解く論理的な思考力を身に付けているか
 ・AI時代の情報化社会において、データ分析のスペシャリストとして活躍する意欲を持っているか

問1

蒸気機関、AI、インターネットのうちから2つ

データサイエンス専攻 【出題意図・解答例】

問2

批判的思考の習得や問題解決、抽象的な概念の理解、新たな問題の推論、そしてAIのアウトプットの評価には、その分野の専門知識が必要である。職業は依然として、人間の判断を必要とする複数の複雑なタスクが連なっていてきている。

問3

基礎的なスキルを記憶して蓄積したり、基本的な知識の倉庫を構築したりする作業はAIが得意なのだから、人間がやる必要はなくなったとも思える。しかし、実際はまったく逆であり、専門性を獲得するためには事実上根ざした基礎が必要になる、ということ。

問4

(採点のポイント)

- ・AI時代における学修に関する考えを具体的に論じているか。
- ・基礎的スキルの習得に関する意義や意欲について論じているか。
- ・専門知識の習得に関する意義や意欲について論じているか。
- ・日本語文章としての完成度。

数学・情報教員養成専攻 【出題意図・解答例】

問題1

高校数学(数学I・数学II・数学III・数学A・数学B・数学C)の基本的な知識と計算力を問う。(アドミッション・ポリシー③に関連)

(1) 60° (2) $\frac{4}{5}$ (3) -1792 (4) 37

(5) $-\frac{1}{3}x^3 + x^2 + C$ (Cは積分定数)

(6) 2 (7) ①1 ② 45°

問題2

高校情報Iの基本的な知識と計算力を問う。(アドミッション・ポリシー③に関連)

(1) 457 (2) 1780MBまたは1866MB (3) 4倍 (4) 1

問題3

本専攻の学問内容に関する文章を題材に、読解力と論理的思考力を総合的に問う。(アドミッション・ポリシー②③に関連)

問1

本文の内容を正確に理解し、数学による解明の方法を整理する力をみる。
 ・「数学」で解明する方法が明確に述べられている
 ・本文を的確に引用している

問2

本文の内容を正確に理解し、数学と他分野の違いを整理する力をみる。
 ・物理学との違いが明確に述べられている
 ・本文を的確に引用している

問3

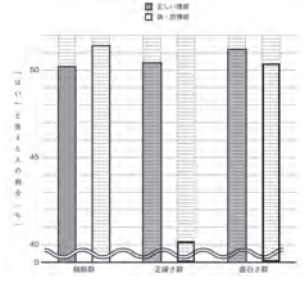
本文の理解を踏まえて、自分の考えを論理的かつ具体的に展開する表現力をみる。
 ・具体例が適切に述べられている
 ・自分の意見が明瞭に述べられている
 ・論理的な記述である

心理学科 【出題意図・解答例】

本試験では、学部のアドミッション・ポリシーに基づき、受験者が心理学部心理学科において学ぶ上で必要と考えられる資質や力をどのくらい有しているのかについて確かめることを狙いとしている。

問1: 図表などをもとに加減乗除や比率等の計算を行い、データを正しく読み取ることができるか。
(1) 57 (2) 1.3

問2: データを的確に図として表すことができるか(縦軸の目盛間隔がいくつになっているか、グラフと表の対応関係を正しく理解することができるか)。



問3: 実験・調査の内容を正しく理解することができるか。また、読み取ったデータをもとに、図表が意味していることを的確に説明することができるか。
(採点のポイント)

- 1) 正確さを考えた群では他の群と比べて、偽・誤情報に対して「はい」と回答した割合が低かったことを読み取れているか。
- 2) 正しい情報について、3つの群で大きな違いがないことを読み取れているか。
- 3) 「正確さを考える」作業は偽・誤情報の拡散を低減する効果があるが、「面白さを考える」作業では効果はないことを読み取れているか。
- 4) ひとつつながりの文章として読みやすいか。小論文にふさわしい言葉づかいになっているか。

心理学科 【出題意図・解答例】

問4: 実験・調査の内容を正しく把握し、図表の意味をもとに、他人に伝わる明瞭で説得力ある文章で論述することができるか。
(採点のポイント)

- 1) 表1か図1を参照しながら、偽・誤情報の拡散を防ぐ対策として、妥当な内容を説明しているか。(説得力)
- 2) 小論文として適切な論法が用いられているか。(構成力)
- 3) ひとつつながりの文章として読みやすいか。小論文にふさわしい言葉づかいになっているか。(文章力)

創作表現専攻 【出題意図・解答例】

創作表現専攻では、アドミッション・ポリシーのなかに「文芸を中心とした創造的な表現活動に携わり得る知識と実践的な表現技術とを修めるのに必要な基礎力を有していること」を掲げており、例年、この方針に沿った出題をしている。

2026年度の試験では、あらゆる文芸ジャンルに不可欠な「ストーリー」に関する文芸理論を課題文として示した上で、語彙や語用にかかる問題(問一・問二)、内容読解にかかる問題(問三)、理解力や論述力を問う問題(問四)、応用問題(問五)を出題した。

問一から問四までは、オーソドックスな文章読解問題で、アドミッション・ポリシーの「国語の学習や読書を通して、文章を筋道立てて読み取る読解力と、自分の考えを正しく明確に表すことのできる表現力を磨いてほしい」というメッセージに相即するものである。

問五は「実践的な表現技術」をはかる創作問題だが、課題文で述べられている主旨をよく呑み込んで、要領よく応用できる能力が試されていると理解してほしい。

問一
i 冒頭 ii 考慮 iii 証拠 iv 把握

問二
A キ B 工

問三
日常的に繰り返されるできごと

問四
(採点基準)
① 平穏無事な日常を支えている「日常的なできごと」の価値が顧みられることなく忘却されてしまうことがもたない、といった趣旨の説明がなされていること
② 上の①の要素が「非日常的なできごと」の扱われ方と適切に比較されていること
③ 誤字・脱字などは減点の対象とする。

創作表現専攻 【出題意図・解答例】

問五
(採点基準)

- ① 「ストーリーを考えなさい」という指示なので、まずはできごと(どんなできごとでもよい。題材は自由)が時間的な順序に従って整序されつつ物語られていることが必須。なお、課題文のなかに「できごと」は、それが「起こる前」と「起こったあと」に、時間を分割しますと書いてあるので、この点が意識されていることも大事。たとえば「下人が盗人になる物語」(芥川龍之介「羅生門」)のように、「できごと」の前と後との変化を一文で要約できるような、明瞭な「筋」を示すことができればよい。
- ② 「木から葉っぱが一枚落ちた」を「一回性のできごと」としてストーリーの中に取り込み、その上で、物語を展開させる上で有効に機能させ得ていること。
- ③ 創作物としてのオリジナリティや表現力などを評価。
- ④ 誤字・脱字、原稿用紙の使い方の誤り、最後まで書ききれていないものは減点の対象とする。

(解説)
創作の課題なのでオリジナリティが求められていることも事実であるが、問いの中心はあくまで課題文の理解であり、創作はその応用である。課題文で述べられている主旨をよく呑み込んで、要領よく応用できる能力が試されているのである。

メディアプロデュース専攻 【出題意図・解答例】

今回の出題は、まず問題文をよく読んで、その内容を理解することを重視している。具体的には、マスメディアとインターネットという、それぞれ異なるメディアの特徴について理解することが第一である。そして、そうした違いが引き起こす様々な問題を、問題文に沿いながら、独自に考え、積極的に提示する力を求めている。

問1
〔1〕属性 〔2〕最適化

問2
課題文をよく読み、要点をまとめることで解答できる設問である。また、課題文から該当箇所を抜き出すだけでなく、要点を独自にとらえなおす方法で解答することも可能である。
(評価ポイント)
・課題文を的確に読解し、適切な箇所に関係した記述ができていないこと。
・日本語の文章として、正確に伝わりやすく書かれていること。
・誤字、脱字は減点の対象とする。

問3
前半は課題文の読解が求められているが、後半はそこから発展して、普段のメディア社会に対する問題意識を活用しながら、積極的に自分の考えを述べていく問題である。
(評価ポイント)
・インターネット以降の社会の弊害について、的確に書かれていること。
・マスメディアの役割について、自分の意見が述べられていること。
・日本語の文章として、正確に伝わりやすく書かれていること。
・誤字、脱字は減点の対象とする。

建築・まちづくり専攻/住居・インテリアデザイン専攻 【出題意図・解答例】

建築学部の学科専攻適性入試においては、「A:基礎的な知識(主に文章理解力)や技能(主に計算力)」、「B:身に着けている知識や技能を活用して新たな価値を創造するための思考力・応用力・表現力」、および「C:建築・地域のまちなみ等への興味関心」をどの程度身に着けているかを確かめることを狙いとしている。加えて、製図技術を習得するために必要な「D:注意深さや正確さ」については、誤字脱字や文字の書き方と関連があると考え、減点対象としている。

問題1
問1～3
文章の意図を理解できるか。(A 文章理解力、D 注意深さ・正確さ)

問1 A 問2 30.1

問3
テレワークを活用し在宅で仕事をする就労形態(の登場)
()内の有無は問わない。

問4
社会の動向と関連つけて、建築的な視点から新しいアイデアを提案することができているか。(B新たな価値を創造する思考力、D 注意深さ・正確さ)
(採点基準)
自宅で仕事をするのが一般化してきているという問3の回答と、ワークライフバランスへの意識の変化を関連付けて、住まいの工夫について、間取りや設備・インテリアデザインの具体例を挙げて、自分の考えを示すことができている。
※仕事と生活の両方の視点がない、または住まいの工夫の記述が不十分の場合、また誤字脱字が3か所以上・読点がない・書きなぐったような雑な文字の場合は、減点の対象とする。

建築・まちづくり専攻/住居・インテリアデザイン専攻 【出題意図・解答例】

問題2
問1・問2
文章から敷地の条件を理解できるか、専門用語の説明が理解できるかの確認と、計算力。(A 文章理解力・計算力、C 建築への興味関心、D 注意深さ・正確さ)

問1 44.9 問2 85.8

問題3
文章から建物や街並みの特徴を読み取り、適切なイラストを選びとることができるか。(A 文章理解力、C 建築・地域のまちなみ等への興味関心)

1 A 2 C 3 G 4 H

言語聴覚学専攻 【出題意図・解答例】

問題1
問1
図や統計資料を根拠として、文章内容を正確に再構成できる力を評価する。具体的には、図1(睡眠時間の国際比較)および図2(睡眠時間別K6得点)のデータを正確に把握し、国名・数値・割合などを読み取る力を確認する。
① 米国 ② カナダ ③ 457 ④ 7
⑤ 8 ⑥ 6 ⑦ 7 ⑧ 52.2

問2
データの意味を解釈し、資料を根拠に自分の意見を形成し、文章として表現する力を問う。具体的には、図1・図2の結果をもとに、「睡眠時間とこころの健康(精神的健康)」の関係を自分なりに説明し、そこから導かれる健康維持の方策(生活習慣・社会的支援など)を考察させる。
(解答例)
図1から、日本の平均睡眠時間は男女ともに他国と比べて最も短いことがわかる。特に日本人女性は457分であり、アメリカやヨーロッパ諸国よりも1時間近く短い。一方、図2では、睡眠時間が短いほどK6の得点が高く、心理的ストレスが大きい傾向が示されている。特に、7時間以上8時間未満の睡眠時間が最も適切であり、それ以上またはそれ以下では、こころの健康状態が悪化しやすいといえる。
したがって、こころの健康を維持・向上させるためには、睡眠時間の確保が不可欠である。具体的には、長時間労働の是正や生活リズムの改善、就寝前のスマートフォン使用の制限など、社会的・個人的な取り組みが必要である。また、学校や職場で睡眠の重要性を啓発し、心身の休養をとりやすい環境づくりを進めることも効果的である。十分な睡眠をとることは、ストレスの軽減や感情の安定、集中力の維持にもつながり、こころの健康を支える基盤になると考えられる。(395文字)

(採点基準)
①心の健康を保つためには7時間以上8時間未満の睡眠が適切であることを記述しているか。
②それ以上またはそれ以下では心の健康を保てないことを記述しているか。

言語聴覚学専攻 【出題意図・解答例】

③睡眠時間を確保するための方策が具体的に示されているか。例：スマホをやりすぎない、労働時間の厳守など。
※日本語能力として、間違っただ送り仮名の使用および漢字の使用、話しことばの使用、ら抜き言葉の使用、文字数制限オーバー/文字数規定を下回る等については、減点の対象とする。

問題2

言語聴覚学専攻のアドミッション・ポリシーにあるように、専門領域を学ぶ意欲をもち、自己表現力、読解力、作文能力、論理的思考を身に付けていること、豊かなコミュニケーション能力を身に付けていることを入学者に求めており、その資質をどの程度有しているのかについて確かめることを狙いとしている。

- ①文中から状況を正しく読み取り、それが示す意味を自身で考察することができるか。
- ②普段から時事に興味・関心を持ち、世の中の課題を認識しているか。
- ③その課題についての解決策を自分なりに考え、提示することができるか。
- ④問題の意図を正しく把握し、他人に伝わる明瞭な文章で論理的に表現することができるか。

問1 最も月間読書冊数が多い年代：小学生
最も不読率が高い世代：高校生

問2

(採点基準)

- ・下記の4点の理由が矛盾なく記載できていること。
 - ①読書推進施策は書籍中心に行われてきたこと。
 - ②雑誌の読書推進は近年注目されるようになったこと。
 - ③「雑誌を読む」行為を「読書」とはみなしてこなかったこと。
 - ④低劣で取るに足らないものと位置づけてきたこと。
- ・すべての理由が記載できていない場合や誤字・脱字などは、減点の対象とする。

言語聴覚学専攻 【出題意図・解答例】

問3

(採点基準)

- ・「21世紀出生児縦断調査」の結果のみを記載すること。
- ・不読率の結果と読書推進政策の効果に言及していること。
- ・他の意見や結果を含む場合や誤字・脱字は、減点の対象とする。

問4

(採点基準)

- ・スマホ利用時間の拡大と読書時間の軽減を短絡的に結び付けず、読書する時間を確保している読書層の存在について、具体的な数字を引用して言及されていること。
- ・誤字・脱字は減点の対象とする。

問5

(採点基準)

- ・有効的で具体的な例をあげ、その例が実現可能な提案であること。
- ・有効的でない・具体的なでない・実現不可能な場合、字数が8割に満たない場合、誤字・脱字は減点の対象とする。

視覚科学専攻 【出題意図・解答例】

問1.

文章中の数値を適切に読み取り、求められた数値変換ができるか。

角膜：水晶体 = 2 : 1

問2.

文章中で与えられた統計データから、具体的な人数の割合を求めることができるか。

1260

問3.

文章中の記述から該当箇所を適切に読み取り、要点を記述することができるか。

- ・レンズ作用を持ち、外界からの光を大きく屈折させて眼内に導く。
- ・涙とともに異物や細菌の侵入を防ぐバリア機能をもつ。

問4～6

図(グラフ)から必要な数値を適切に読み取り、合計・割合などを求め、年度内・間の比較ができるか。

問4

$64.3/24.4=2.63\dots$ 答:2.6倍

問5

(A) $98.4+53.9=152.3$ 答:152.3万件
(B) $(152.3/12600)\times 100=1.20\dots$ 答:1.2%

問6

(A)〈日帰り手術〉
総白内障手術件数 $109.8+55.9=165.7$
日帰り手術件数: $(109.8/165.7)\times 100=66.26\dots$ 答66.3%
〈入院手術〉
総白内障手術件数 $109.8+55.9=165.7$
入院手術件数: $(55.9/165.7)\times 100=33.73\dots$ 答33.7%

視覚科学専攻 【出題意図・解答例】

(B)〈日帰り手術〉

$12.1\times 0.663=8.02\dots$ 答:8万件

〈入院手術〉

$12.1\times 0.337=4.07\dots$ 答:4.1万件

問7.

提示された問題に対して、その背景を多面的に考察し、因果関係をふまえて論理的かつ具体的に説明できるか。

(解答例)

開発途上国では、医療体制や経済的基盤が十分でないため、白内障手術を受けられず失明に至る人が多いと推察される。手術設備を備えた病院や白内障手術を行える眼科医の不足など、医療設備や人員の限られた状況が大きな要因と考えられる。加えて、手術費用を負担できない経済的理由や、医療機関へ通院しにくい地理的要因も重なり、結果として白内障による失明者の割合が高くなっていると考えられる。

(採点基準)

- ① 開発途上国における医療体制・経済状況・地理的状況等を挙げているか
- ② ①の要因と失明増加の関係を説明しているか
- ③ 論理的かつ一貫した構成で記述できているか

問8.

提示された問題に対して、社会的背景とその対応を関連づけ、具体的なデータに基づき現象の因果関係について論理的に説明できるか。

(解答例)

2020年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、患者の受診控えが広がり、医療機関全体の受診者数・手術件数が減少したと推測される。特に入院を伴う手術では、感染拡大防止のために予定手術の延期や制限が行われたことにより、入院手術件数が大きく減少したと考えられる。一方で、日帰り手術は入院を必要としないため、手術件数の減少は比較的小さかったと考えられる。

(採点基準)

- ① 新型コロナウイルス感染症の流行という社会的背景を示しているか
- ② 手術形態による影響の違いとその要因を推察し述べているか
- ③ 論理的かつ一貫した構成で記述できているか

視覚科学専攻 【出題意図・解答例】

問9.

(A)図(グラフ)から必要な数値を正確に読み取り、指定条件に基づいて計算できるか。

60代以上男性の総白内障手術件数 $12.1+34.5+18.4+1.3=66.3$ 万件

60代以上女性の総白内障手術件数 $15.9+44.5+25.1+2.6=88.1$ 万件

$88.1/66.3=1.328\dots$

答:男性:女性=1:1.33

(B)与えられた統計データをもとに数値を適切に読み取り、差が生じる要因を論理的に考察することができるか。

(解答例)

2022年時点で、60歳以上の人口は女性が男性より多く、人口性比は女性100人に対して男性80人(男性:女性=1:1.25)である。一方、白内障手術件数の性比は(男性:女性=1:1.33)であり、人口性比以上に女性の手術件数が多い。この差は、女性が男性より白内障を発症しやすい可能性に加え、平均寿命が長いことから、老化を主因とする白内障の手術対象者が女性に多くなることなどが要因として考えられる。

(採点基準)

- ① 人口性比(男性:女性=1:1.25)と手術件数性比(男性:女性=1:1.33)を正確に比較できているか
- ② 人口性比と手術件数性比の差が生じる要因を合理的に推察しているか
- ③ 論理的かつ一貫した構成で記述できているか

理学療法学専攻 【出題意図・解答例】

問題1

理学療法学に関連する身体の動きに関する基本的知識を問う問題である(アドミッション・ポリシー①②に関連)。

エ

問題2

理学療法学に関連する人体の構造や機能に関する基本的知識を問う問題である(アドミッション・ポリシー①②に関連)。

問1 A ア B ウ C オ

問2 ウ

問題3

提示された図を正確に読み取り、生体反応(運動すると心拍数は上がる)への理解をもとに論理的に説明する力を問う問題である(アドミッション・ポリシー①②、受験生へのアドバイス①に関連)。

問1 Aさん ① Bさん ③ Cさん ②

問2

(採点基準)

- ・心拍数の出現頻度に2つの山がある(二峰性)ことが明記されている。
- ・安静により、低心拍領域付近に山があることが記載されている。
- ・激しい運動により、高心拍領域があることが記載されている。
- ・指定語句(低心拍領域、高心拍領域、激しい運動、安静)がすべて使用されている。
- ・誤字・脱字がなく、簡潔に説明されている。

理学療法学専攻 【出題意図・解答例】

問題4

予防に関するデータを正確に読み取り、得られた情報を論理的に記述する力を問う問題である(アドミッション・ポリシー①②、受験生へのアドバイス①に関連)。

問1

(採点基準)

- ・女性が男性よりも平均寿命と健康寿命の差が短縮していることが示されている。
- ・図の数値を根拠に男性、女性の短縮幅の差が比較されている。
- ・誤字・脱字がなく、簡潔に説明されている。

問2 ウ

臨床検査学専攻 【出題意図・解答例】

I.

「生物基礎」に関する教科書レベルの基礎知識を問う。「人体の構造と機能」についての理解を評価している。臨床検査学専攻では、主に高校の「生物」を基盤とした生体の生理機能を学ぶ必要がある。

問1 4 問2 4 問3 5

II.

「生物基礎」に関する教科書レベルの基礎知識を問う。「人体の構造と機能」についての理解を評価している。臨床検査学専攻では、主に高校の「生物」を基盤とした生体の生理機能を学ぶ必要がある。

問1 1億3,478万 問2 1.42%

III.

「化学基礎」に関する教科書レベルの基礎知識を問う。「溶液の濃度」についての理解を評価している。臨床検査学専攻では、主に高校の「化学」を基盤とした臨床検査における検査値や生体情報を学ぶ必要がある。

問1 4 問2 120

IV.

「化学基礎」に関する教科書レベルの基礎知識を問う。「酸と塩基の反応」についての理解を評価している。臨床検査学専攻では、主に高校の「化学」を基盤とした臨床検査における検査値や生体情報を学ぶ必要がある。

問1 0.07mol/L 問2 1

臨床検査学専攻 【出題意図・解答例】

V.
臨床検査学専攻のアドミッション・ポリシーを踏まえ、メディア情報などにおける社会問題、健康科学分野や医療分野の時事問題に関心を持ち、医療分野で社会貢献できる意欲を評価している。臨床検査技師を目指す人物として、検査結果の正常値や異常値、また、画像診断などにおける身体の構造や特徴などについて興味を持ち、得られたデータを客観的、論理的に判断し、その成因を理論的に考察する力が望まれる。

問1 3
(解答例)
2030年は75歳以上が増加傾向であり、0～14歳の人口は減少傾向であると予想される。少子高齢化により人口ピラミッドの下部が細く、上部が膨らむ特徴的な人口ピラミッドはつば型であるため③に該当する。(98文字)
キーワード:75歳以上の増加、0～14歳の人口減少、少子高齢化、つば型など。
(採点基準)
・図表のデータを正しく読み取ることができているか。

問2 1.56倍

問3
(解答例)
表1より、国民医療費は2002年の30.9兆円から2022年に46.6兆円へと年々増加している。特に、65歳以上の医療費は65歳未満よりも高く、上昇率も1.85倍と大きく増加している。図3では、高齢化率が1950年の4.9%から2020年に28.6%へと大幅に上昇している。また、65歳以上を15～64歳で支える割合は12.1人から2.1人に減少している。
このような状況から、今後は、医療・介護などの社会保障制度が限界を招く恐れが考えられる。さらに、医療費が増加する一方で、労働人口の減少により、医療・介護の人材不足やサービスの質の確保が困難になることが懸念される。(281文字)
キーワード:国民医療費、高齢化率、65歳以上を15～64歳で支える割合、社会保障制度、医療費の増加、労働人口の減少、人手不足、人材不足、質の確保など

臨床検査学専攻 【出題意図・解答例】

(採点基準)
・問題文の内容を踏まえているか。
・図表のデータを正しく読み取ることができているか。
・データを分析し、その要因の特徴が挙げられているか。
・データを分析し、問題点が挙げられているか。
・具体性に欠けていないか。

スポーツ・健康科学専攻 【出題意図・解答例】

問題1
本問題はスポーツ・健康科学分野を学ぶ上で必要と考えられる社会情勢に関するデータを正しく読み取ることができるかを確かめるねらいがある。

問1 1950年 411万人 2023年 3,623万人

問2 1950年 4.9% 2023年 29.1%

問題2
本問題はスポーツ・健康科学分野を学ぶ上で必要と考えられる社会情勢に関するデータを正しく読み取ることができ、そのデータが示す意味を理解・考察することができるかを確かめるねらいがある。

問1 国(A) フランス 国(B) 日本 4.8倍

問2
(解答例)
日本は、欧米諸国と比べて日本の倍加年数が最短であることから、高齢化の速度が最も早いことが示唆される。日本の高齢化率は、2000年頃にトップとなり、2020年以降の推計においても少なくとも2060年まで上がり続けている。これらのことから、日本の高齢化率と高齢化の速度は、世界が経験したことのないものである。
(採点基準)
1)2020年前後それぞれにおける日本の高齢化率について言及があるか。
2)日本の高齢化速度が速いことについて言及があるか。
3)基本的な文法の誤りや脱字がないか。

スポーツ・健康科学専攻 【出題意図・解答例】

問題3
本問題はスポーツ・健康科学分野を学ぶ上で必要と考えられる健康と身体活動や運動に関する課題について文章中から正しく理解できるか、その課題について解決策を自ら考える思考力を有しているかを確かめるねらいがある。

問1 ⑤

問2
(解答例)
近年、生活環境や仕事環境の機械化・自動化に伴い、日常生活や勤務、通勤などにおいて身体を動かす機会が少なくなった。加えて、外出せずに自宅でくつろぎながらインターネットで買い物ができたり、仕事のデスクワークなどが増えたことにより座位時間が長くなったと考えられる。
(採点基準)

- 1)問題文中の内容を踏まえて、理由を言及しているか。
- 2)基本的な文法の誤りや脱字がないか。

問3
(解答例)
日本人は座った状態や横になって休んだりする座位行動が諸外国に比べて長時間に及ぶことが示されている。長時間の座位行動への対策として、スポーツ活動を取り入れることや日常生活での移動に歩くことを増やすなどの意識改革や、健康と身体活動に関する教育を充実させることなどがあげられる。また、企業におけるデスクワーク中に座位を中断して体を軽く動かす時間を設けることや立ったまま仕事ができるスタンディングデスクを導入するなど就労環境の整備があげられる。これらの対策により、座位時間が短縮して身体活動量が増えることで、循環器病などの疾患予防だけでなく、総合的な幸福感の向上などの健康増進の効果が期待できる。
(採点基準)

- 1)対策案が実現可能かつ具体性に欠けていないか。
- 2)問題文中の内容を踏まえた、健康面で期待できる効果となっているか。
- 3)基本的な文法の誤りや脱字がないか。

救急救命学専攻 【出題意図・解答例】

問題Ⅰ

本設問は、救急救命士の社会的な現状を「活躍の場」として問うものであるが、本専攻のアドミッション・ポリシーに記載されているとおり、活躍の場は、消防、自衛隊、海上保安庁、警察、医療機関と幅広く、これらで活躍したいという強い意欲を求めている。そのため、これらの幅広い知識を問う設問とした。

(採点のポイント)

- ①「活躍の場」の設問に合致した答えとなっているか。
- ②現在考えられる救急救命士の活躍の場を複数提示しているか。
- ③文章の構成

問題Ⅱ

本設問は、本専攻を志すものとして必要となる救急医療に関する国内の社会情勢に関する資料解析の問題である。グラフの読み取りからアドミッション・ポリシーに記載されている論理的思考力を問う設問とした。

問1 3 問2 3

問題Ⅲ

本設問は、アドミッション・ポリシーに記載されている救急医療に関する知識や社会や健康に関する知識として、救急救命士法の規定に関する問題及び一般市民としての心肺蘇生法に関する知識を問うものとした。

問1 2 問2 3 問3 3

健康栄養学科 【出題意図・解答例】

設問Ⅰ～Ⅳは、化学基礎として、物質の構成、物質の変化に関する理解の程度、計算力を確かめることを狙いとした。

Ⅰ

- (1) a ② b ⑤ c ⑥ d ③
 (2) a ③ b ⑤ c ① d ②

Ⅱ

	化学式	結晶の種類
a	CO ₂	イ
b	CaO	ア
c	Al	エ
d	SiO ₂	ウ
e	NaCl	ア
f	I ₂	イ
g	Fe	エ

Ⅲ

- (1) $2\text{NaHCO}_3 \rightarrow \text{Na}_2\text{CO}_3 + \text{H}_2\text{O} + \text{CO}_2$
 (2) 224mL (3) ドライアイス(または個体炭酸)

Ⅳ

- a 塩基性 b 中性 c 塩基性 d 酸性

健康栄養学科 【出題意図・解答例】

設問Ⅴは、「共食」に関する日本の課題について取り上げ、関連する図表からデータを客観的に読み取る力、複数情報の全体を捉え論理的に記述する力、さらには各要因の特徴や傾向を把握したうえで、現状の課題に対する提案できる説得力、構想力、文章力を確かめることを狙いとした。

Ⅴ

- (1) 10.5ポイント (2) 16.4%

(3)

(評価基準)

結果を比較し、正しく記述することができるか。

- ・2つの年代の結果、地域の人と友人知人に言及し、正しく記述していること。
- ・適切な文字数の範囲にない、適切でない表現、誤字脱字は減点の対象とする。

(4)

(評価基準)

複数情報の全体を捉え、記述することができるか。

- ・内容を正しくつかみ、記述していること。
- ・食品群の具体例、共食の頻度、男女の違いについて言及できていること。
- ・適切な文字数の範囲にない、適切でない表現、誤字脱字は減点の対象とする。

(5)

(評価基準)

総合的な理解と文章作成能力

- ・取り組みを考えた理由の妥当性
- ・提案内容の妥当性
- ・実施者や団体など主体の記述、対象者、場に言及できていること。
- ・利点と欠点に言及できていること。
- ・図1、2、3の結果を踏まえて記述されていること。
- ・適切な文字数の範囲にない、適切でない表現、誤字脱字は減点の対象とする。

食創造科学科 【出題意図・解答例】

受験者が食創造科学科において学ぶ上で必要と考えられる以下の素質や力をどの程度有しているかについて確かめることを狙いとしている。

Ⅰ

- ・文章を正しく読み、そこから問いに対して適当な単語や文章を抽出することができるか。

問1-1 ワルツ(を弾いてほしい)

問1-2 リウマチ性の痛み

問1-3 B

問1-4 リーズィ・エ・ピースィ

問1-5 パリッとした食感に上げるため

問1-6 本場のパルミジャーノ・レッジャーノチーズを削ってみる

Ⅱ

- ・データを正しく読み取り、そのデータが示す意味を考察することができるか。

問2-1

① 84 ② 137 ③ 73 ④ 158

⑤ 減少 ⑥ 増加 ⑦ 53 ⑧ 85

⑨ 減少 ⑩ 32

問2-2

(例)

婚姻数が減少したため出生数が減少した

Ⅲ

- ・普段から身の回りの食と健康に関心を払い、地域の食と健康の課題を認識しているか。
- ・その課題についての解決策を自分なりに考え、提示することができるか。
- ・問題の意図を正しく把握し、他人に伝わる明瞭な文章で論理的に表現することができるか。

問3-1 動物性たんぱく質や脂質の増加等

食創造科学科 【出題意図・解答例】

問3-2

(解答例)

栄養・食生活は、多くの生活習慣病との関連が深く、また日々の生活の中でQOLとの関連も深い。そこで国民の健康及びQOLの向上を図るために、身体的、精神的、社会的に良好な食生活の実現を図ることを目標とする。すなわち、健康・栄養状態の是正を図るとともに、国民すべてが良好な食生活を実践できる力を十分に育み、発揮できるような平等な機会と資源を確保する。健康及びQOLの向上のためには、1)「栄養状態」をより良くするための「適正な栄養素(食物)摂取」、2)「適正な栄養素(食物)摂取のための[行動変容]」、3)個人の行動変容を支援するための「環境づくり」が必要である。(277字)

(採点基準)

- ・対策案や問題点が記載されている
- ・内容が具体的である
- ・内容が実現可能である
- ・文字数が200字以上である

社会福祉専攻/子ども福祉専攻 【出題意図・解答例】

問題1

本問題は、福祉貢献学部で学ぶ上で必要と考えられる、家族形態の変化から社会福祉上の課題について考察する力をどの程度有しているかを確かめることを狙いとしている。具体的には以下の点をポイントとする。

- ①図表を正しく読み取り、図表が示す意味を考察することができるか。
- ②人の生活に直面する生活問題や社会の動向に関心を持ち、考える習慣を身に付けているか。
- ③問題の意図を正しく把握し、他者に伝わる明瞭な文章で表現することができるか。

設問1

ア 三世代 イ 単独世帯 ウ 核家族世帯
エ 三世代世帯 オ 60 カ 2.21

設問2

(採点基準)

- ・現実的な問題を示しているか
- ・具体性に欠けていないか
- ・文字数の少ないもの、誤字脱字等については、減点の対象とする

問題2

本問題は、福祉貢献学部で学ぶ上で必要と考えられる、特別支援学校卒業生の進路状況から、現状や今後の生活課題を読み取り、想像する力をどの程度有しているかを確かめることを狙いとしている。具体的には以下の点をポイントとする。

- ①図表を正しく読み取り、図表が示す意味を考察することができるか。
- ②人の生活に直面する生活問題や社会の動向に関心を持ち、解決策を自分なりに考え、提示することができるか。
- ③問題の意図を正しく把握し、他者に伝わる明瞭な文章で論理的に表現することができるか。

設問1

(採点基準)

- ・表(根拠)を正しく読み取れているか
- ・論理的な展開をしているか

社会福祉専攻/子ども福祉専攻 【出題意図・解答例】

設問2

[特別支援学校高等部]

(採点基準)

- ・本文の内容を踏まえているか
- ・取り組み内容に社会的な視点が示されているか
- ・具体性に欠けていないか
- ・文字数の少ないもの、誤字脱字等については、減点の対象とする

[進学先]

(採点基準)

- ・本文の内容を踏まえているか
- ・取り組み内容に社会的な視点が示されているか
- ・具体性に欠けていないか
- ・文字数の少ないもの、誤字脱字等については、減点の対象とする

ランゲージ専攻 【出題意図・解答例】

【問1】本設問では、交流文化学部交流文化学科ランゲージ専攻のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、本専攻で学修する上で必要であると考えられる以下の点について、受験生がどの程度の力を有しているのかについて確かめることを狙いとしている。

交流文化学部ランゲージ専攻の学修において必要であると考えられる点	関連するアドミッション・ポリシー
① 提示された文章が示す内容を正確に把握し、自分の言葉で要約することのできる日本語力の基礎を有しているか	① ②(2)(3)
② 異なる文化に関連する事柄を、自分の身近な事柄に関連づけて理解し、例を提示しながら説明することができるか	① ②(1)(2)(3)
③ 異なる文化に関連する問題に関心を払い、質問の意図を正しく理解し、的確に解答することができるか	① ②(1)(2)(3)

(採点基準)

- ①「ハイ・コンテクスト社会」の特徴を自分の言葉でまとめているか
 - ②「ロー・コンテクスト社会」の特徴を自分の言葉でまとめているか
 - ③それぞれのコンテクストが、自分の生活のどのような場面に表れているかを、例を出して明記しているか
- ※①②については、出題文章をそのまま写したものは減点の対象とする。

ランゲージ専攻 【出題意図・解答例】

【問2】本設問では、交流文化学部交流文化学科ランゲージ専攻のアドミッション・ポリシーを踏まえ、本専攻で学修する上で必要であると考えられる以下の点について、受験生がどの程度の力を有しているのかについて確かめることを狙いとしている。

交流文化学部ランゲージ専攻の学修において必要であると考えられる点	関連するアドミッション・ポリシー
① 問題の意図を正しく理解し、データを比較した上で、根拠となる内容を提示しながら、自分の言葉で表現することができるか	① ②(1)(3)
② 世界の国々と日本の関係に関心を払い、異なる言語や文化間のコミュニケーションに関して、幅広い視点を持って考察することができるか	① ②(1)(2)(3)
③ 提示された異文化コミュニケーションに関連する課題について自分なりに考え、アイデアを具体的な例とともに提示することができるか	① ②(1)(2)(3)

(採点基準)

- ① 米国・韓国・中国の各国ごとの傾向が明記されているか
- ② 上記3カ国の違いが明記されているか
- ③ 訪日観光客を増加させるために力を入れると良いと思うことを、例を出して明記しているか

観光専攻 【出題意図・解答例】

問1

本専攻のアドミッション・ポリシーに基づき、現代の観光を広い視野で捉え、観光に関する大規模イベントを契機に、観光と地域社会の関係を長期的な視点から考察する力を評価する問いである。

記述問題のキーワードと採点基準
(キーワード)

- 万博、観光客誘致、地域活性化、跡地活用、長期的な経済効果、持続可能な観光、レガシー、地域社会との共生 (採点基準)
- ・万博の課題(短期性・持続性・跡地活用など)が具体的に示されているか
- ・万博の可能性(期待されること)が具体的に示されているか
- ・自分の提案・考えが明確に示されているか

問2

本専攻のアドミッション・ポリシーに基づき、現代の観光を多角的に捉え、社会的・経済的影響を理解したうえで、課題解決に資する実践的な思考力・提案力を評価する問いである。

記述問題のキーワードと採点基準
(キーワード)

- インサステナブル観光、地域活性化、オーバーツーリズム、文化の違い、価値観、サステナブルツーリズム、地域住民との共生、多言語対応、観光資源の分散化 (採点基準)
- ・観光によって生じている課題が具体的に示されているか
- ・具体的に工夫(解決策)が提案されているか
- ・取り組みなどの具体例を交えて説明されているか

ビジネス学科 【出題意図・解答例】

問1

時事的なトピックスについての新聞記事を読み、設問に解答する形式である。試験を通して記事の内容を理解する読解力や、記事の内容からトピックスについての問題点や課題点は何であるかを見いだす力を判定することを狙いとしている。

- (1) エ (2) イ (3) ア (4) イ
(5) エ (6) ア ウ エ

問2

図を読み取り設問に解答する形式である。図から読み取れる内容について長期的なトレンドを分析する力、的確に文章を構成する力を判定することを狙いとしている(アドミッション・ポリシー③)。

- (1) ① × ② ○ ③ × ④ ○ ⑤ ×

(2) 1.5

(3)

(解答例)

男性、女性ともに正社員・正職員の賃金が正社員・正職員以外の賃金よりも高くなっている。また、ピーク時の賃金は、正社員・正職員、正社員・正職員以外の賃金において、男性の賃金が女性の賃金よりも高くなっている。さらに、正社員・正職員の賃金のピーク時の年齢は、男性・女性ともに55～59歳になっているが、正社員・正職員の以外の賃金のピーク時の年齢には性別で違いがあり、男性は60～64歳、女性は30～34歳になっている。

以下の3点を採点上の主なポイントとする。

- 1) 男性、女性ともに正社員・正職員の賃金が正社員・正職員以外の賃金よりも高い
- 2) ピーク時の賃金は、正社員・正職員、正社員・正職員以外の賃金において、男性の賃金が女性の賃金よりも高くなっている。
- 3) 正社員・正職員の場合には、男性、女性ともに55～59歳が賃金のピークであるが、正社員・正職員の以外の賃金のピークには性別で違いがある。

グローバル・コミュニケーション学科 【出題意図・解答例】

問1

新聞記事の内容を正確に理解し、過不足なく文章にまとめることができるか確認することを意図している。

(解答例)

能登半島出身のサム田淵さんは、大学卒業後に渡米し、官民が協力して公共事業を進める手法のPPPを専門として米国の連邦政府や州政府で長年働いた経験を有する。帰国後も大学や国連で官民共同開発や地域再生に関わってきた。震災と豪雨被害からの復興が進まない故郷の状況を目の当たりにし、在米中に培った「Do the right thing」という精神を胸に支援を続けている。これまでに被災地へバイオトイレを提供するほか、能登の現状を外国人にも伝え、海外から被災地への支援金を募った。また、震災後も能登に残り活動する外国人作家による伝統工芸作品を紹介している。今後も日米での経歴を活かして復興のアイデアを出し、活動を広げたいと考えている。(295字)

(採点基準)

- ・新聞記事の内容をどれほど正確に要約できているか。
- ・文字数の少ないものや、誤字脱字のあるものは減点の対象とする。

問2

下線部が示唆する内容を正確に理解し、簡潔に説明することができるか確認することを意図している。

(解答例)

能登半島地震からの復興が進まない中、豪雨により仮設住宅が浸水した被災地に対し、政府は迅速な支援を十分に行わなかった。(58字)

(採点基準)

- ・下線部が示唆する内容を正しく説明できているか。

問3

グローバル・コミュニケーション学部のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、国内外のさまざまな課題に関心を持ち、本学部入学後の学びや将来的な「地球市民」としての行動について、自らの考えを具体的かつ論理的な文章で説明できるか確認することを意図している。また、論述を求められているすべての内容およびキーワードの提示方法について正確に理解した上で解答できるか確認することを意図している。

(解答例)

キーワード:(例)孤食、子ども食堂、居場所、相互理解

入学後は、主体的に授業に臨むほか、学生や教員と積極的に関わり、語学力やコミュニケーション能力を磨くとともに、国内外の課題についての知識を深め、それらの解決に貢献できる地球市民になりたい。私は、一人で食事をとる孤食が増えていることに関心をもっている。親が働いている子どもや一人暮らしの高齢者が増加する現代社会において、食事を通したコミュニケーションの重要性が高まっているといえる。そこで、在学中に子ども食堂等の運営活動に参加したい。

また、愛知県には多くの外国人が暮らしているが、言語や文化の壁によって、地域社会とのつながりが十分にもてない人もいるだろう。将来的には、外国人を含む誰もが気軽に集い、一緒に食事をすることによって地域の人々がコミュニケーションを取れる居場所を構築することを目指す。小さな積み重ねが文化や価値観に対する相互理解にもつながるはずだ。

サム田淵さんは、日米での経験をもとにユニークな視点で能登半島の復興支援を続けており、まさに地球市民だといえる。私は、自分でよく考え正しいことをするという信念を参考に、情報に振り回されず、さまざまな人と協力して居場所づくりに貢献したい。(494字)

(採点基準)

- ・グローバル・コミュニケーション学部での学びや、関心のある国内外の課題、課題の解決に向けた行動について、新聞記事の内容に言及しながら、適切なキーワードを用い、自らの考えを具体的に論述できているか。
- ・文字数の少ないもの、誤字脱字、不適切な原稿用紙の使い方等については減点の対象とする。

公募制推薦入試

国語・英語・数学・小論文

2027年度入試 選抜方法・配点

選抜方法	試験時間	配点	満点
調査書[学習成績の状況]	—	25点	230点
自己推薦書	—	5点	
国語(現代の国語、言語文化[古文・漢文は含まない]) [全問マーク式]	60分	各100点	
英語(英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ) [全問マーク式]	60分		
数学(数学Ⅰ、数学A) [全問マーク式]	60分		
小論文	60分		

試験問題は全学科・専攻共通です。

*数学・情報教員養成専攻の「数学」の出題範囲は表のとおりです。

出願資格は、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を履修している者となります。

問題 次の文章と図を読み、あとの問いに答えよ。

電子商取引（Electronic Commerce：以下EC）とは、インターネットを利用した商品の売買やサービス提供の全般を指す。1990年代半ばからインターネットの普及が始まり、1997年には日本初のECモールが開設、2000年代後半のiPhone発売などの影響から、ECは日常生活に浸透し大きなマーケットを獲得している。加えて、2020年頃から始まった新型コロナウイルス感染症による外出自粛によって、さらにEC市場は拡大した。

ECにおける配達業務のことを、EC物流と呼ぶ。EC物流の特徴は、個人宛の小型の荷物が多く配送先が多岐に渡ることが挙げられる。また、ECサイトごとに配送時間、料金などが異なり、配達業務では複雑な個別対応が求められる。

図1より宅配便の取扱個数が年々増加している一方で、配達を担う運転従事者数は年々減少していることが読み取れる。このような状況から、運転従事者の負担増加による長時間労働がしばしば問題になっていたが、労働環境の改善のために法改正が行われることになった。具体的には、運転従事者にも「年間時間外労働時間に上限を設ける」ことを含むもので、2024年4月に施行された。しかし、元々労働力不足だったところに、労働時間の制限が課されることから、物流において輸送能力や輸送スピードを維持できなくなる可能性が高い。従って、「物流の2024年問題」として業務の効率化、利用者の理解など対策が検討されている。解決が求められている問題の1つに宅配便の再配達が増え続けている。

図2は、「再配達となった理由」について、2018年と2023年の比較を行った結果である。図3は、「今後も希望する宅配便の受け取り方」の男女比較を行った結果である。図4に「置き配ボックスを設置しない理由」を示した。また、図5は「置き配を利用しない理由」、図6は「置き配利用時に経験したトラブル」を示したものである。

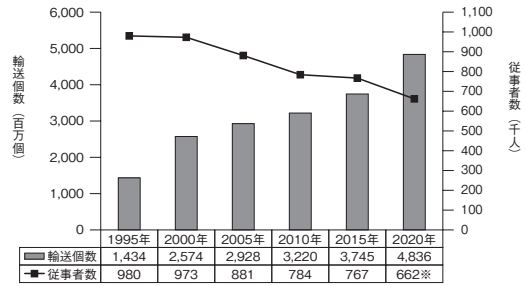


図1 宅配便輸送個数及び道路貨物運送業の運転従事者数の推移（※は予測値）

（出典：国土交通省『令和4年度宅配便等取扱個数の調査及び集計方法』及び公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会『ロジスティクスコンセプト2030～デジタルコネクで目指す次の産業と社会～（2020）』を一部改変）

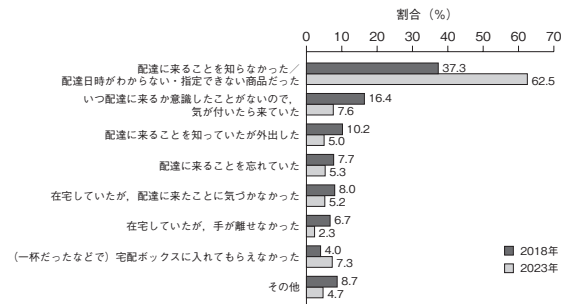


図2 再配達となった理由（複数回答）

（出典：SOMPOインスティテュート・プラス『物流の2024年問題と再配達削減への挑戦（2023）』を一部改変）

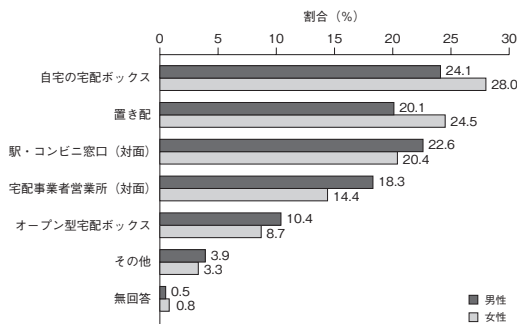


図3 今後も希望する宅配便の受け取り方（複数回答）

（出典：国土交通省『物流に対する消費者意識に関するアンケート（2022）』を一部改変）

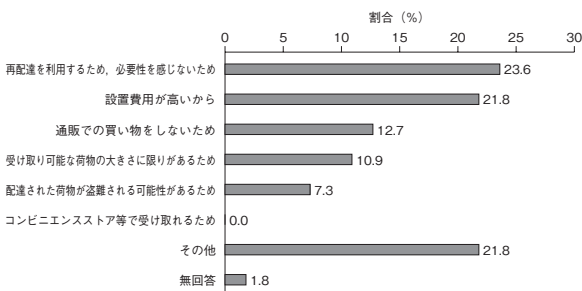


図4 宅配ボックスを設置しない理由

（出典：足立区『令和3年度第2回区政モニターアンケート調査報告書「宅配ボックス及びオープン型宅配ロッカーについて」』を一部改変）

※四捨五入の関係上、表示された値を合計しても100%にならない。

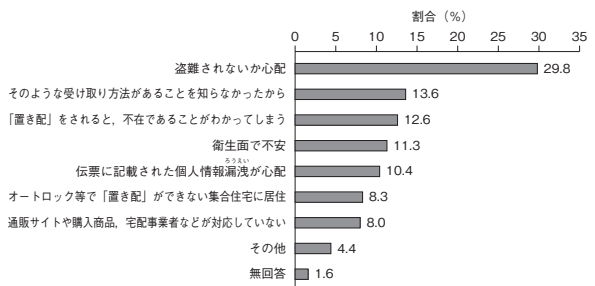


図5 置き配を利用しない理由（複数回答）

（出典：国土交通省『物流に対する消費者意識に関するアンケート（2022）』を一部改変）

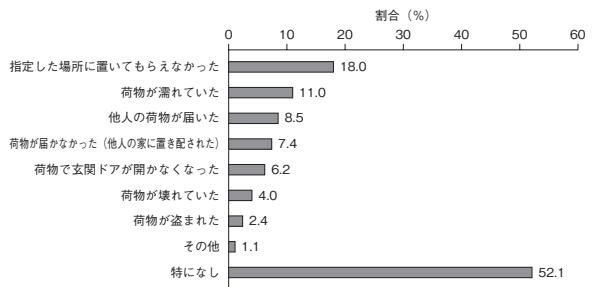


図6 置き配利用時に経験したトラブル（複数回答）

（出典：株式会社ナスタ『2022年「置き配」利用率が6割を突破、19年比で2.3倍に増加～宅配ボックス設置率39.2%。戸建て住宅・アパートへの普及が課題～』を一部改変）

問1 図1と図2について述べた以下の文章について、()内にあてはまる数値を答えよ。①は小数第三位を四捨五入し、小数第二位までの数で、②は小数第一位までの数で答えよ。

・2020年に予測された道路貨物運送業の運転従事者数は、1995年の運転従事者数の(①)倍になっている。

・「配達に来ることを知らなかった/配達日時がわからない・指定できない商品だった」という回答は2018年よりも2023年の方が(②)ポイント多い。(ポイントとは割合の差を表す)

問2 図5と図6をもとに、置き配を利用しない理由と、置き配利用時に経験したトラブル、それぞれの特徴を200字以内で述べよ。

問3 EC市場の拡大などの影響で宅配便の取扱個数は増加しているが、配達する人員は減少の一途をたどっている。このような中で再配達が発生すると、物流が停滞し、配達員の負担になるため、できるだけ減らす必要がある。全ての図を参考に、再配達を減らすためには、どのような対策が有効と考えるか、400字以内で述べよ。行政機関、民間企業、各家庭など、どのような立場での対策でも構わない。

小論文【問題】(2日目)

問題 次の文章と図を読み、あとの問いに答えよ。

我が国では2019年4月より「学校教育法等の一部を改正する法律」等関係法令が施行され、教科書の内容を電磁的に記録した学習者用デジタル教科書(以下、デジタル教科書)が制度化された。これにより学校現場では、従来の紙の教科書を主たる教材として使用しながら、必要に応じてデジタル教科書を併用できるようになった。2021年には義務教育段階における一人一台端末の配備が完了し、2024年からはデジタル教科書の段階的導入が開始され、まずは「英語」から、続けて「算数・数学」と、デジタル教科書の利用を拡大する方針で検討が進められている。

実際、読売新聞が2024年に全国の小学校・中学校の校長188名を対象に実施したアンケートの結果(回答者162名)によれば、デジタル教科書の今後のあり方について、紙の教科書のみ使用するべきという回答は0.6%とごく少数であった。しかし、紙の教科書を廃止しデジタル教科書のみを使用すべきという回答も4.3%にとどまり、95.1%が、デジタル教科書と紙の教科書を併用することを望んでいたという(読売新聞オンライン 2025年1月16日付)。このように、文部科学省がデジタル教科書の使用拡大を目指す一方で、学校現場では紙の教科書を支持する声も根強い現状が垣間見える。これらの状況を踏まえると、今一度、デジタル教科書の長所と短所を見極め、デジタル教科書の今後の運用方針を合理的に検討する必要があるだろう。

図1～5は、国からデジタル教科書が配布された小学校、中学校または特別支援学校に属する児童生徒および教師を対象に実施された、デジタル教科書の効果・影響の把握のための大規模アンケート調査(2024年度)の結果の一部である。図1は、2022年度から2024年度までの、小学校および中学校の教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度の経年変化を示している。図2は、2024年度の小学3～6年生(中高学年)および中学生の、デジタル教科書における各機能の使用頻度を示している(なお図2では、「デジタル教科書を使わない」児童生徒を除いている)。図3は個別学習について、図4は一斉学習と協働学習について、小学校および中学校の教師を対象とし、デジタル教科書の場面別の使用感を紙の教科書と比較しながら聞き取った結果である。図5は、小学校および中学校の教師を対象として、デジタル教科書を使用する際に感じられる課題を聞き取った結果である。

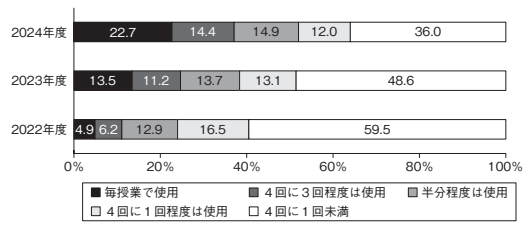


図1 教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度の経年変化

(出典：文部科学省「令和6年度 学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業 成果報告書(デジタル教科書の効果・影響の把握に資する大規模アンケート調査等)」を一部改変)
注) 四捨五入の都合上、図中の値を合計しても100にならない場合がある。



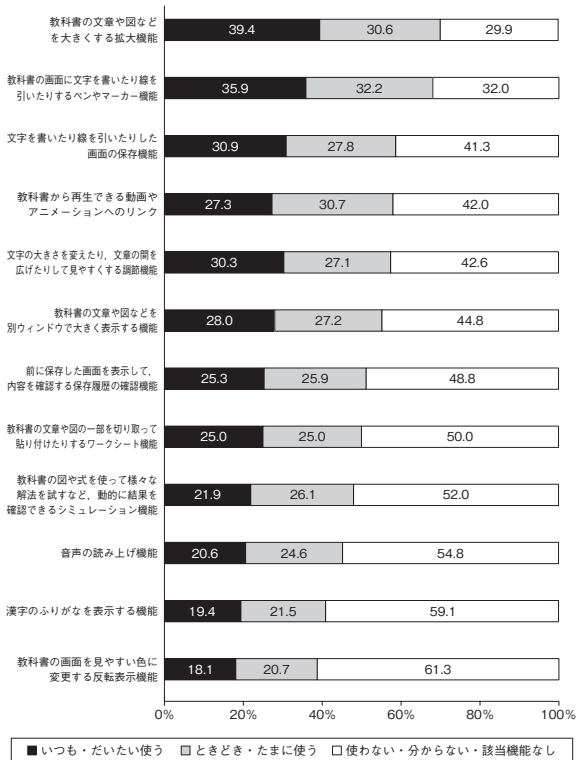


図2 小学生(中高学年)および中学生のデジタル教科書における各機能の使用頻度

(出典: 文部科学省「令和6年度 学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業 成果報告書(デジタル教科書の効果・影響の把握に資する大規模アンケート調査等)」より作成)
注) 四捨五入の都合上、図中の値を合計しても100にならない場合がある。

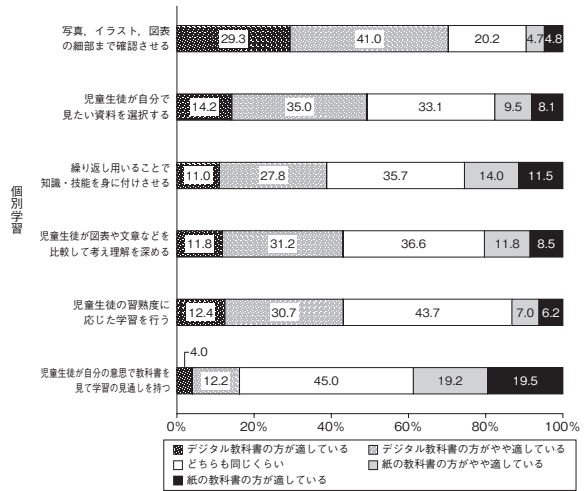


図3 個別学習におけるデジタル教科書および紙の教科書の場面別の使用感

(出典: 文部科学省「令和6年度 学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業 成果報告書(デジタル教科書の効果・影響の把握に資する大規模アンケート調査等)」より作成)
注) 四捨五入の都合上、図中の値を合計しても100にならない場合がある。

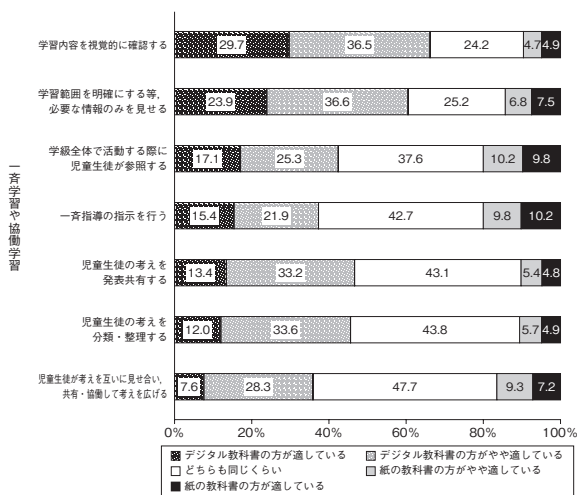


図4 一斉学習や協働学習におけるデジタル教科書および紙の教科書の場面別の使用感

(出典: 文部科学省「令和6年度 学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業 成果報告書(デジタル教科書の効果・影響の把握に資する大規模アンケート調査等)」より作成)
注) 四捨五入の都合上、図中の値を合計しても100にならない場合がある。

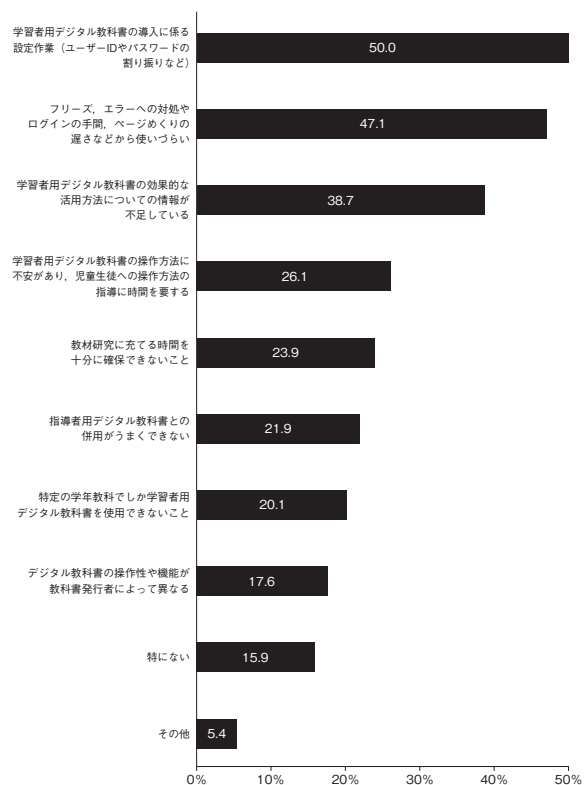


図5 デジタル教科書を使用する際に教師が感じる課題(複数回答)

(出典: 文部科学省「令和6年度 学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業 成果報告書(デジタル教科書の効果・影響の把握に資する大規模アンケート調査等)」を一部改変)

問1 図1および図3について述べた以下の文章について、() 内にあてはまる数値を答えよ。①は小数第一位までの数で、②は小数第二位を四捨五入し、小数第一位までの数で答えよ。

・2024年度にデジタル教科書を「毎授業で使用」と回答した教師の割合は、2022年度に「毎授業で使用」と回答した教師の割合よりも(①) ポイント高い(ポイントとは割合の差を表す)。

・「児童生徒が自分の意思で教科書を見て学習の見直しを持つ」という点について、「紙の教科書の方が適している」あるいは「紙の教科書の方がやや適している」と回答した教師の割合の合計は、「デジタル教科書の方が適している」あるいは「デジタル教科書の方がやや適している」と回答した教師の割合の合計の(②) 倍である。

問2 図3および図4をもとに、紙の教科書と比べた場合、教師はデジタル教科書をどのようなときに適していて、どのようなときに適していないと感じるのか、特に後者についてはその理由として考えられることも含めて、200字以内で述べよ。なお必要に応じて、紙の教科書は「紙版」、デジタル教科書は「デジタル版」と表記してもよい。

問3 図1～図5を参考に、今後、小学校および中学校でデジタル教科書の導入を推進するにあたって、どのようなことに留意し、対策を講じるべきだと考えるか、400字以内で述べよ。個人や家庭として、学校や地域として、企業として、政府としてなど、どのような立場での取り組みであっても構わない。なお必要に応じて、紙の教科書は「紙版」、デジタル教科書は「デジタル版」と表記してもよい。

— 7 —

英語【問題】（1日目）

I 次の問1～問6について、説明にあう単語として最も適当なものを、それぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

問1 happening many times in a short amount of time 1
 ① formal ② foreign
 ③ frequent ④ flexible

問2 to behave as if something is true when in fact you know it is not 2
 ① communicate ② elect
 ③ demonstrate ④ pretend

問3 involving actions that are intended to injure or kill people 3
 ① violent ② legal
 ③ ordinary ④ tight

問4 to answer or to say something as a reaction 4
 ① remove ② rely
 ③ respond ④ request

問5 a thing that is created for the first time or the process of making it 5
 ① invention ② exhibition
 ③ condition ④ direction

問6 the feeling of being certain that something is true or exists 6
 ① fact ② belief
 ③ production ④ doubt

II 次の⑦～⑱について、空欄に入る語句として最も適当なものを、それぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

問1 Many people get 7 from playing sports and doing exercises.
 ① enjoy ② enjoyment
 ③ enjoying ④ enjoyable

問2 Jane 8 to New York, so she is absent today.
 ① comes ② has arrived
 ③ has been ④ has gone

問3 I remember 9 this city ten years ago.
 ① visiting ② visited
 ③ to visit ④ to be visiting

問4 I want you 10 what time you will be available.
 ① let me to know ② let me know
 ③ to let me know ④ to let me to know

問5 We are afraid that the sales tax will be 11 next year.
 ① rise ② risen
 ③ raise ④ raised

問6 The parking lot 12 you often use is going to be closed soon.
 ① which ② where
 ③ whom ④ what

- 問7 If I your phone number, I would have called you to come over.
 ① know ② known
 ③ have known ④ had known
- 問8 The back door open because we are moving some furniture in.
 ① should leave ② should have left
 ③ should be left ④ should be leaving
- 問9 Because of the huge crowd on the street, the man couldn't make himself .
 ① hear ② hearing
 ③ heard ④ to hear
- 問10 This is the best performance in this competition.
 ① at all ② by far
 ③ so long ④ in time
- 問11 Because Matt was absent from school for a week, he has to the other students.
 ① catch up with ② fill in for
 ③ put up with ④ stand up for
- 問12 from the plane, the town looks like a miniature.
 ① See ② Seeing
 ③ Seen ④ To see

— 3 —

live on the East Coast for a few years when I was a child, and I've kept it up by taking conversation lessons in Japan.

Vincent: That's nice. I wish I could speak Japanese as well as you speak English. Here, we're almost at the address.

Mrs. Tomita: Thank you so much for your help, dear.

Vincent: You're very welcome. Enjoy your time with your granddaughter and have a great trip.

Mrs. Tomita: Thank you, I will. Take care!

Vincent: You too, goodbye!

注: Alcatraz Island アルカトラズ島(サンフランシスコ湾内にある島)

- 問1 下線部(ア)の this address が示す場所として最も適当なものを、次の①~④から一つ選べ。
- ① The granddaughter's home ② The bus stop
 ③ The Golden Gate Bridge ④ A phone repair shop
- 問2 空欄 に入れるのに最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。
- ① is connected ② isn't busy
 ③ is in good condition ④ isn't working

— 5 —

III 次の会話文を読んで、設問に答えよ。*印のついた語句には文末に注がある。

A university student sees an elderly lady who looks lost at a bus stop in the city.

Vincent: Excuse me, ma'am, do you need any help?

Mrs. Tomita: Oh, yes, thank you. I'm trying to find this address, but my phone right now. ⁽⁷⁾

Vincent: Let me see. Okay, I know this area — it's in the Mission District, not too far from here. I can walk you there if you'd like.

Mrs. Tomita: That would be wonderful, thank you. I'm here to visit my granddaughter, but I got a bit lost.

Vincent: Visiting your granddaughter? That sounds nice. How long are you visiting for?

Mrs. Tomita: Just for a week. It's my first time in San Francisco.

Vincent: I hope you like it. What do you think of the city so far?

Mrs. Tomita: It's very lively, so different from back home in Japan. Everyone is very , like you. ⁽⁴⁾

Vincent: I'm glad to hear that. I've lived here since I was little, so I know it through and through. What places are you planning to visit? You'll go and see the Golden Gate Bridge, of course?

Mrs. Tomita: Oh yes. My granddaughter has made some plans for me. I think she also said something about a fish market, taking a ferry ride to the prison on Alcatraz Island*, and going on a day trip to the redwood tree park.

Vincent: That sounds like a good plan. By the way, you said that you've never been here before, but your English is so fluent. Where did you learn to speak English?

Mrs. Tomita: Well, thank you. I've never been to this particular city, but I did

— 4 —

- 問3 下線部(イ)の What do you think of the city so far? について、Mrs. Tomita はどう思っているか最も適当なものを、次の①~④から一つ選べ。
- ① She is disappointed with the weather.
 ② She thinks it is expensive.
 ③ She finds walking around challenging.
 ④ She finds it very unlike Japan.
- 問4 空欄 に入れるのに最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。
- ① cold ② friendly
 ③ tall ④ young
- 問5 空欄 に入れるのに最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。
- ① She said I should not miss the bridge.
 ② I don't want to see anything else.
 ③ There are no other places she wants to see.
 ④ She will not allow me to go and see the bridge again.
- 問6 下線部(ウ)の I wish I could speak Japanese as well as you speak English. が意味する内容に最も近いものを、次の①~④のうちから一つ選べ。
- ① Vincent thinks it would be nice to speak English fluently.
 ② Vincent thinks it would be nice to speak Japanese fluently.
 ③ Vincent speaks Japanese better than Mrs. Tomita does.
 ④ Mrs. Tomita speaks English better than Vincent does.

— 6 —

問7 VincentがMrs. Tomitaを手助けた内容について最も適当なものを、次の①～④から一つ選べ。 25

- ① He fixed her phone.
- ② He gave her directions.
- ③ He walked with her to the address.
- ④ He showed her a tourist site in San Francisco.

— 7 —

- (5) This ability is likely an evolutionary defense mechanism, as familiar voices can be safely tuned out to ensure a good night's sleep, but unfamiliar voices could signal a threat to the defenseless sleeper. "Unfamiliar voices should not be talking to you at night," said Schabus. "If our recordings had continued beyond a single word, we might expect people to wake up."
- (6) Thomas Andrillon, a neuroscientist at the Paris Brain Institute in France, says this study builds on the recent realization among neuroscientists that the sleeping brain is not completely disconnected from its surroundings, even while the individual is nonresponsive. Schabus' work on the role of K-complexes in this and previous studies helps to answer the mystery of how the brain allows some information to get through and be processed while unconscious.
- (7) "It's quite a smart mechanism that allows you to filter what's relevant or not, and when it is relevant, it will trigger a chain of processes facilitating the processing of that information without needing you to wake up and disrupt sleep," he said. "K-complexes may be the key mechanism shaping how we sleep, helping the brain decide if we should stay asleep or wake up."
- (8) In addition to scanning for potential threats, the subjects also seemed to be learning over the course of the night. The K-complex responses were less pronounced in the second half of the night, which the researchers attributed to the unfamiliar voices becoming more familiar through repetition. Schabus said this indicates that, in some situations, it could be possible to learn new information in your sleep.
- (9) That's been the dream of lazy students for years, but it has never really worked. Schabus said that, as long as the information is relatively simple, is not presented too loudly, and does not go on for too long, you should be able to learn without being consciously aware of it. For now though, it would only be possible in a lab where technicians can constantly monitor the state

— 9 —

IV 次の英文を読んで、設問に答えよ。*印のついた語句には文末に注がある。なお、英文の左にある(1)～(10)は段落の番号を示している。

- (1) Even when sleeping deeply, you are more aware of what is going on around you than you might realize. New research suggests that the human brain is constantly monitoring its surroundings, including processing sounds, to decide if you need to wake up — it could even let you learn in your sleep.
- (2) Manuel Schabus, a neuroscientist* at the University of Salzburg* in Austria, and his colleagues wanted to see what kind of processing the brain could do while asleep. The researchers played a recording while their adult test subjects* slept through a night. The recording included familiar and unfamiliar voices speaking different names, including the subject's own name. Whether the name was the subject's own or something different had no effect on brain activity. But the familiarity of the voice made a big difference.
- (3) The researchers monitored brain activity using an electroencephalogram (EEG)* and saw that one particular pattern of activity, known as the K-complex*, was different depending on the familiarity of the voice. K-complexes are two-part spikes* in brain activity during sleep in response to an external stimulus, such as noise, light or touch. The first part suppresses* neural activity to keep you asleep, while the second processes the information to decide if it is important enough to 27.
- (4) When sleeping subjects heard unfamiliar voices, their brains registered more, and bigger, K-complexes than when the voice was familiar. Unfamiliar voices also produced more micro-arousals*, a pattern of activity that is believed to indicate information processing during sleep. ⁽⁷⁾ "This means the brain is processing, in its unconscious state, whether a voice is familiar or unfamiliar," said Schabus.

— 8 —

- of the subject's sleep and switch off the stimulus if they start to wake up. "If you tried it at home, you would probably wake up all the time, and it would do more harm than good," he said.
- (10) Schabus said that this research also shows just how important it is to get a solid night's sleep. "Sleep is not just an unconscious state with everything blocked out," he said. "Your brain is always monitoring and processing information so you need a good night's sleep to recover from all this activity."

[Adapted from Brian Owens, "Your Brain Pays Attention to Unfamiliar Voices, Even While You Sleep" in *INSIDE SCIENCE*. (2022)]

注: neuroscientist	脳神経学者
Salzburg	ザルツブルグ(オーストリア西部の都市)
test subject(s)	被験者
electroencephalogram (EEG)	脳波図(脳の活動を記録した図)
K-complex	K複合体(脳波で見られる波形の1つ)
spike(s)	スパイク波(脳波図に示された山形の波形)
suppress(es)	抑制する 鎮める
micro-arousals	微小覚醒

— 10 —

- 問1 第2段落の内容と一致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26
- ① Schabus and his colleagues recorded what the subjects said in their sleep.
 - ② Neither familiar nor unfamiliar voices had any effect on brain activity.
 - ③ The experiment was carried out to examine the effect of the subjects' sleep on their speech.
 - ④ During the experiment conducted by Schabus, the subjects heard various names.

- 問2 空欄 27 に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27
- ① keep you awake ② monitor brain activity
 - ③ play a recording ④ wake you up

- 問3 下線部(ア)の This の内容として、最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選べ。 28
- ① that the brain reacted more clearly to unfamiliar voices even while sleeping
 - ② that the more familiar the voices were, the bigger the spikes of K-complex were
 - ③ that K-complexes produced micro-arousals while sleeping
 - ④ that unfamiliar voices interfered with information processing

- 問4 下線部(イ)の a single word は文中の何を指しているか、最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選べ。 29
- ① a voice ② a noise
 - ③ a name ④ a threat

- 問5 第6段落及び第7段落の内容と一致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30
- ① Andrillon conducted an experiment showing that the sleeping brain isn't completely disconnected from its surroundings.
 - ② Schabus' work helps us understand how the brain processes information in its unconscious state.
 - ③ Andrillon said, "If your brain determines that it is relevant, you wake up and process that information."
 - ④ Schabus denies K-complexes might be the key mechanism for the brain to decide if we should sleep.

- 問6 第8段落にタイトルをつけるとき、最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選べ。 31
- ① Scanning for particular threats
 - ② Potential for sleep-learning
 - ③ How repetition makes familiar voices unfamiliar
 - ④ An increasing response

- 問7 下線部(ウ)の That's been the dream of lazy students for years について、この dream が実現する条件として、本文中に挙げられていないものを次の①～④のうちから一つ選べ。 32
- ① Information is not too difficult or complicated.
 - ② Information is not given very loudly.
 - ③ Information is presented briefly.
 - ④ Information is explained to the students while they are conscious.

英語【問題】(2日目)

I 次の問1～問6について、説明にあう単語として最も適当なものを、それぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

- 問1 a situation in which there is not enough of something 1
- ① allowance ② abundance
 - ③ shortage ④ sculpture
- 問2 to guess something without having all the facts 2
- ① collect ② measure
 - ③ instruct ④ speculate
- 問3 not affected by pain, criticism, or difficult conditions 3
- ① resistant ② sensitive
 - ③ friendly ④ elegant
- 問4 a person who watches an event without taking part 4
- ① composer ② observer
 - ③ athlete ④ merchant
- 問5 to try very hard to do something difficult 5
- ① struggle ② revenge
 - ③ arrange ④ distract
- 問6 very careful about small details 6
- ① remote ② careless
 - ③ thorough ④ plain

II 次の 7 ～ 18 について、空欄に入る語句として最も適当なものを、それぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

- 問1 I regret 7 him about the decision earlier.
- ① not informing ② not to inform
 - ③ not inform ④ to not informing
- 問2 I went to the corner store yesterday to buy groceries, and 8 my neighbor.
- ① so did ② such are
 - ③ neither does ④ all of
- 問3 If I 9 more careful, I wouldn't have made that mistake.
- ① have been ② had been
 - ③ would be ④ was
- 問4 She is looking forward to 10 you again soon.
- ① see ② seeing
 - ③ seen ④ have seen
- 問5 The teacher demanded that every student 11 in their homework on time.
- ① handed ② hand
 - ③ would hand ④ had handed
- 問6 It's high time we 12 something about the decline in population.
- ① doing ② will do
 - ③ did ④ have done

問7 She has been absent for two weeks. **13** is quite unusual for her.

- ① what ② where
- ③ who ④ which

問8 This is the only book I have read. **14** has made me cry.

- ① what ② where
- ③ who ④ that

問9 Little **15** about the consequences of his decision.

- ① did he know ② he knew
- ③ he knows ④ knew he

問10 I will let you know as soon as he **16**.

- ① will arrive ② is arriving
- ③ arrives ④ will have arrived

問11 They were late, and what's **17**, they had forgotten to bring the tickets.

- ① also ② worse
- ③ next ④ best

問12 The project must be finished by Friday. **18** happens.

- ① regardless ② whatever
- ③ despite ④ although

III 次の会話文を読んで、設問に答えよ。

Haruki, Amy and Kenta are having a conversation after a class.

Haruki: Have you heard? Our university is launching a campaign to reduce plastic waste among the students and staff.

Amy: Yes, I saw the announcement on the school website. They are encouraging everyone to stop using single-use plastic bottles and buying packaged products from convenience stores. They are also asking us for ideas on how to achieve that goal.

Kenta: That sounds like a good idea, but it might be challenging. In Japan, **20** is sold in plastic containers, for example lunch boxes, snacks, and even drinks.

Haruki: That's true, which is exactly why we need to change our everyday habits. One of the United Nations' Sustainable Development Goals focuses on responsible consumption and production.

Amy: I believe it's possible. We can begin by bringing our own reusable bottles and food containers. I have already started using cloth bags instead of plastic ones when I go shopping.

Kenta: That's interesting. I've seen people using those. But do you think small actions like that can really make a difference?

Haruki: Definitely. When many people make small changes, it creates a huge impact. Japan produces a large amount of plastic waste per person, even though our recycling system is efficient.

Amy: And it's not only about how we handle waste, it's also about using fewer materials in the first place. The school could even work with local shops to encourage the use of environmentally friendly products.

Kenta: I like that idea. We could also organize a "Plastic-Free Week" to

encourage students to avoid plastic as much as possible.

Haruki: That would be great. We could design posters to raise awareness and place them around the school.

Amy: Let's speak to the student council. If we present a clear plan, they might support the project and help us make it happen.

問1 下線部(ア)の challenging が表す内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **19**

- ① trying hard to do ② very hard to do
- ③ a little easy to do ④ very easy to do

問2 空欄 **20** に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **20**

- ① almost ② almost everything
- ③ most ④ most everything

問3 下線部(イ)の those が表す内容と異なるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **21**

- ① reusable bottles ② reusable food containers
- ③ cloth bags ④ plastic bags

問4 下線部(ウ)の make a difference が指す内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **22**

- ① reduce plastic waste ② challenge the world
- ③ cause problems ④ use more cloth bags

問5 下線部(エ)が表す内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **23**

- ① The recycling system in Japan is not effective, so more recycling centers are needed.
- ② The recycling system in Japan is working, but reducing plastic use is still necessary.
- ③ A recycling system does not exist in Japan, so campaigns like this are important.
- ④ The recycling system in Japan is perfect, and no changes are needed.

問6 下線部(オ)の handle の意味として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **24**

- ① produce ② support
- ③ manage ④ demand

問7 会話の内容と一致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **25**

- ① Small changes can lead to a big environmental impact.
- ② Plastic should be banned immediately.
- ③ Students should not shop at convenience stores.
- ④ Recycling is more important than reducing plastic.

IV 次の英文を読んで、設問に答えよ。*印のついた語句には文末に注がある。英文の左にある①～⑬は段落の番号を表している。

- ① You may have seen headlines that link social media to sadness and depression. Social media use goes 26a, happiness goes 26b. But recent studies suggest those findings might not be so straightforward*.
- ② Although it is true that people's feelings of envy and depression are linked to high social media use, there is evidence⁽⁷⁾ to suggest social media use may not be causing that relationship. Instead, your mindset* may be the biggest thing affecting⁽⁴⁾ how social media connects to your wellbeing*.
- ③ People who feel they are able to use social media, rather than social media "using them", tend to gain more benefits from their online interactions.
- ④ Social media covers a broad range of platforms⁽⁹⁾: social networking, discussion forums, bookmarking and sharing content, disseminating* news, exchanging media like photos and videos, and microblogging*. These appeal to a wide range of users, from individuals of all ages through to massive businesses.
- ⑤ For some, social media is a way to connect with people we may not otherwise see. In the United States, 39% of people say they are friends with people they only interact with online.
- ⑥ For older people, this is especially important for increasing feelings of connectedness and wellbeing. Interestingly though, for older people, social media contact with family does not increase happiness. Meanwhile, younger adults report increased happiness when they have more social media contact with family members.
- ⑦ Teens, in particular, find social media most useful for deepening connections and building their social networks.
- ⑧ With social media clearly playing such an important role in society,

— 7 —

注：straightforward 簡単な
mindset 物の見方
wellbeing 幸福
disseminate 情報を広める
microblog 簡易ブログ
engagement 取り組む姿勢

問1 Social media use goes 26a, happiness goes 26b の空欄に入れる組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- | | |
|--|--|
| ① 26a up | ⑤ 26b up |
| ② 26a up | ⑥ 26b down |
| ③ 26a around | ⑦ 26b up |
| ④ 26a down | ⑧ 26b around |

問2 下線部(7)の evidence の言い換えとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

27

- | | |
|---------------|--------------|
| ① agreement | ② conclusion |
| ③ information | ④ hope |

問3 下線部(4)の affecting の意味として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

28

- | | |
|---------------|------------|
| ① influencing | ② changing |
| ③ showing | ④ making |

— 9 —

many researchers have tried to figure out: does it make us happier or not?

- ⑨ Studies have taken a variety of approaches, including asking people directly through surveys or looking at the content people post and seeing how positive or negative it is.
- ⑩ One survey study from 2023 showed that as individuals' social media use increased, life satisfaction and happiness decreased. Another found that less time on social media was related to increases in work satisfaction, work engagement* and positive mental health — so improved mental health and motivation at work.
- ⑪ Comparing yourself to others on social media is connected to feelings of envy and depression. However, there is evidence to suggest depression is the predictor, rather than the outcome, of both social comparison and envy.
- ⑫ All this shows the way you feel about social media matters. People who see themselves using social media rather than "being used" by it, tend to gain benefits from social media and not experience the harms.
- ⑬ The secret to online happiness therefore may not be to "delete your account" entirely (which, as we have found, may not even be effective), but to be mindful about what you consume online. And if you feel like social media is starting to use you, it might be time to change it up a bit.

[Adapted from Melissa Humphries and Lewis Mitchell, Is social media making you unhappy? The answer is not so simple. *The Conversation*. (2024) <https://theconversation.com/is-social-media-making-you-unhappy-the-answer-is-not-so-simple-232490>]

— 8 —

問4 下線部(9)の a broad range of platforms に含まれないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

29

- ① book making
② discussion forums
③ social networking
④ sharing content

問5 第5～7段落の内容と一致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

30

- ① Everyone feels more happiness when they communicate with family through social media.
② Teens are less happy than adults when they communicate with family through social media.
③ Older adults are often happy to communicate with family through social media.
④ Younger adults feel more happiness when they communicate with family through social media.

問6 第10～12段落の内容と一致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

31

- ① Surveys about social media use have become more common since 2023.
② Too many people see themselves as using social media and not being used by it.
③ Comparing yourself to others on social media is related to depression and envy.
④ Most people benefit from using social media rather than being harmed by it.

— 10 —

問7 本文の標題（タイトル）として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

32

- ① The effects of social media on older adults.
- ② The relationship between social media and emotions.
- ③ The reasons why teens use social media.
- ④ Social media use causes envy, fear, and depression.

— 11 —

数学【問題】（1日目）

I 次の各問いに答えなさい。

(1) $((-4) \times 7 \div 14 \times 3 - (-6) \times 3) \div 3$ を計算すると、

となる。

(2) $\sqrt{500} - \sqrt{125} - 2\sqrt{45}$ を簡単にすると、 $-\sqrt{\text{ }}$ である。

(3) 2次方程式 $3x^2 - 5x + 1 = 0$ を解くと、

$x = \frac{\text{ } \pm \sqrt{\text{ }}}{\text{ }}$ である。

II 次の各問いに答えなさい。

(1) $(x^2 + x + 2)(x^2 - x + 2)$ を展開すると、

$x^4 + \text{ } x^2 + \text{ }$

である。

(2) $2x^2 + 3xy + y^2 + 3x + y - 2$ は

$(x + y + \text{ }) (\text{ } x + y - \text{ })$

と因数分解することができる。

(3) 連立不等式 $\begin{cases} x^2 + 2x - 15 < 0 \\ x^2 - 3x - 4 \geq 0 \end{cases}$ を解くと、

$\text{ } < x \leq \text{ }$ である。

III 次の各問いに答えなさい。

(1) 次のデータは、ある飲料メーカーが新商品として売り出す予定のX、Yの2つの商品について、7人のモニターに10点満点でおいしさを採点してもらった結果である。xはXの採点結果、yはYの採点結果である。変数xとyの相関係数rの値について、当てはまるものを、下の①～⑨の中から選び、

番号で答えると、16 である。

x	7	8	5	9	6	10	4
y	7	4	7	8	7	9	7

- | | | |
|------------------------|-----------------------|----------------------|
| ① $r < -1$ | ② $r = -1$ | ③ $-1 < r < -0.7$ |
| ④ $-0.7 \leq r < -0.4$ | ⑤ $-0.4 \leq r < 0.4$ | ⑥ $0.4 \leq r < 0.7$ |
| ⑦ $0.7 \leq r < 1$ | ⑧ $r = 1$ | ⑨ $1 < r$ |

(2) $\triangle ABC$ において、 $\angle ABC = 120^\circ$ 、 $AB = 7$ 、 $BC = 8$ のとき、

$CA = \sqrt{17 \cdot 18}$ 、 $\triangle ABC$ の面積は $\sqrt{19 \cdot 20}$ であり、

$\triangle ABC$ の内接円の半径rは $\sqrt{22}$ である。

IV 右の図のように、東西に5本、南北に6本の道路が走っている。このとき、次の各問いに答えよ。

(1) AからBまで行く最短経路は

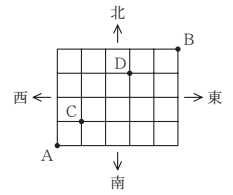
23・24・25 通りある。

(2) (1)のうち、CもDも通る最短経路は

26・27 通りある。

(3) (1)のうち、CもDも通らない最短経路は

28・29 通りある。



V 展開図について、次の各問いに答えなさい。

(1) 次の①～⑥の展開図の中から、組み立てると立方体になるものをすべて選ぶ

と、30 個ある。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <p>① </p> <p>③ </p> <p>⑤ </p> | <p>② </p> <p>④ </p> <p>⑥ </p> |
|-------------------------------|-------------------------------|

(2) 右の展開図を組み立てると、1辺の長さが2の立方体になる。

ただし、点P、Qはそれぞれ辺BD、GHの中点である。この立方体について、次の各問いに答えなさい。

(i) 点Bと一致する点をすべて選ぶと

31 個ある。

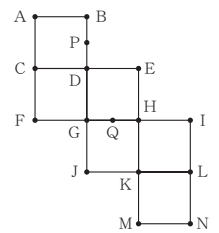
(ii) 点Cと一致する点をすべて選ぶと

32 個ある。

(iii) 立方体の表面を通る経路のうち、

点Pから点Mへの経路の長さの最小値を計算し、

結果を次から選びなさい。33



- | | | | |
|---------------|----------------|-------------------------|---------------|
| ① $\sqrt{2}$ | ② $2\sqrt{2}$ | ③ $\sqrt{5}$ | ④ $2\sqrt{5}$ |
| ⑤ $\sqrt{10}$ | ⑥ $2\sqrt{10}$ | ⑦ $\frac{\sqrt{13}}{2}$ | ⑧ $\sqrt{13}$ |
| ⑨ ①～⑧のいずれでもない | | | |

(iv) 立方体を、3点P、Q、Mを通る平面で切断したときの断面積を計算し、結果を次から選びなさい。34

- | | | | |
|---------------|----------------|-------------------------|---------------|
| ① $\sqrt{2}$ | ② $2\sqrt{2}$ | ③ $\sqrt{5}$ | ④ $2\sqrt{5}$ |
| ⑤ $\sqrt{10}$ | ⑥ $2\sqrt{10}$ | ⑦ $\frac{\sqrt{13}}{2}$ | ⑧ $\sqrt{13}$ |
| ⑨ ①～⑧のいずれでもない | | | |

(v) 立体図形ADHMの体積を計算し、結果を次から選びなさい。

35

- | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| ① 2 | ② 4 | ③ 8 | ④ $\frac{2}{3}$ |
| ⑤ $\frac{4}{3}$ | ⑥ $\frac{5}{3}$ | ⑦ $\frac{8}{3}$ | ⑧ $\frac{16}{3}$ |
| ⑨ ①~⑧のいずれでもない | | | |

VI a, b, c は実数の定数とする。次の問いに答えなさい。

2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフは、
軸の方程式が $x = -2$ で2点 $(0, -17)$, $(-3, -8)$ を通るとする。

このとき、 $a = \boxed{36 \cdot 37}$, $b = \boxed{38 \cdot 39 \cdot 40}$, $c = \boxed{41 \cdot 42 \cdot 43}$ である。

- 7 -

- 8 -

問題はここまで (以下余白)

数学【問題】(2日目)

I 次の各問いに答えなさい。

(1) $\{(-8) \times 7 \div (-2) + 5 \times (-6) \div 3\} \div 9$ を計算すると、

$\boxed{1}$ となる。

(2) $(1 + \sqrt{5} + \sqrt{6})(1 + \sqrt{5} - \sqrt{6})$ を簡単にすると、

$\boxed{2} \sqrt{\boxed{3}}$ となる。

(3) 2次方程式 $4x^2 + 6x + 1 = 0$ を解くと、

$x = \frac{\boxed{4 \cdot 5} \pm \sqrt{\boxed{6}}}{\boxed{7}}$ である。

II 次の各問いに答えなさい。

(1) $(2x + 5y - z)^2$ を計算して整理したときの xy の係数は、

$\boxed{8 \cdot 9}$ である。

(2) $4x^2 - 4x - 15$ は

$(\boxed{10}x + \boxed{11})(\boxed{12}x - \boxed{13})$

と因数分解することができる。

(3) 連立不等式 $\begin{cases} x^2 + x - 56 < 0 \\ x^2 - 8x - 9 > 0 \end{cases}$ を解くと、

$\boxed{14 \cdot 15} < x < \boxed{16 \cdot 17}$ である。

- 1 -

- 2 -

Ⅲ 次の各問いに答えなさい。

(1) $AB = \sqrt{5}$, $BC = 1$, $AC = 2\sqrt{2}$ である $\triangle ABC$ について、

$$\cos A = \frac{\boxed{18}}{\sqrt{\boxed{19 \cdot 20}}}, \sin A = \frac{\boxed{21}}{\sqrt{\boxed{22 \cdot 23}}} \text{ である。}$$

また、 $\triangle ABC$ の面積は $\boxed{24}$ である。

(2) $\triangle ABC$ の辺 BC , CA を $1:2$ に内分する点をそれぞれ D , E とし、 AD と

BE の交点を P とする。 $\triangle ABC$ の面積 S_1 と $\triangle PAB$ の面積 S_2 の比 $\frac{S_2}{S_1}$ の値

は、 $\frac{\boxed{25}}{\boxed{26}}$ である。

Ⅳ 女子が 4 人、男子が 3 人いる。次の各並び方や座り方は全部で何通りあるか、

計算して、下の選択肢①～⑨から当てはまるものを選び、続く $\boxed{\quad}$ に対応する解答欄に答えなさい。

- | | | | |
|---------------|-------|--------|--------|
| ① 144 | ② 288 | ③ 432 | ④ 576 |
| ⑤ 720 | ⑥ 864 | ⑦ 1440 | ⑧ 5040 |
| ⑨ ①～⑧のいずれでもない | | | |

(1) この 7 人が一列に並ぶときの並び方。 $\boxed{27}$

(2) この 7 人が一列に並ぶとき、女子が隣合わない並び方。 $\boxed{28}$

(3) この 7 人が一列に並ぶとき、男子が隣合わない並び方。 $\boxed{29}$

(4) この 7 人が円形テーブルの椅子に座るときの座り方。 $\boxed{30}$

(5) この 7 人が円形テーブルの椅子に座るとき、女子が 4 人とも隣合って座る座り方。 $\boxed{31}$

(6) この 7 人が円形テーブルの椅子に座るとき、女子 3 人が隣合い他の女子 1 人が離れて座る座り方。 $\boxed{32}$

(次ページに続く。)

— 3 —

— 4 —

(7) この 7 人が円形テーブルの椅子に座るとき、女子 2 人が隣合い他の女子 2 人が 1 人ずつ離れて座る座り方。 $\boxed{33}$

(8) この 7 人が円形テーブルの椅子に座るとき、女子 2 人ずつが組になって隣合い、これら女子 2 組の間に少なくとも男子 1 人が座る座り方。 $\boxed{34}$

Ⅴ a は実数の定数とする。関数 $f(x) = x^2 - 2ax + 6a$ ($1 \leq x \leq 2$) の最小

値が 9 であるとき、 $a = \frac{\boxed{35}}{\boxed{36}}$ である。

VI 右の表は、a, b, c, d, eの5人が、A, Bの2つのゲームをし、その得点を表したものである。ゲームAとゲームBの得点の相関係数 r の値について当てはまるものを、次の①~⑨の中から

	a	b	c	d	e
A	1	4	3	1	1
B	5	3	0	5	2

選び、番号で答えると、である。

- | | | |
|------------------------|-----------------------|----------------------|
| ① $r < -1$ | ② $r = -1$ | ③ $-1 < r < -0.7$ |
| ④ $-0.7 \leq r < -0.4$ | ⑤ $-0.4 \leq r < 0.4$ | ⑥ $0.4 \leq r < 0.7$ |
| ⑦ $0.7 \leq r < 1$ | ⑧ $r = 1$ | ⑨ $1 < r$ |

問題はここまで (以下余白)

— 7 —

第三問 次のそれぞれの問いに答えよ。

問一 (i) ~ (v) の空欄に入ることはとして最も適当なものを、次の各群 ① ~ ⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

(i) 新しい技術の可能性を見抜く先見の [] が、ビジネスの成長につながった。

- ① 恵 ② 知 ③ 目 ④ 明 ⑤ 理

[] 31

(ii) イベントの企画を進める際は、参加者のニーズを [] におく必要がある。

- ① 思案 ② 思念 ③ 心意 ④ 心頭 ⑤ 念頭

[] 32

(iii) かつては賑やかだった商店街が、閑古鳥が [] ような状況になってしまった。

- ① 去る ② つづく ③ 止まる ④ 飛ぶ ⑤ 鳴く

[] 33

(iv) 若手作家がデビュー作で頭角を []、文学界で一躍注目を浴びた。

- ① 現し ② 示し ③ 出し ④ 伸ばし ⑤ 生やし

[] 34

(v) 大会に向けて、部員に練習にいつそう励むよう発破を []。

- ① かけた ② 叩いた ③ 募った ④ 飛ばした ⑤ 鳴らした

[] 35

問二 (i) ~ (v) と対照的な意味をもつことばとして最も適当なものを、次の各群 ① ~ ⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

(i) 革新

- ① 去就 ② 新参 ③ 潜在 ④ 古株 ⑤ 保守

[] 36

(ii) 急進

- ① 緩慢 ② 後退 ③ 漸進 ④ 遅滞 ⑤ 停止

[] 37

(iii) 潤沢

- ① 欠如 ② 枯渇 ③ 衰微 ④ 節約 ⑤ 貧困

[] 38

(iv) 精密

- ① 粗雑 ② 素朴 ③ 分裂 ④ 奔放 ⑤ 未熟

[] 39

(v) 服従

- ① 触発 ② 率先 ③ 追随 ④ 反抗 ⑤ 命令

[] 40

問三 (i) ~ (v) のことばの使い方として最も適当なものを、次の各群 ① ~ ⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

(i) いじらしい

① 周囲に気を遣って涙を堪える娘の姿がなんともいじらしい。

② 損得勘定だけで付き合う相手を選ぶとはいじらしいことだ。

③ 過ぎたことを蒸し返して相手を責めるのはいじらしい行為だ。

④ 何度跳ね返されてもいじらしい交渉を重ね、ついに成約にこぎつけた。

⑤ 大事な書類の入ったカバンを電車に置き忘れるとは、あまりにいじらしい。

[] 41

(ii) 迂遠

① 引越越しを機に、旧友たちと迂遠になってしまった。

② 高速道路が工事中で、目的地まで大きく迂遠を強いられた。

③ やって後悔するのとやらずに後悔するのでは迂遠の差がある。

④ 会見での説明は迂遠な言い回しが多用され、理解しがたいものだった。

⑤ 自宅から大学までの距離は迂遠というほどではないので電車で通学可能だ。

[] 42

(iii) 腐心

① 細かいミスばかりに腐心して、大きな問題を見落としてしまった。

② 俳優の見事な演技と衝撃的な結末が相まって、来場者は誰もが腐心した。

③ 新しいプロジェクトの成功に向けて、チームは昼夜を問わず腐心している。

④ 楽しみにしていたイベントが雨で中止になり、すっかり腐心してしまった。

⑤ 励ますつもりでかけた一言が、かえって相手を腐心させる結果になってしまった。

[] 43

(iv) 付和雷同

① 上の者に付和雷同するばかりでは、組織の発展は見込めない。

② 若者の勇氣ある行動に、周囲は付和雷同し大きな拍手を送った。

③ 当初は不満の声も聞かれたが、最終的には何とか付和雷同するに至った。

④ 数人で始めたサークル活動は徐々に付和雷同し、今では大所帯となっている。

⑤ 民衆が力を合わせて付和雷同したことで、市政が大きく変化することとなった。

[] 44

(v) プライオリティ

① 過度な緊張は、プライオリティの低下につながるので平常心を保つことが大切だ。

② 友人同士の間柄であっても、個人のプライオリティに関わる質問は控えるべきだ。

③ その場に応じて臨機応変に動けるプライオリティの高さが、彼の昇進につながった。

④ 彼女のプライオリティに富んだユニークな発言によって、場の雰囲気が一気に和んだ。

⑤ 仕事のプライオリティを明確にすることは、効率的な業務遂行のために必要不可欠だ。

[] 45

問四 傍線部A「絶えず・C「煩雑・F「醜態」の類義語として最も適当なものを、次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- A 絶えず ① 往年 ② 継起 ③ 始終 ④ 断絶 ⑤ 時折 ⑥ 適宜
 C 煩雑 ① 苦痛 ② 困難 ③ 雑多 ④ 杜撰 ⑤ 頻繁 ⑥ 面倒
 F 醜態 ① 嫌悪 ② 喧嘩 ③ 嫉妬 ④ 焦燥 ⑤ 相違 ⑥ 不仲

問五 傍線部B「相手はきよんとししてしまふ」のはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 知り合い同士ならともかく、初対面の知らない相手にいきなり話しかけられても、聞き手は戸惑ってしまふから。
 ② 話し手と聞き手との間において、対象に対する知識が共有されていないため、聞き手が話題についていけないから。
 ③ 「私」と「バネリストの阿部公彦先生」はお互い同じテレビ番組を見ていたが、初対面の相手も同じテレビ番組を見ているとは限らないから。
 ④ 初対面であるため、話し手と聞き手との間には十分な信頼関係が成立していないのに、個人的な話を投げかけるのはあまりにも配慮に欠けていたから。
 ⑤ 初対面の相手にいきなり内輪の話題を投げかけるのは配慮に欠けるため、まずは昨日同じテレビ番組を見ていたかについて聞き出すことを優先すべきだったから。

問六 傍線部D「孔子が弟子の顔回に『吾』を付けた」理由の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 魯の君主と顔回との身分の差は歴然であるため、「名札化」することで君主の地位を脅かすことのないよう、配慮をおこなった。
 ② 相手も顔回を知っているという前提で話すことは魯の君主に対して失礼なふるまいであるため、「名札化」という配慮をおこなった。
 ③ 魯の君主が顔回を知らないことは明白だったため、孔子は「名札化」することで知識の強要を避け、魯の君主に失礼のないよう配慮をおこなった。
 ④ 孔子にとって顔回は身近な相手だが、魯の君主にとっては縁遠い人物であるため、「名札化」し身近に感じさせることで、相手に失礼のないよう配慮をおこなった。
 ⑤ 「名札化」を用いて、「顔回というのはあなたが初めて耳にする人です」と魯の君主に気づかせることで、自身の弟子についてより深く理解をしてみらおうという孔子なりの配慮があった。

問七 傍線部E「ポライトネスに鈍感な人」として、筆者はどのような例を挙げているか。最も当てはまるものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 初対面の相手に対し、自分の話ばかりして相手の話を傾けようとしない人。
 ② 相手の知識や感情、本心を押し重ろうとして、むやみやたらと質問攻めをしてくる人。
 ③ 相手が目上の立場であってもくだけた言葉遣いをやめず、対人関係に配慮できない人。
 ④ 相手が知らない話題かどうかを考慮することなく、相手も知っているという前提で話す人。
 ⑤ 相手が知らないような難しい話題ばかりをわざと取り上げて、自分の賢さをひけらかそうとする人。

問八 傍線部G「言葉を操る人間としての時代を超えたつながり」とあるが、これはどういふことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 相手が初めて耳にするであろう人物に、現代語では「〜という人」を、漢文では「吾」をつけるというような、相手への配慮を目的とした話し手のふるまいは、時代を超えて確認できるということ。
 ② 『論語』や『詩経』といった非常に古い書物の内容が現在も知られているように、どれだけ長い年月が経ったとしても、書物の言葉が現在まで大切に守り継がれており、時空を超えて残されているということ。
 ③ 現代において、初対面の相手に対して敬語を使うのと同様に、『論語』や『詩経』においても、知らない相手に対する敬語の使用が確認されており、人間は時代を超えて同様の対人配慮の能力を備えているということ。
 ④ 近年、「村度」という言葉が不名誉な言い回しで多用されているが、『詩経』の時代までさかのぼれば「村度」は非常に名誉ある意味を持っており、同じ言葉を複数の意味で理解できる人間は時空を超えた言葉の使い手であるということ。
 ⑤ 古代の文献には現在の言葉と異なる部分があり、表現によっては理解が難しいこともあるが、文化や人間の本質は昔も今も変わらないため、内容に関しては誰もが同様のエピソードを体験しており、時空を超えて共感できるということ。

問九 問題文の内容に最もよく合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 古い文献を読むことの難しさの理由として、時空を共有していない古代の人がどのような感覚でものを見ていたのかを確かめられないことが挙げられる。
 ② 固有名詞から個別性を奪い取る「名札化」は、話題に出された人物の尊厳を脅かすはたらきを持っているという点で注意が必要である。
 ③ 古代の言葉を読み解くためには、現在の教育改革・入試改革では不十分であり、人同士が互いに直接やりとりできる経験の場を増やすべきである。
 ④ AIは人の心を推し量ることができず、また、最新の情報のみを採用するために、「村度」のように時代によって語の意味が変わる言葉を苦手としている。
 ⑤ 話す相手によって話題を変え、相手の顔色をうかがいながら話すという人間関係への配慮は、時空を超えてさまざまな場所で行われてきた人間の共通基盤といえる。

つ表現です。漢文では「顔回」の後についている「著」という語が固有名詞を「名礼化」する働きを担います。授業ならなぜ「著」にそのような働きがあるのかを説明するところですが、煩雑になるのでそれは省きます。

大事なことは、なぜ孔子が弟子の顔回到「著」を付けたのかということ。孔子にとつて顔回は身近な人ですが、魯の君主が知っているとは限りません。そこで「著」を付け、「あなたにとつて初めて耳にする人です」というマーケティングをしたのです。実はそれだけではありません。固有名詞を裸で使うことは、相手がそれに対して知識を持っていることを前提にしています。したがって、もし相手が十分な知識を持っていない場合、聞き手に対して知識の共有を強要することになってしまいます。それでは君主に対して失礼です。相手が顔回を知っているかどうかはここでは本質ではなく、君主に対して失礼のないように表現したというのがポイントです。〔乙〕

このように言葉遣いや表現の点で人間関係に配慮することを、「言語学では「対人配慮」とか「politeness」という用語を使って表しています。『論語』を読むと、孔子は言葉遣いの上でポライトネスに相当の敏感であったことが分かります。皆さんも固有名詞や聞ききれない言葉を裸の形で振り回す人には注意した方が良いでしょう。そういう人は自分の知識が他人も知っていて当然だと思う、知識の強要が好きなおポライトネスに鈍感な人なのです。〔乙〕

さきほど私たちは絶えず相手の知識や感情を推し量りながら表現を変えていると述べました。人の心を推し量る、これを漢語では「忖度」と言います。忖度することは言語の本質と結びついていると思います。よくAIは言葉が苦手だと言われますが、人の心を忖度できないところに原因の一つがあるように思います。〔乙〕

「忖度」という語は、『詩経』という中国最古の詩集に出きます。「他人に心有り、予之を忖度す」(他人有心、予忖度之。古い注釈では、徳を見えた聖人君子が、よからぬ人の心を忖度して見破るという文脈で解釈されています。それが近年ある意味まったく逆の文脈で多用されるようになったのはとても残念なことです。〔乙〕

それはともかく、時空を共有しない古代の人の心を忖度しても、正しいかどうかは分かりません。そこに古い文献を読む最大の難しさがあります。言葉の世界では、同じ言葉を使っていれば、時に齟齬を生じることがあったとしても、自分も相手も大体



同じ感覚でものを見ているという主観性が基本的に共有されています。それは会話が成立することで実感として存在しています(もっともそのような主観性こそが言葉が必ずしも通じないイチャインでもあるのですが)。しかし古代の人との間ではこのような感覚は確かめようがありません。我々はそれでも古代の人の心を、言葉や文化に対する知識と、言葉の使い手としての感覚をよりどころとして忖度し続けるしかないのです。私たちの言葉と古代人の言葉との間には、言語としてのつながりとともに深い断絶があります。古代の文献と向き合うにはこのことを認識しておく必要があります。〔乙〕

無論、古代の言葉との間にあるのは断絶だけではなく、私たちが二〇〇〇年以上前の古い中国語、漢文の言葉が不十分ながらも理解できるのは、言葉自体のつながり、言葉を操る人間としての時代を超えたつながりがあるからです。著」にポライトネス・マーカーの機能があるということが分かるのも、先に述べた「安藤さん」という日本人という日本語の表現との共通性が見取れるからなのです。私たちはただか〇〇、二〇〇〇程度の用例を集めて分析しただけで、あつというふうな発見をすることがあります。時空を超えた言葉の使い手としての人間の共通した基盤があるからです。

古代の言葉を読み解くためには、このつながりと断絶とをきちんと意識することが大事なのですが、現在の教育改革・入試改革にはその意識、特に断絶に対する意識がキハクになっているように感じられます。

(大西克也「古代の言葉に向き合うこと」による。なお、設問の都合上、原文の一部を改変した箇所がある。)

〔注〕 * 安藤先生……………安藤宏、国文学者、(一九五八)

* 阿部公彦先生……………英文学者、(一九六六)

* 『論語』……………儒教の教典の一つ。孔子と弟子の問答を集録した書物。

* 近年ある意味まったく逆の文脈で多用されるようになった……大阪府豊中市の国有地払い下げをめぐる森友学園問題

(二〇一七)の証人喚問において、「忖度」という言葉が用いられた。この事件以降、単に相手の考えを推し量るという意味をもつ「忖度」という言葉が、「相手の顔をうかがって便宜を図る」という意味で用いられるようになった。

問一 問題文には次の一文が欠落している。補うべき場所として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

16

人間と言葉の本質を象徴する「忖度」という言葉を汚してしまったのは、日本における言葉の危機の象徴でもあるでしょう。

- ① ㄟ ② イ ③ ㄚ ④ ヒ ⑤ ㄚ



問二 傍線部a、cと同一の漢字を使うものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。

- a ドウリョウ ① ノウリョウ花火大会 ② 自名リョウヨウする カンリョウ主義を見直す ③ 彼はキョウリョウな人間だ ④ キョウリョウから天引きされる
- b イチイン ① インドウを渡す ② 危険インシになりうる コンイン屈を提出する ③ インボウ論に翻弄される ケツイン補充をおこなう

- c キハク ① キチの間柄 ② キカク外の選手 ③ キミヨウな事件 ④ キコツのある若者 ⑤ 平和をキキウする

- 問三 空欄 I・II・IIIに入ることはとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選べ(同一選択肢の反復使用は不可)。
- ① さて ② ます ③ さらに ④ あるいは ⑤ たとえば ⑥ とこなが
- I 20 II 21 III 22

問八 傍線部Eについて、「立場が明確になると」、「その弱点や難点も明るみに出てしまふ」ことは、どのような意味で「皮肉なこと」だといえるのか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

① 一見して純粋主義にとつて利になりそうな主張の改訂が、結局は不利に働くようになるという、逆転の結果がもたらされる、という意味で「皮肉なこと」である。

② 「舌のみで評価すべき」という主張が改訂されたが、この改訂は純粋主義の根本的考えを否定するものであるため、本末転倒の結果になる、という意味で「皮肉なこと」である。

③ 純粋主義の主張が明確になり改善されたものの、依然として主張に不明瞭な部分が目立つため、主張の改訂は中途半端な結果におわる、という意味で「皮肉なこと」である。

④ 筆者は純粋主義を否定すべく問題点を明確化したのが、それがかえって純粋主義に改善・強化のチャンスを与えることとなり、予想外の結果になる、という意味で「皮肉なこと」である。

⑤ 立場が明確になった分、純粋主義者は曖昧な説明で言い逃れをすることができなくなったため、徹底的な批判を受けることになり、残酷な結果をもたらす、という意味で「皮肉なこと」である。

12

問九 傍線部Fについて、なぜ、「目の前にラーメンが出てきたときに、私たちは「食べても大丈夫なのか」といよいよ考えてなどいない」という事例は注意すべきことだと筆者は述べるのか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① この事例は、知覚的情報よりも知識に頼ったほうが効率的な判断が下せることを示すものであり、知覚的情報に対する知識の優位性を裏つける根拠になるから。

② この事例は、純粋主義の立場では説明がつかないものであり、食の安全性という私たちの健康・命に関わる重大な問題に対して純粋主義が無力であるという事実を突きつけるものだから。

③ この事例は、「舌のみで評価すべき」という純粋主義の当初の主張を改訂したことが誤りであったことを示唆するもので、「舌のみ」の主張に戻すべきだということを示す根拠になるから。

④ 純粋主義は知識が判断に影響することと否定するが、この事例は、知識の関わりなく知覚的情報だけで判断を下すことに現実味がないことを示すもので、純粋主義の妥当性に関わることだから。

⑤ この事例は、「知覚的情報のみ」という点に固執しつづける限り、純粋主義者は食べ物の安全性の確認に過度な努力をかけることになることを示唆するものであり、純粋主義者にとつての負担の大きさが懸念されるから。

13

問十 空欄IVに入ることを最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

① 一応 ② 結局 ③ とりわけ ④ もちろん ⑤ もはや ⑥ やはり

14

問十一 問題文の内容に最も合致するものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

① 筆者は、純粋主義の是非に対する自らの立場を、「支持」から「不支持」へと、議論の途中で一変させている。

② 筆者は、おいしさに対する人々の評価が「言葉を紹介した情報」に汚染されている現状について、危機感を抱いている。

③ 筆者は、純粋主義を徹底して実践しようとした場合に突き当たる問題を明らかにし、純粋主義の限界を示唆している。

④ 筆者は、おいしさというものは、舌のみではなく、眼や耳、鼻や肌など五感を駆使して評価されるべきだと主張している。

⑤ 筆者は、食べ物の安全性について人々が飲食店の衛生カンリを信頼しきっており、自らの五感に頼った判断を下す方がないことを問題視している。

15

第二問 次は東京大学にて行われたシンポジウムの講演の一部を文章としてまとめたものである。これを読んで、後の問いに答えよ。

私たちは会話をする時、^A絶えず相手が話題に対してどのような知識や感情を持っているかを推し量りながら表現を探したり変えたりしています。固有名詞を例に説明してみましょう。I 今回のシンポジウムの司会者を務められた安藤先生が、昨夜テレビに出演してとても面白いことを言っていたとしましょう。それを私がバネリストの阿部公彦先生に伝えたくて、「昨日安藤さんがテレビでこんなことを言っていましたよ」と話しかけても、全く不自然ではありません。II 同じ言葉を初対面の人いきなり投げかけたら、相手はきょとんとしてしまうでしょう。「安藤さんって誰ですか?」と、不審に思われるかもしれません。

固有名詞をいきなり使つて自然な会話が成立するのは、話し手と聞き手の間に対象に対する知識が共有されていることが前提になります。私も阿部さんも安藤さんも文学部のドウリョウです。この点は全く問題になりません。しかしそうではない相手に対しては言語上の配慮が必要です。たとえば「昨日のテレビで東大の国文学研究室の安藤先生という人が、こんなことを言っていましたよ」と言えば、相手すんなりと話題に入っていきます。東大の国文学研究室の」という修飾語は相手が必ずしも知っているとは限らない背景を提供しています。

III 重要なものが「〜という人」という表現です。これは安藤さんを誰もが知っている人としてではなく、相手が初めて耳にする人として会話の場へ導入する表現です。「〜という人」には固有名詞から個別性を奪い取って「名札化」し、「安藤さん」という名札をぶら下げた、とある一人の人「新情報」として会話の場へ導入する働きがあります。

同様のことは実は漢文にもあります。『論語』の一例を紹介しましょう。当時の魯の君主から、あなたの弟子の中で誰が学問好きですかと尋ねられた孔子は、次のように答えます。「顔回ナル者有りテ字ヲ好ム(有顔回者好学)。日本語に訳すと「顔回という人がおりまして、学問を好んでおりました」となることから分かる通り、まさに「安藤さんという人」と同じ効果を持

問一 傍線部 A「さぞ」を用いた次の例文のうち、「さぞ」の使い方が適切なものはいくつあるか。その数として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

5

【例文】

- ・何度連絡しても、彼からの返信はさぞ来なかったらしい。
- ・記録的な猛暑が続き、明日はさぞ四〇度を超えることになるだろう。
- ・あれほどの努力が一瞬で水の泡になったのは、さぞ悔しかったに違いない。
- ・これだけ優秀な人材がそろっているのだから、今年はさぞ優勝できるはずだ。
- ・有名になってからはメディアにひっぱりだかで、さぞ忙しいことでしょう。

- ① 一つ
- ② 二つ
- ③ 三つ
- ④ 四つ
- ⑤ 五つ

— 5 —

問三 空欄 I・II に入ることはとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選べ

(同一選択肢の反復使用は不可。)

- ① あるいは
- ② しかし
- ③ ただし
- ④ たとえば
- ⑤ むしろ
- ⑥ よって

I 6 II 7

問四 傍線部 B「そうした情報はおいしさを保証しない」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ① 値段や料理人、産地などの情報が、おいしさに関する純粋な評価を妨げている、ということ。
- ② 値段や料理人、産地などの情報は、おいしさとは無関係であり、評価の根拠にはならない、ということ。
- ③ 値段や料理人、産地などの情報は、料理がおいしいということを必ずしも約束するものではない、ということ。
- ④ 値段や料理人、産地などの情報は、グルメサイトのレビュー情報に比べて、おいしさの根拠としては弱い、ということ。
- ⑤ 値段や料理人、産地などの情報に振り回されず、自分の舌の感覚のみを頼りにおいしさの評価をおこなうべきだ、ということ。

8

問五 空欄 III に入ることはとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ① 不要だからこそ
- ② 不要である一方
- ③ 不要どころか
- ④ 不要とはいえない
- ⑤ 不要ならば

9

— 6 —

問六 傍線部 C「純粋主義者は舌のみ」という点は放棄してもいいと言おう」とあるが、「放棄してもいいと言おう」のはなぜか。筆者が考える理由として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

10

- ① 味は、舌のみではなく、眼や耳、鼻や肌で感じた情報も組み合わさって構成されているという事実がある以上、「舌のみ」に限定した主張は妥当性を欠くから。
- ② 近年、純粋主義者も「言葉を介した情報」が評価に影響することを次第に理解しはじめており、「舌のみ」に固執していた従来の態度が軟化してきているから。
- ③ 純粋主義の第一目的は「言葉を介した情報」に影響を受けた評価を否定することであるため、この目的が達成できるのであれば、舌による知覚情報が重要だという主張を取り下げても問題はないから。
- ④ 舌よりも、眼、耳など他の感覚器官から得られる情報のほうが、おいしさを評価する根拠として決定的であるため、他の感覚器官も情報源として認めるほうが、純粋主義者の主張の改善につながるから。
- ⑤ 純粋主義者にとって重要なのは、評価の根拠が「自分が感じたもの」だけ、という点であるため、舌の場合と同様に「自分が感じたもの」である眼や耳などから得られた知覚情報を除外する必要はないから。

— 7 —

問七 傍線部 D「このような改訂を行っても、「おいしいかどうかは値段や産地に左右されるのはおかしいのではないか」と思う人の気持ちを拾えている」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ① 「言葉を介した情報」に対する純粋主義者の不満の気持ちを和らげることができている、ということ。
- ② 純粋主義の当初の主張を修正することにはならなかったものの、それでも主張の核心は尊重できている、ということ。
- ③ すべての純粋主義者の主張を否定したわけではなく、一部の純粋主義者の立場には寄り添うことができている、ということ。
- ④ 「舌のみ」という、主張の限定が強すぎた部分を改善したことで、純粋主義の主張の精度を高めることができた、ということ。
- ⑤ 眼や耳など舌以外の感覚器官から得られる情報も容認するよう改訂したが、舌は特別であるという純粋主義の重要部分は維持できている、ということ。

11

— 8 —

第 問 次の文章は、「味は舌のみで評価すべきだ」と主張する「純粋主義」という考えの是非について書かれたものである。これを読んで、後の問いに答えよ。

昼時にたまたま入ったラーメン屋で注文したラーメンがおいしかったとする。こんなにおいしいならさぞ評判となっているだろうと思ひ、ネットのグルメサイトをチェックしてみた。しかし、そこで評判はいまいちだった。そうすると、「やっぱりそんなにおいしくなかったんじゃないか」と思えてくるかもしれない。

I、自分が食べた飲み物や食べ物が「グラム五〇〇円相当のキャビア」「三つ星レストランのシェフが作った」「ブルゴニユ産の五〇年ものヴァンティジワイン」と言われたらどう思うか。そうすると、もはや「おいしい」としか評価できないように思えてくるのではないだろうか。

II、舌で味を評価するのはおかしいように思われるだろう。正直に自分が感じたことを言っていない、評価が歪められている、強制されていると感じられる。評価が値段などの情報に左右されてしまっている。

しかし、情報に左右されることの何が悪いのだろうか。その理由の一つとして、「舌で味を評価するのはおいしさを保証しない」と言われるかもしれない。たとえば、採取できる量が少ない食材のなかには、別においしくはないけれども高いものがある。流通量が少なければ希少価値がついて値段が高くなるので、貴重であれば値段が上がるのだ。そのため、「値段が高い」という情報は、その食べ物をおいしいと評価する根拠にはならない。そして、根拠にない情報をおいしさを左右するのは「トウダ」と思われるのである。

同じことは他の情報にも当てはまる。おしゃれた名前がついているからといっておいしいとは限らない。有名な産地の米でも、保存状態や調理方法が良くなければおいしくならない。有名なシェフが作った料理でも、何らかの理由でシェフが力をハツキでできていなければおいしくないだろう。

そうすると、おいしいかどうかは自分で感じたことに基づいて判断するしかない、と思えてくるのではないだろうか。私断の十分な根拠になるように思われる。

そうすると、舌から得られた情報があれば十分であり、他の情報は不要だと思われるだろう。III、他の情報は感じたままの評価を妨げるもの、自分の純粋な体験を汚染する邪魔者に思えてくる。このようにして、自分が感じたものだけを重視し、他の情報を排除する純粋主義が支持されるようになる。

純粋主義は「舌のみで評価すべき」と主張する立場である。とはいえ、この主張はそのままでは維持できない。第一章でみたように、私たちが普段感じている味は五感すべてが働くことで得られるものだからである。舌だけでなく、眼や耳、鼻や肌で感じたものも味を構成しているのだ。

とはいえ、純粋主義者は「舌のみ」という一点は放棄してもいいと言っている。そこは一番大事な点ではないからだ。純粋主義が否定したいのは、「値段が高い」「有名なシェフが作った」「スープは丸二日煮込んでいる」といった情報が評価に影響することである。

こうした情報は自分の感覚器官を働かせて得られるものではない。むしろ、雑誌に書かれた「このラーメン屋のスープは丸二日煮込んでいる」という文字を見たり、誰かがそう言ったりしたのを聞いたりして、その言葉を頭で理解して得られるものだ。料理名、材料の産地、値段、料理人の経歴、調理の手間暇といった情報は「自分が感じたもの」ではなく、「言葉を介して頭で理解したもの」なのである。

純粋主義の第一目的は、こうした「言葉を介した情報」を排除することである。そのため、「舌のみ」という一点は放棄しても良さそうだ。むしろ、眼や耳を使って得られる情報も、舌を使って得られる情報と同じく、「自分が感じたもの」である。それらも知覚によって得られる情報であり、評価の直接的な根拠として認められるだろう。

まとめると、純粋主義は「評価は知覚によって得られる情報に基づいて下すべき」と主張する立場として改訂できる。このような改訂を行っても、「おいしいかどうかは値段や産地に左右されるのはおかしいのではないか」と思う人の気持ちを抱え

ているのではないだろうか。しかし、立場が明確になると、皮肉なことに、その弱点や難点も明るみに出てしまう。次に、純粋主義の問題をシテキし、この立場が受け入れたいものであることを示したい。

純粋主義が特別視する知覚的な情報は、舌が反応する基本味(甘味・塩味・苦味・酸味・うま味など)、嗅覚が捉えるにおい、触覚が捉える温度・重さ・硬さ・食感、喉越し、聴覚が捉える音(咀嚼音など)、眼が捉える色・形・大きさ、といったものになるだろう。たとえばラーメンを食べるとき、そこで得られる知覚情報は「見た目は黄色で細長く、味はしょっぱくて油っぽく、それなりに噛みごたえがあり、温かい」といったものになる。こうした情報に基づいて下される「おいしい」という評価こそ、純粋主義が本物の判断とみなすものだ。

だが、ここで注意してもらいたいことがある。それは、目の前にラーメンが出てきたときに、私たちは「食べても大丈夫なのか」といちいち考えてないという点だ。ラーメンを初めて見た人はそうだったことを考えるだろうが、多くの人はそうではない。店で提供されるものはだいたい安全で、食べても大丈夫だと私たちは知っている。

IV、店で食中毒が起こることもあるが、衛生力(リ)がしっかりした現代の多くの飲食店で提供される食べ物は「安全だ」。私たちは「店で提供されるものはだいたい安全」という知識があるからこそ、いちいち安全性を考えることなく提供されたものを食べることができる。もし安全性が確保されていなかったら、食べ物のにおいを何度も嗅ぎながら少しずつ口に入れて咀嚼し、野生動物のように食べなければならぬだろう。

重要なのは、安全性に関する知識は知覚情報に含まれていないことである。もし純粋主義の認める知覚情報しか使えないなら、何かを食べるときには「食べて大丈夫なのか」というところから考えなければならぬ。だが、そんなことを考えている人はほとんどいない。もし純粋主義を支持しようと思つたら、「安全性を考えると食べる行動は知識に汚染された不純なものであり、とるべきではない」と言う必要が出てくる。そして、毎回まったく知らない食べ物として安全性を「から真剣にチェックしなければならぬ。しかし、そんなことが本当にできるだろうか。かりにできたとしても、毎回そんなことを気にかけていた

ら食事は楽しめないし、評価どころではないだろう。(源河孝『美味』による。なお、設問の都合上、原文を一部改変した箇所がある。)

(注) *第一章でみたように……問題文は第四章からのものであるが、本書の第一章で味と五感の関係について説明されている。

問一 傍線部 a、d と同一の漢字を使うものを、次の各群の ①～⑤ のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- | | | | |
|---|--------------|---|--------------|
| a | フトウ | b | ハツキ |
| ① | ボウトウの挨拶 | ① | 楽団のシキ者 |
| ② | 議會でトウベンする | ② | キンヨウの空論 |
| ③ | 地価がコウトウする | ③ | 事業がキドウに乗る |
| ④ | 前例をトウシユウする | ④ | 人生のフキ点に立つ |
| ⑤ | 突然のごとでトウワクする | ⑤ | 合図があるまでタイキする |
-
- | | | | |
|---|---------------|---|-----------------|
| c | シテキ | d | カンリ |
| ① | 環境にテキオウする | ① | 水道のハイカン工事 |
| ② | 機関車がキテキを鳴らす | ② | 首尾イツカした主張 |
| ③ | 病変部をテキシユツする | ③ | カンダンなく水が湧き出る |
| ④ | 要点をタンテキに説明する | ④ | 勝てばカンザン、負ければ賊軍 |
| ⑤ | 鉄にヒツテキする強度の木材 | ⑤ | 民主主義のコンカンに関わる問題 |

第二問 次のそれぞれの問いに答えよ。

問一 (i) (v) の空欄に入ることはとして最も適当なものを、次の各群の ①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

(i) 昨年の陸上競技全国大会では、あと一息のところまでライバルに負けてしまったが、今年こそは必ず雪辱を [] つもりだ。

- ① 致す ② 流す ③ 果たす ④ 晴らす ⑤ 満たす

[31]

(ii) 長年不調が続いた選手に引導を [] 。

- ① 送る ② 示す ③ 託す ④ 譲る ⑤ 渡す

[32]

(iii) 捜査は暗礁に [] しまった。

- ① 埋まって ② 陥って ③ 立ち入って ④ 乗り上げて ⑤ 踏み込んで

[33]

(iv) ケガで降板していた選手がリハビリに励み、今期、満を [] 試合に出場した。

- ① 講じて ② 持して ③ 足して ④ 転じて ⑤ 欲して

[34]

(v) 不祥事を起こした芸能人は、しばらくの間、鳴りを [] いた方がよい。

- ① 集めて ② 隠して ③ 止めて ④ 潜めて ⑤ 求めて

[35]

問二 (i) (v) と対照的な意味をもつことばとして最も適当なものを、次の各群の ①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

(i) 高尚

- ① 安泰 ② 傘下 ③ 低俗 ④ 卑屈 ⑤ 矮小

[36]

(ii) 不毛

- ① 壮大 ② 多寡 ③ 如实 ④ 富豪 ⑤ 肥沃

[37]

(iii) 陳腐

- ① 肝要 ② 厳密 ③ 斬新 ④ 純粹 ⑤ 鮮明

[38]

(iv) 安易

- ① 困窮 ② 熟練 ③ 慎重 ④ 難色 ⑤ 複雑

[39]

(v) 悠長

- ① 概略 ② 過激 ③ 狭量 ④ 性急 ⑤ 早計

[40]

問三 (i) (v) のことばの使い方として最も適当なものを、次の各群の ①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

(i) 機微

- ① 心に余裕がないときに読んでも、この小説の機微に触れることはできない。
② 幼少の頃から機微で優しい性格だった妹は、現在、看護師として立派に働いている。
③ 彼はプレーヤーとして若いとは言えないが、重要な場面で見せる反応はいつも機微だ。
④ かつては日本の水辺に生息していたメダカも、今では機微な存在となってしまうという。
⑤ 昨日、テレビ番組で携帯電話の内部構造を見たが、そのあまりに機微なさまに驚いてしまった。

[41]

(ii) 本末転倒

- ① 詐欺師は虚偽の内容をまるで真実であるかのように語って巧みに人々を信じ込ませており、本末転倒である。
② 今年の大会では、万年最下位の弱小チームが次々と強豪を打ち破って優勝を果たし、本末転倒の結果となった。
③ 事業は成功続きで順調に進んできたが、最後の最後、小さなミスが大失敗につながり、本末転倒となってしまった。
④ 社内の小さな問題はスピーディーに解決されていくものの、根本的な問題には誰も気づいておらず、本末転倒だ。
⑤ 内容を整理するために文字の色等を工夫して講義のメモをとっているが、こりすぎて話に集中できず、本末転倒だ。

[42]

(iii) 喧嘩

- ① いくら喧嘩しても、賢い消費者は騙されない。
② 都会の喧嘩を離れて、のんびり田舎暮らしをする。
③ 書道家の、躍動的で喧嘩な筆遣いに心を奪われた。
④ 根は正直な人間だが、喧嘩の多いのが彼の欠点だ。
⑤ 出会った頃は喧嘩に明け暮れたが、やっと理解し合えた。

[43]

(iv) 他山の石

- ① 自分の考え方は違うアイデアも積極的に採用し、他山の石を取り入れるようにしよう。
② 大部分のメンバーが抜けた私たちのチームは、別のチームから他山の石を借りて人手を補った。
③ 私たちのチームだけが人員も予算も足りず、不遇を受けており、他山の石をうらやましく思う。
④ 先陣を切ったチームの失敗を他山の石として、私たちのチームは同じ目に遭わぬよう注意しよう。
⑤ 他所でうまくいったアプローチが、うちでもうまくいくとは限らないのだから、考えなしに他山の石をまねするようではない。

[44]

(v) 恣意的

- ① 彼の発案は、ただの思いつきで、熟考を経っていない穴だらけの恣意的な計画だ。
② 彼は今、ささいなことでも極度に落ち込みやすく、非常に恣意的な精神状態だ。
③ 彼は、ルールを自分にとって都合のよいように恣意的に解釈し、運用している。
④ 質問に対して、彼は白とも黒とも言わず、ことばを濁して恣意的な回答をした。
⑤ 彼は、何でも人のせいにして、他人に責任を押しつけてばかりの恣意的な人間だ。

[45]

問七 傍線部C「この「デジタル」優位の時代において「アナログ」がダメとは限らない」のはなぜか。その理由として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 「デジタル」は「アナログ」よりも優れているが、それだけで「アナログ」を排除するのはあまりに無慈悲であるから。
- ② CD全盛の時代ではなくなってしまうが、アナログレコードで音楽を聴く方がむしろ「デジタル」の特徴に合致していると言えるから。
- ③ 「アナログ」は時代遅れで劣っている」というイメージがある反面、「懐かしい」温かみがある」などの理由で評価されるものでもあるから。
- ④ 「アナログ」という言葉の持つ「時代遅れで技術的に劣っている」というネガティブなイメージ」はあくまで幻想であり、事実とはかけ離れているから。
- ⑤ アナログレコードが音質面に明らかな弱点を抱えていても、デジタル技術によって音質を補充することが可能であるように、「アナログ」と「デジタル」は共存し得るものであるから。

26

— 17 —

問八 傍線部D「アナログ」と「デジタル」を区別する上で最も重要な基準は、それが連続的な量を用いるか離散的な数値を用いるかにある」とあるが、その具体例の説明として最も適切なものはどれか。次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 「アナログ」の例として、レコード盤にはデジタルにはない温かみがあり優れている、ということが挙げられる。
- ② 「アナログ」の例として、音の作り出す振動をレコードの溝という離散的な量によって表示する、ということが挙げられる。
- ③ 「デジタル」の例として、手足のサイズを測る際、縦が何センチで横が何センチでというようにデータを事細かに測定しておく、ということが挙げられる。
- ④ 「デジタル」の例として、型に粘土などを流し込み、実寸大の手足や爪、毛などというセンサイなニュアンスまでも細かく表現する、ということが挙げられる。
- ⑤ 「デジタル」の例として、連続した音の集まりである音楽を、これまた連続的な数値に変換し、機械的処理によって再現しようとする、ということが挙げられる。

27

— 18 —

問九 傍線部E「意外にちゃんとした理由があったのだ」とはどういうことか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選べ。

- ① 「デジタルパーマ」は離散的な数値を用いるわけではないという点で厳密には「デジタル」とは言えないが、先端的で優れているという点では、「デジタル」の特徴と部分的に合致すると言えること。
- ② 「デジタルパーマ」は表現の豊かさを誇るという点で厳密には「デジタル」とは言えないが、同じスタイリングを維持しやすく再現性があるという点では、「デジタル」の特徴と部分的に合致すると言えること。
- ③ 「デジタルパーマ」は先端的で優れているというわけではないため、厳密には「デジタル」とは言えないが、同じスタイリングを維持しやすく再現性があるという点では、「デジタル」の特徴と部分的に合致すると言えること。
- ④ 「デジタルパーマ」は離散的な数値を用いるわけではないという点で厳密には「デジタル」とは言えないが、再現性に乏しく劣化しやすいという性質を持つという点では、「デジタル」の特徴と部分的に合致すると言えること。
- ⑤ 「デジタルパーマ」は離散的な数値を用いるわけではないという点で厳密には「デジタル」とは言えないが、同じスタイリングを維持しやすく再現性があるという点では、「デジタル」の特徴と部分的に合致すると言えること。

28

— 19 —

問十 空欄IVに入る言葉として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 一問一答
- ② 一喜一憂
- ③ 一進一退
- ④ 一朝一夕
- ⑤ 一長一短

29

問十一 問題文の内容に最もよく合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 何かの量を別の何かの量に置き換えて表現する「アナログ」と、量ではなく抽象的な数値に変換する「デジタル」とでは、「デジタル」の方が便利である。
- ② 「デジタル」と「アナログ」の間には、情報を離散的な変化で表すか連続的な変化で表すかという差異は存在するものの、優劣が存在するとはまでは言えない。
- ③ 「高度な技術」というイメージのみで理解されがちな「デジタル」は、実のところ、連続的な数値を用いることで、劣化しにくく再現性の高いものを生み出せるという特徴も有している。
- ④ 「アナログ」は表面的には懐かしさや温もりをイメージさせ、懐古趣味を満足させるものだが、その根底には、連続的な量を用いることで、表現の豊かさと再現性の高さを発揮するという特徴がある。
- ⑤ 現代は「デジタル」と名の付くものが氾濫し、「デジタル」礼賛一辺倒になっているが、数値化されたデータはあくまで再現性に優れているだけで現実そのものを正確に写し取っているわけではないため、「デジタル」を捨て去り、「アナログ」的なものを採用すべきである。

30

— 20 —

表現の豊かさを誇る反面、再現性に乏しく劣化しやすいという性質を持つているのである。対して「デジタル」の方はどうかと言おうと、ただの数値の寄せ集めではあるが、ひとたびそのデータが取られてしまえば何度でも同じように再現することが可能である。後はデータのサンプル数を増やし、離散的な数値を連続的な量に変換するための技術を向上させれば良い、ということになる。余談ではあるが、冒頭で紹介した「デジタルバーマ」はその別名を形状記憶バーマとも言い、他のバーマより持ちが良くスタイリングをキープしやすいという特徴がある。要するに、劣化しにくく再現性が高いから「デジタル」と呼ばれているらしい。厳密に言えば「デジタル」そのものではないが、意外にちゃんとした理由があったのだ。

そんなことはさておき、我々が忘れてはならないのは、何かの量を別の何かの量に置き換えて表現する「アナログ」と、何かの量ではなく抽象的な数値に変換する「デジタル」は、あくまでそれぞれにⅣがあつて、どちらかが一方的に優れていてどちらかが絶対的に劣っているというのではないということだ。また、「デジタル」は必ずしもコンピュータのような高度なテクノロジーを意味しているのではなく、あくまで演算の得意なコンピュータが「デジタル」という方式と相性がいいというだけなのである。

ただ、現代という時代がこうも「デジタル」礼賛一辺倒になつてしまうと、「アナログ」が懐古趣味を満足させるためだけの単なる余技的なものだと見なされてしまうのも無理はない。そのような誤解を払拭するためにも、「アナログ」は懐かしさや温もりをイメージさせるという表面的な理解を超えて、その根底にある思想を取り出さなければならぬのではないだろうか。(中島啓勝『『おくれの現代社会論』〇〇と□□ロジ』による。なお、設問の都合上、原文の一部を改変した箇所がある。)

問一 問題文には次の一文が欠落している。補うべき場所として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

16

それを知るためには、結局のところこの二つの概念が何を表しているのかを確認しておかなければならないだろう。

- ① ア
- ② イ
- ③ ウ
- ④ エ
- ⑤ オ

問二 傍線部a、dと同一の漢字を使うものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

a 17 b 18 c 19 d 20

- | | |
|--|--|
| <p>a キッキン</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 出入りキンになる ② キンダイ的な価値観 ③ キンチヨウを和らげる ④ ジョウキンの職に就く ⑤ キンカン楽器を演奏する | <p>b フウチヨウ</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ケンチヨウ所在地 ② ビアノのチヨウリツ ③ 困難にチヨウセンする ④ 海面がマンチヨウになる ⑤ 病気のチヨウコウがある |
|--|--|

- | | |
|---|--|
| <p>c バイタイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ① バイウ前線 ② 所得がバイゾウする ③ 商品をテンバイする ④ 裁判のバイシミン ⑤ バイシヤク(二)を務める | <p>d センサイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 理論とジッセン ② 植物の茎のセンイ ③ 選手センセイをする ④ ウイルスにカンセンする ⑤ 歴史的ハンセンをたてる |
|---|--|

問三 空欄Ⅰ・Ⅲに入ることばとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。(同一選択肢の反復使用は不可)

① さながら ② その一方で ③ だから ④ つまり ⑤ まるで

Ⅰ 21 Ⅲ 22

問四 傍線部A「代名詞」の問題文中の意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 珍しい具体例

② 伝統的で格式高い名詞

③ 名詞の代わりに用いられる語

④ 「彼」あなた など人称を表す言葉

⑤ そのものをよく表している代表的な例

23

問五 傍線部B「デジタル」に付与された正の価値は反転し、冷たくて無感情で高圧的というイメージも生まれてくる。の説明として最も適当なものを、次の①～⑤から一つ選べ。

24

- ① 「デジタル」という言葉は、「懐かしさや温かさ」というイメージとは裏腹に、威圧的で無礼なイメージも伴うことになる、ということ。
- ② 「デジタル」という言葉は、先端的で優れているもの」というイメージとは裏腹に、もともと高齢者を排除する意味合いを含蓄してしまつていて、ということ。
- ③ 「デジタル」という言葉は、「高度な技術」のイメージとは裏腹に、それについてこれない者を容赦しないという冷たいイメージも伴うことになる、ということ。
- ④ 「デジタル」という言葉は、「時代遅れ」「社会的損失」というイメージとは裏腹に、インターネットなどの普及によって「高度な技術」を表すようになる、ということ。
- ⑤ 「デジタル」という言葉の持つ「高度な技術」のイメージとは裏腹に、何が「デジタル」なのか不明なもので「デジタル」という言葉を冠して普及してしまつていて、ということ。

問六 空欄Ⅱに当てはまる言葉として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

25

- ① 有無
- ② 強弱
- ③ 新旧
- ④ 是非
- ⑤ 存否

問九 傍線部Gは、「その土地では、自分の土地とは異なる習慣があったとしても、その土地の習慣に従うのがよい」という意味のことわざから一部分を抜いて空欄にしたものである。空欄()に入ることはとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ① 行つて ② 入つて ③ 住んで ④ 就いて ⑤ 做つて

問十 空欄 I に入ることはとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ① 解釈 ② 限界 ③ 象徴 ④ 定義 ⑤ 矛盾

問十一 傍線部H「この基礎づけそのものの妥当性もさらに問い直すことができる」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

① 倫理的な規範の正しさについては、その規範に人々が従わなければならない理由や根拠を示すことで、裏づけることができるということ。

② 「人間の生命にはソングンがある」という主張が妥当なものであることを示す根拠を追加で提示し、論を補強することが可能だということ。

③ ある規範の妥当性を説明するためにあげた根拠について、その根拠自体が妥当であるかを突きつめて検討するという作業が、倫理学ではなされるということ。

④ 「人間の生命にはソングンがあるから」という基礎づけは、重要概念である「ソングン」とは何かがそもそも定義されていないため、無効であるということ。

⑤ 「正命を脅かされている子どもがいたら、その子どもを助けるべきである」というような、一見して明らかに正しいように思える規範にすら、倫理学では疑問を投げかけるということ。

問十二 問題文の内容に最も合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 倫理学とは、正しい規範を示すことで、悪しきおこないを戒め、人々が善行に向かうように導くための学問である。

② 「〇〇すべき」という規範であっても、それが「習慣」に関するものである場合、その規範は倫理的に妥当とはいえない。

③ 倫理学において、規範は、「〇〇である」という事実を根拠にするものと、「〇〇したい」という嗜好を根拠にするものとに区別される。

④ 「大阪のエスカレーターでは右に立つべきである」という規範は根拠による裏づけができないため、倫理的に間違っているということになる。

⑤ 規範の正しさについて、本当に正しいのか、なぜ正しいといえるのか、そもそも正しさとは何なのかなどを検討することが倫理学の仕事である。

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

皆さんは「デジタル」という言葉を聞いて、どのような印象を抱くだろうか。少し考えてみただけでも、「デジタル技術」「デジタル時計」「デジタル放送」など、我々の周りには「デジタル」が氾濫しているわけだが、普段はその意味を深く吟味することもなく、先端的で優れていることを指している、と、ぼんやり思っている人も多いのではないだろうか。中には「デジタルパーマ」のように、何がどう「デジタル」なのかよくわからないままに広まっているものもある。ヘアスタイルが「デジタル」とは一体どういうことなのか。(ア)

とにかく、コンピュータとインターネットが普及した現代においては、「デジタル」は高度な技術の代名詞としての地位を確立している。そのため、あらゆるものの「デジタル化」がキッキン^aの課題として語られ、これに対応できないことは時代遅れで社会的損失につながるというワウチヨウ^bすらある。こうなってくると「デジタル」に付与された正の価値は反転し、冷たくて無感情で高圧的というイメージも生まれてくる。実際、「年配の方を中心に、「デジタル」と聞くともうそれだけで苦手意識が出てしまうという人も多いのではないだろうか。(イ)

そうだとすると、「デジタル」の対義語である「アナログ」にも、ちよど裏返しになったような形で正と負の両方のイメージが結びついていると言つてことができる。つまり、時代遅れで技術的に劣っているというネガティブなイメージがあるのと同時に、懐かしさや温かみを感じさせるという好意的なイメージもまた、「アナログ」という言葉は連想させるのだ。(ウ)

例えば音楽の世界では、高音質のデジタル音源をネットワークを介して気軽に配信できるようになったことで、同じデジタル音源を扱う記録メディアであるCDの存在意義は完全に薄れてしまった。しかしそれは対照的に、昔ながらのレコード、ビニールでできた円盤に針を当てて音を出すという、原理としては蓄音機の時代から変わらない方法を用いているアナログレコードは、ホコリや静電気、そして盤面自体の傷などに起因するノイズとは無縁ではあり得ない。音質面は明らかに弱点を抱えているにもかかわらず、アナログレコードはジャケッットなども含めたグッズとしての魅力だけでなく、そのノイズ混じりの音そのものに対しても好意的な評価を受けることが少なくない。(エ)

「レコードの音が懐かしい」「デジタル音源にはない温かみがある」「いや、実はアナログの音の方がデジタル音源よりも優れている」など、評価の理由は様々であり(ここでそのIIを問うことはできないが、とにかくこの「デジタル」優位の時代において「アナログ」がダメとは限らない)ということをこの例は示している。

と、ここまで「アナログ」と「デジタル」にまつわる印象について長々と述べてきたが、何故このような印象が生まれてくるのか。(オ)

「アナログ」と「デジタル」を区別する上で最も重要な基準は、それが連続的な量を用いるか離散的な数値を用いるかにある。先述の音楽を再び例に挙げて説明しよう。音楽とは一定の時間に渡って持続する音の波の集まりであり、ある種の連続した量と見なすことができる。これを記録したり表示したりする際に、音が発生する振動をレコード盤に直接刻みつけるのが「アナログ」であり、周波数の山や谷を数値に置き換えてしまおうのが「デジタル」という方式である。音楽という連続的な量を、レコードの溝という連続的な量によって再現しようとするのか、離散的、つまりバラバラな数値によって構成されたデータに変えてしまひ、そのデータの機械的な処理によって再現しようとするのか、両者を分ける根本的な相違点だと言える。

音楽の例でわかりにくければ、手足のサイズを測る時のことを考えてみて欲しい。この場合、石膏などで型取りをするのが「アナログ」で、縦・横・高さなどの数値を測定しておくのが「デジタル」である。手足の型があれば、そこに粘土などを流し込むことによって実寸大の手足を再現する作業は容易であり、爪や毛の形のようなセンサイなニュアンスまで表現できる。

III、縦が何センチで横が何センチと言われても、その手足がどのような形をしているのかを思い浮かべることは難しい。また、爪や毛のデータまで詳細かに記録しておかなければ、それはまるでなかったことになってしまひ、単に手足の大ききの情報だけが残ることとなる。

しかし、石膏で取った型は時間が経つにつれて摩擦や変形をしてしまひ、最悪の場合壊れてしまふ。「アナログ」は情報量と

問三 傍線部A「体系」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 教訓や風刺を織りこんだ、示唆に富む物語
- ② 個々の要素が秩序立って整理されたまとまり
- ③ 優先して達成すべき重要事項の膨大なリスト
- ④ 事物について細部に至るまで詳密に解説したものの
- ⑤ 善悪を見極め、正しいおこないをするための価値観

6

問四 傍線部B「理不尽」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 将来ある子どもの命が失われようとしているから。
- ② 自然の大きな力を前にして人間は無力であるから。
- ③ 「あなた」の置かれた状況を知らない他者に対して、「あなた」の行動の理由を説明しなければならないから。
- ④ あまりに短い時間で重大な決断をしなければならないから。
- ⑤ 他者の命と自分の命とを天秤にかけなければならないから。

7

問五 傍線部C「この段階ではあなたが倫理的な行為をしたと言えるかどうかは、まだ分らない」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 何が倫理的に本当に正しいかわからないのは、決めがたいものだから。
- ② 倫理的と言えるかどうかは、助けることを選択したその動機次第だから。
- ③ 「あなた」は単なる自らの個人的な欲求に基づいて子どもを助けただけだから。
- ④ 「あなた」の正義感が他者にも受け入れられるものかどうか、分からないから。
- ⑤ 倫理的か否かは最終的な結果次第であり、救出直後ではその後の安否が不明だから。

8

問六 傍線部D「言い換えるなら」とあるが、どのような目的の言い換えがなされているか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 暗に前提とされていることを明確化するための言い換え
- ② 難解な論述を、噛み砕いて分かりやすくするための言い換え
- ③ 同一の概念を、異なる分野の用語に変換するための言い換え
- ④ 抽象的な説明を、読者に身近な話に喩えてイメージしやすくするための言い換え
- ⑤ 不正確で誤りがあった部分を訂正し、信頼性の高い説明に改善するための言い換え

9

問七 傍線部E「それは、「この世界に犯罪がある」ということが、「だから、この世界に犯罪があるべきである」ということを意味しないのと同様である」とあるが、エスカレーターに関する話題のなかで犯罪の話題を取り上げた筆者の意図は何だと考えられるか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 事実とは何か、規範とは何か、ということについて、両者の違いを解説するための具体例をあげるため。
- ② 身近な話題から社会問題に至るまで、倫理学で取り扱うテーマの範囲が非常に広いことを示すため。
- ③ ある事実が存在するからと言って、それを根拠に規範を導き出すことはできないということを、極端な例を用いて明確化するため。
- ④ 社会規範からの逸脱行為である犯罪を事例として、倫理・倫理学の分野におけるより重要なトピックを導入するため。
- ⑤ なぜこの世界に犯罪があるのかという問いも、エスカレーターの問いと同様に、誰も満足に答えられないことを示すため。

10

問八 傍線部F「反論が返ってきた」とあるが、それはどのような反論で、また、その反論に対して筆者はどのようにしているか。それぞれの説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 「反論 エスカレーターで右に立つか左に立つかというのは単なる「習慣」の問題であって、「倫理」の問題ではない。
- ② 「筆者の返し」 「習慣」と「倫理」とを無関係な別物とすることは適当ではない。
- ③ 「反論 エスカレーターでの立ち位置については、「倫理」と呼ぶにはあまりに重みのない小さな問題である。
- ④ 「筆者の返し」 エスカレーターでの立ち位置は、「倫理」と見なすべき重大な問題である。
- ⑤ 「反論 エスカレーターでの立ち位置をどうすべきという規範に倫理的な妥当性はない。
- ⑥ 「筆者の返し」 確かに、エスカレーターでの立ち位置は「習慣」の問題であるため、倫理的な妥当性を問うことはできない。
- ⑦ 「反論」 「習慣」と「倫理」とは語源的には別物であるため、エスカレーターでの立ち位置という「習慣」は倫理学で扱う問題ではない。
- ⑧ 「筆者の返し」 古代ギリシア語まで遡ると、「習慣」は「倫理」と語源的に関係があることが分かる。
- ⑨ 「反論」 エスカレーターで右・左のどちらに立つべきかは地域的な「習慣」によって異なり、普遍的な「倫理」が存在するわけではない。
- ⑩ 「筆者の返し」 確かにそのとおりで、地域的な「習慣」である以上、なぜそうすべきなのかについて誰も納得するような説明はできない。

11

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

倫理とは、「人間がよりよく生きるために何をすべきなのかを説明する、ある規範の体系」である。定義には「規範」という言葉が含まれている。規範とは、「〇〇するべきである」という形で表現される主張のあり方である。そして規範は「〇〇である」という事実の主張と、「〇〇したい」という選好の主張から、それぞれ区別される。

次のような状況を考えてもらいたい。あなたが海岸線をドライブしていると、波にさらわれそうになっている子どもを見かけた。その子どもは自分の力で絶対に波に逆らえそうにない。幸い、いまあなたが海に飛び込めば、その子どもを助け出すことが可能だ。(ウ)

このような状況に遭遇したとき、あなたの前には行為の選択肢が開かれる。ドライブを中断してその子どもを助ける。ドライブを続けてその子どもを見殺しにする。あるいは、その子どもは助けたいが、自分が海に飛び込むのははばかられるので、他に助けを呼ぶ。いろいろな選択肢があるだろう。とにかくあなたはそこから一つを選ばなければならない。理不尽な話だが、仕方ない。現実の決断とはそのように突然やってくるのだ。

もちろんあなたは何をண்டும்構わないが、その後起きることは、あなたの選択によって大きく変わることになる。場合によってその結果に対してあなたは責任を負うことになるだろう。責任を負うということは、自分がなぜその行為を選択したのかを、他者に説明しなければならない、ということだ。

あなたが海に飛び込んでその子どもを助けたいと思う。しかし、この段階ではあなたが倫理的な行為をしたと言えるかどうかは、まだ分からない。もしかしらあなた、海で溺れている人を見たら助けるのが趣味であり、助けたくて仕方なくて、ウキウキしながら海に飛び込んだかもしれないからだ。この場合には、あなたは規範に従ってその子どもを助けたことにはならない。あなたは単に「溺れている人を助けるのが好きだ」から助けたのであり、それは選好に基づいているのであって、規範に基づいているわけではないからだ。したがって、この場合にはあなたの行為は倫理的ではない。(イ)

それに対して、あなたが「生命を脅かされている子どもがいたら、その子どもを助けるべきである」という規範に基づいてその子どもを助けたなら、その行為は倫理的である。(ウ)

あなたはその子どもを助けたことで、ピシヨピシヨに濡れて帰宅し、そのことを家族から問い詰められるかもしれない。しかし、そのときあなたは次のように応答することができる。「目の前で生命を脅かされている子どもがいたら、その子どもを助けるべきだ。だから助けたんだ」と、このように、倫理的な規範は自分の行為を他者に対して説明し、その行為の正当化を可能にする。正しい規範に基づいて行為することは、他者への責任を果たす上で欠かすことのできないものである。(エ)

反対に、あなたがドライブを続けることを優先し、その子どもを見殺しにしてしまったら、どうなるだろうか。もしもあなたが気づいていないところで、あなたが子どもを見殺しにしたことを目撃した人がいたら、あなたはその子どもを見殺しにした責任を問われるかもしれない。そのときは、「なぜ、生命を脅かされている子どもがいたら、その子どもを助けるべきなのに、お前はその子どもを見殺しにしたんだ」とヒナンされるかもしれない。そのヒナンに対して自分の行為を正当化できないなら、あなたの行為は倫理的に間違っていたことになる。(オ)

では、こうした「倫理」と「倫理学」の違いはどこにあるのだろうか。倫理とは単なる規範の体系である。それに対して、倫理学とは、その体系の妥当性を明らかにする学問である。妥当性とは、正しいと考えられる根拠がある、ということだ。このことは、言い換えるなら、単なる倫理には、その妥当性が明らかにされていない規範も含まれている、ということである。

例えば、東京でエスカレーターに乗るとき、多くの人は左に立つが、大阪では右に立つ。なぜということはないが、とにかくそうする「べき」ということになっている。それも一つの規範ではあるだろう。実際、みんながこの規範に従うことで、エスカレーターの世界には一定の秩序が形成されていることも事実である。

しかし、この規範には妥当性がない。「なぜ大阪ではエスカレーターの右に立つべきなのか」と問われたとして、この問いに對する満足のいく答えなど誰にも説明できないだろう。強いて言えば、「みんなが右に立つから」だろう。しかしそれは答えに

なっていない。なぜなら、「みんなが右に立つ」ということは事実であって、規範ではないからだ。「みんなが右に立つ」ということは、「だから、みんなが右に立つべきである」ということを意味しない。それは、「この世界に犯罪がある」ということが、「だから、この世界に犯罪があるべきである」ということを意味しないのと同様である。

妥当性がない規範とは、それがなぜ正しいのかを説明できない規範である。そうした規範に従っているとき、人々は、自分がなぜその規範に従うべきなのかを、理解することも説明することもできない。それに対して、どのような規範に妥当性があるのか、そもそも妥当性があるとはどういうことなのかを探究することが、倫理「学」の仕事である。

このようなことを書くとき、そもそもエスカレーターで左右のどちらに立つべきか、ということとは倫理でも何でもなく、という反論が返ってきたら、それは単なる「習慣」に過ぎないのだから、倫理と呼ばれるようなオオキョウなものではない、と。確かにそうかもしれない。しかし、そもそも「倫理 ethics」という言葉は古代ギリシア語の「ethos」に由来し、この言葉はもともと「習慣」を意味している。倫理と習慣は語源において兄弟なのである。言うまでもなく、習慣に妥当性があるとは限らない。(郷に「」は郷に従え」と言うが、絶対に右ではなく左に立つという信念を持った人に対して、どんなに言葉を尽くしても、大阪でエスカレーターに乗るときに右に立つことを納得させることはできないだろう。それが「大阪ではエスカレーターで右に立つべきである」という規範の「I」なのである。

では、妥当性を持つ規範とはどのようなものだろうか。例えば、「生命を脅かされている子どもがいたら、その子どもを助けるべきである」という規範は、エスカレーターでどちらに立つかという規範よりは、妥当性が認められそうだが、なぜなら、この規範に人々が従わなければならない理由をさらに説明できるからである。倫理学のリョウイキではその作業を「基礎づけ」と呼ぶ。この場合には、「なぜなら、人間の生命にはソングがあるから」という基礎づけが可能だろう。

ただし、この基礎づけそのものの妥当性もさらに問い直すことができる。規範の妥当性を説明する理由にも妥当性が問われるのである。(戸谷洋志「未来倫理」による。なお、設問の都合上、原文を一部改変した箇所がある。)

問一 問題文には次の一文が欠落している。補うべき場所として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

あるいはそこで沈黙してしまつたら、それは無責任だ。

- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ ⑤ オ ⑥ カ

問二 傍線部 a、d と同一の漢字を使うものを、次の各群の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

<p>a ヒナン</p> <p>① ヒコウに走る ② ヒニクを言う ③ 論理のヒセキ ④ 容疑をヒニンする ⑤ ヒロウエンを行う</p>	<p>b オオキョウ</p> <p>① 一点をキョウシする ② 血液がキョウコする ③ キョウテンにいくつか星が見えた ④ キョウテンして腰を抜かす ⑤ 古代史にツウキョウしている</p>
<p>c リョウイキ</p> <p>① 一挙リョウトク ② 公序リョウゾク ③ リョウシユウ書をもらう ④ 多くの人をミリョウする傑作 ⑤ 暖味さのないメイリョウな表現</p>	<p>d ソンゲン</p> <p>① 危急ソンプウの秋 ② ソンに遺言を残す ③ ソントク助定で動く ④ ケンソソしてはばらない ⑤ 上から目線のソングイな態度</p>

小論文【出題意図・解答例】（1日目）

小論文では時事問題をテーマに、データを読み取る力、データから問題を発見する力、問題に対して自らの考えを説得力のある文章で論述する力を試す。問いを通して、文系理系、学問分野を問わず大学で主体的に学ぶために必要な思考力、理解力、文章力などの基礎的能力を評価する。

問1
複数の図表とそれらの説明文から、特徴的なデータを正しく読み取る力を試すとともに、読み取ったデータを正しく加工（加減乗除や割合などの計算）する能力も試す。

【解答】① 0.68（倍） ② 25.2（ポイント）

問2
データの特徴を読み取り、意味を総合的に理解する力や問題点を整理する力を試す。また、データを数量的に把握し根拠を示しながら説明する能力や基本的な文章能力も試す。

問3
発見した問題に対して、それを解決するための提案やその根拠や有効性、反対意見への配慮など自身の考えを説得力のある文章で論述する力を試す。また、小論文としてふさわしい構成・体裁で記述する能力も試す。

小論文【出題意図・解答例】（2日目）

小論文では時事問題をテーマに、データを読み取る力、データから問題を発見する力、問題に対して自らの考えを説得力のある文章で論述する力を試す。問いを通して、文系理系、学問分野を問わず大学で主体的に学ぶために必要な思考力、理解力、文章力などの基礎的能力を評価する。

問1
複数の図表とそれらの説明文から、特徴的なデータを正しく読み取る力を試すとともに、読み取ったデータを正しく加工（加減乗除や割合などの計算）する能力も試す。

【解答】① 17.8（ポイント） ② 2.4（倍）

問2
データの特徴を読み取り、意味を総合的に理解する力や問題点を整理する力を試す。また、データを数量的に把握し根拠を示しながら説明する能力や基本的な文章能力も試す。

問3
発見した問題に対して、それを解決するための提案やその根拠や有効性、反対意見への配慮など自身の考えを説得力のある文章で論述する力を試す。また、小論文としてふさわしい構成・体裁で記述する能力も試す。

英語【出題意図・解答例】（1日目）

I. 語彙
この大問では、基本語彙の意味理解と定義との対応を問うことで、高等学校段階で身につけた語彙力が適切に運用できているかを確かめる。表面的推測や暗記に依存せず、適切に意味を把握する力を評価する。頻出語を扱うことで、広く汎用性のある語彙知識を確認し、大学での専門的学修の基盤となる能力を測る。

II. 文法問題
この大問では、文法・語法に関する基礎力が、文脈に応じて正しく用いられるかを評価する。単なる形式的暗記ではなく、英文中の情報構造や意味関係を踏まえて、整合的な文を構成できるかを問う。大学での読解や表現に必要な基礎的な言語運用能力を測る。

III. 会話文
この大問では、日常的な会話場面を読み取り、英語の日常会話表現だけでなく、話し手の意図、立場の相違などを把握する力を評価する。文脈に基づいて会話を解釈し、論理的に推論する能力を求める設問とすることで、言語理解と分析的認識力の双方が確認できるようにした。

IV. 長文読解問題
この大問では、比較的長い英文を読み取り、段落ごとの内容や語彙・指示語の意味、要旨や具体例を整理する読解力を問う。文と段落の論理的つながりに基づいて、文章全体の展開や主張を把握する力を確認し、論理的思考力と分析的理解を測る。本文の根拠に基づいて解答できるよう設計し、大学での専門的学修に必要な基礎的読解力を判断する。

- 1
1) ③ 2) ④ 3) ① 4) ③ 5) ①
6) ②
- 2
7) ② 8) ④ 9) ① 10) ③ 11) ④
12) ① 13) ④ 14) ③ 15) ③ 16) ②
17) ① 18) ③
- 3
19) ① 20) ④ 21) ④ 22) ② 23) ①
24) ② 25) ③
- 4
26) ④ 27) ④ 28) ① 29) ③ 30) ②
31) ② 32) ④

英語【出題意図・解答例】（2日目）

I. 語彙
この大問では、基本語彙の意味理解と定義との対応を問うことで、高等学校段階で身につけた語彙力が適切に運用できているかを確かめる。表面的推測や暗記に依存せず、適切に意味を把握する力を評価する。頻出語を扱うことで、広く汎用性のある語彙知識を確認し、大学での専門的学修の基盤となる能力を測る。

II. 文法問題
この大問では、文法・語法に関する基礎力が、文脈に応じて正しく用いられるかを評価する。単なる形式的暗記ではなく、英文中の情報構造や意味関係を踏まえて、整合的な文を構成できるかを問う。大学での読解や表現に必要な基礎的な言語運用能力を測る。

III. 会話文
この大問では、日常的な会話場面を読み取り、英語の日常会話表現だけでなく、話し手の意図、立場の相違などを把握する力を評価する。文脈に基づいて会話を解釈し、論理的に推論する能力を求める設問とすることで、言語理解と分析的認識力の双方が確認できるようにした。

IV. 長文読解問題
この大問では、比較的長い英文を読み取り、段落ごとの内容や語彙・指示語の意味、要旨や具体例を整理する読解力を問う。文と段落の論理的つながりに基づいて、文章全体の展開や主張を把握する力を確認し、論理的思考力と分析的理解を測る。本文の根拠に基づいて解答できるよう設計し、大学での専門的学修に必要な基礎的読解力を判断する。

- 1
1) ③ 2) ④ 3) ① 4) ② 5) ①
6) ③
- 2
7) ① 8) ① 9) ② 10) ② 11) ②
12) ③ 13) ④ 14) ④ 15) ① 16) ③
17) ② 18) ②
- 3
19) ② 20) ② 21) ④ 22) ① 23) ②
24) ③ 25) ①
- 4
26) ② 27) ③ 28) ① 29) ① 30) ④
31) ③ 32) ②

数学 【出題意図・解答例】 (1日目)

大問1 数・式に関する基本的な理解・知識・計算力を問う。
 大問2 式に関する基本的な理解・知識・計算力を問う。
 大問3 データの処理・平面図形に関する基本的な理解・知識・計算力を問う。
 大問4 場合の数に関する基本的な理解・知識・計算力を問う。
 大問5 立体図形とその展開図に関する基本的な理解・知識・性質を問う。
 大問6 2次関数とそのグラフに関する基本的な理解・知識・計算力を問う。

- 1
 1) 4 2) 5 3) 5 4) 1 5) 3
 6) 6
- 2
 7) 3 8) 4 9) 2 10) 2 11) 1
 12) - 13) 5 14) - 15) 1
- 3
 16) ⑤ 17) 1 18) 3 19) 1 20) 4
 21) 3 22) 3
- 4
 23) 1 24) 2 25) 6 26) 3 27) 6
 28) 3 29) 2
- 5
 30) 4 31) 2 32) 1 33) ⑧ 34) ④
 35) ⑦
- 6
 36) - 37) 3 38) - 39) 1 40) 2
 41) - 42) 1 43) 7

数学 【出題意図・解答例】 (2日目)

大問1 数・式に関する基本的な理解・知識・計算力を問う。
 大問2 式に関する基本的な理解・知識・計算力を問う。
 大問3 平面図形に関する基本的な理解・知識・計算力を問う。
 大問4 場合の数に関する基本的な理解・知識・計算力を問う。
 大問5 2次関数に関する基本的な理解・知識・計算力を問う。
 大問6 データの処理に関する基本的な理解・知識・計算力を問う。

- 1
 1) 2 2) 2 3) 5 4) - 5) 3
 6) 5 7) 4
- 2
 8) 2 9) 0 10) 2 11) 3 12) 2
 13) 5 14) - 15) 8 16) - 17) 1
- 3
 18) 3 19) 1 20) 0 21) 1 22) 1
 23) 0 24) 1 25) 2 26) 7
- 4
 27) ⑧ 28) ① 29) ⑦ 30) ⑤ 31) ①
 32) ② 33) ① 34) ①
- 5
 35) 5 36) 2
- 6
 37) ④

国語 【出題意図・解答例】 (1日目)

「現代の国語、言語文化（古文・漢文は含まない）」を出題範囲とし、高等学校で身につけた基礎学力や思考力を評価する。設問はすべて選択問題である。

大問1・2 一定の分量を有する現代文（論説文）の内容を正確に理解する力を問う。具体的には次のとおりである。語句に関する意味・使用・表記を問う。欠落箇所について、文脈を把握し適切にことばを補う力を問う。文章を論理的に読み解き、説明を的確に理解する力を問う。

大問3 語彙力を問う。具体的には次のとおりである。慣用的表現の理解を問う。語句の意味を他の語との関係のなかで理解する力を問う。語句を文のなかで正しく使用する力を問う。

- 1
 1) ⑤ 2) ① 3) ④ 4) ③ 5) ⑤
 6) ② 7) ④ 8) ② 9) ① 10) ③
 11) ① 12) ② 13) ② 14) ③ 15) ⑤
- 2
 16) ⑤ 17) ③ 18) ④ 19) ⑤ 20) ②
 21) ④ 22) ② 23) ⑤ 24) ③ 25) ④
 26) ③ 27) ③ 28) ⑤ 29) ⑤ 30) ②
- 3
 31) ③ 32) ⑤ 33) ④ 34) ② 35) ④
 36) ③ 37) ⑤ 38) ③ 39) ③ 40) ④
 41) ① 42) ⑤ 43) ② 44) ④ 45) ③

国語 【出題意図・解答例】 (2日目)

「現代の国語、言語文化（古文・漢文は含まない）」を出題範囲とし、高等学校で身につけた基礎学力や思考力を評価する。設問はすべて選択問題である。

大問1・2 一定の分量を有する現代文の内容を正確に理解する力を問う。具体的には次のとおりである。語句に関する意味・使用・表記を問う。欠落箇所について、文脈を把握し適切にことばを補う力を問う。文章を論理的に読み解き、説明を的確に理解する力を問う。

大問3 語彙力を問う。具体的には次のとおりである。慣用的表現の理解を問う。語句の意味を他の語との関係のなかで理解する力を問う。語句を文のなかで正しく使用する力を問う。

- 1
 1) ⑤ 2) ① 3) ③ 4) ① 5) ②
 6) ① 7) ② 8) ③ 9) ③ 10) ⑤
 11) ② 12) ① 13) ④ 14) ④ 15) ③
- 2
 16) ④ 17) ③ 18) ② 19) ⑤ 20) ⑤
 21) ⑥ 22) ③ 23) ③ 24) ⑥ 25) ⑤
 26) ② 27) ② 28) ④ 29) ① 30) ①
- 3
 31) ④ 32) ⑤ 33) ⑤ 34) ① 35) ①
 36) ⑤ 37) ③ 38) ② 39) ① 40) ④
 41) ① 42) ④ 43) ③ 44) ① 45) ⑤

愛知淑徳大学

お問い合わせ

アドミッションセンター

〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘 23
TEL (052)781-7084 (直通) <https://www.aasa.ac.jp/>